

# TEPRA

## PRO



## SR750

### 取扱説明書

「TEPRA Label Editer SPC10」は「テプラ クリエイター」に名称変更しました。  
本書における文中の「TEPRA Label Editer SPC10」は「テプラ クリエイター」を  
指します。

KING JIM

準備編

使いかた編1

使いかた編2

機能編

付

録

# はじめに

このたびは、ラベルライター「テプラ」PRO SR750をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テプラ」PRO SR750の使いかたを、「準備編」「使いかた編1・2」「機能編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テプラ」PRO SR750を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この製品を、テレビ・ラジオ等の電波受信機に近づけて使用すると、雑音などが発生することがありますのでご了承ください。
- この製品は、日本国内専用です。FOR USE ONLY IN JAPAN.
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

## !!注意!!

- 本機で保存する文章や外字などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テプラ」で得られるラベルについて  
塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じことがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。  
なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

キングジム、KING JIM、テプラ、TEPRA、Pテープマークは株式会社キングジムの商標または登録商標です。  
「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「QRコード」は株式会社デンソーウエーブの登録商標です。

「Windows」は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
「macOS」は Apple Inc. の商標です。

その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

# ●安全上のご注意… 必ずお守りください!

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。



この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。



この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。



⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



🚫 表示は、してはいけない「禁止」内容です。



❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

## ⚠ 危険

### 電池の取り扱いについて



電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。



## ⚠ 警告

### AC アダプタについて



同梱の専用 AC アダプタ本体・電源コード (AS1527J) 以外は使用しないでください。



また、同梱の電源コードは他の製品に使用しないでください。

故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



AC アダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



AC アダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。



## ⚠ 警告

### 電池の取り扱いについて



電池の $\oplus$ と $\ominus$ を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。



新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



充電式ニッケル水素電池を使用する場合には、お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。



### その他



本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切り AC アダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機や AC アダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



## ⚠ 警告



本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切り AC アダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。



## ⚠ 注意

### オートトリマーのお手入れについて



「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると、刃で指を切ったりするなど大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。



### オートカッターについて



印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



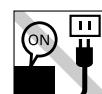
### その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。



電源が入っている状態で AC アダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



### 「テプラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



## テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

- テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。



- テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



- テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。



### MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。

印刷済みのインクリボンは必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

### テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。

使用済みの「テプラ」テープカートリッジは、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、当社までお送りください。

回収方法については、当社ホームページをご確認ください。

[https://kingjim.jp/tepra\\_recycle](https://kingjim.jp/tepra_recycle)



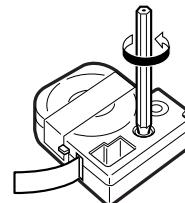
# テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

## ■ セット前に、必ずインクリボンのたるみをとる

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



## ■ 正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

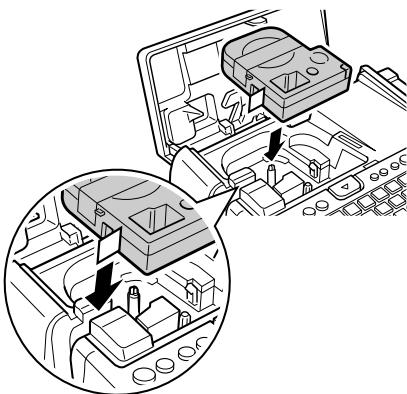
正しくセットすると、本機の固定フックにテープカートリッジが固定されます（36mm 幅テープカートリッジは固定されません）。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞ P.18 「各部の名前とはたらき」

参照☞ P.27 「3. テープカートリッジをセットする」



## ■ セットした直後は必ず「テープ送り」をする（**〔シフト〕 + 〔印刷〕**）

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞ P.30 「5. テープ送りをする」

## その他のご注意

---

- 本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- AC アダプタは、使い終わったらコンセントから抜き、本機からも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光の当たる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- AC アダプタ差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
- 本機の性能を十分に発揮するため、キングジム純正「テプラ」PRO テープカートリッジ（4、6、9、12、18、24、36mm 幅）をお使いください。キングジム純正テープカートリッジ以外を使用した場合の不具合については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機では点字テープカートリッジはお使いになれません。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに印刷を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず シフト + 印刷（＝テープ送り）でおこなってください。無理に手で引っ張つたりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
- オートトリマーには「テプラ」PRO テープカートリッジ以外のラベルを差し込まないでください。
- ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げてオートトリマーに差し込んでください。
- オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、AC アダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、電池、AC アダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、AC アダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

# ●本書の使いかた

## 本書の構成

本書は次のような構成になっています。

### 準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

### 使いかた編

使いかた編には1・2があります。「使いかた編1」では、文字の入力からラベルの貼り付けまでの基本操作を説明しています。

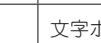
「使いかた編2」では、段落の追加などテキスト画面での操作と、ハーフカッター・オートトリマーなどについて説明しています。初めて「テプラ」PROシリーズをお使いになる方は、「使いかた編1」から順に追って読まれることをお奨めします。

### 機能編

ラベルの見栄えをよくする編集機能や、ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テプラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を充分に理解されたうえでお読みくださるようお願いします。

## 本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【表記】	【説明】
<b>①、②</b>	操作の手順を示しています。
 	文字ボタンを示しています。
	機能ボタンを示しています。
	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
	関連する事項の参照ページを案内します。
<b>MEMO</b>	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
<b>!!注意!!</b>	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

# ○目次

## はじめに

● 安全上のご注意… 必ずお守りください！	1
テープカートリッジ取り扱いについての ご注意	4
テープカートリッジをセットするときの ご注意	5
その他のご注意	6
● 本書の使いかた	7
本書の構成	7
本書の見かた	7
● 目次	8
● 同梱品の確認	10
● 別売品のご案内	11
● 「テプラ」PRO SR750 の特長	12
● まず、使ってみよう…	
すぐ使いたい人のために	13
1. 準備	13
2. 電源を入れる	13
3. 文字を入力する（例：伊藤）	13
4. 文字の大きさ（文字サイズ）を 変えてみよう	14
5. たて書きにしてみよう	15
6. 印刷する	15
7. ラベルを貼る	16
8. 電源を切る	16

## 準備編

● 各部の名前とはたらき	18
本機各部の名前（表）	18
本機各部の名前（内部）	18
本機各部の名前（裏）	19
本機各部の名前（背面）	19
操作パネルの名前とはたらき	20
● ディスプレイの見かたとはたらき	22
ディスプレイ（画面）の見かた	22
● 使う前の準備	24
1. AC アダプタを接続する	24
2. 電池（別売）を入れて 使うときは	24
3. テープカートリッジをセットする	27
4. 電源を入れる	29
5. テープ送りをする	30

## 使いかた編 1

● 手順どおりに作ってみよう （文字入力～ラベルの完成まで）	32
文字入力をはじめる前に	32
1. 文字を入力する	34

長い文章を変換する	37
変換する「読み」の長さを変える	37
2. 英数字を入力する	38
3. スペースを入力する	40
4. 記号を入力する	41
5. 印刷イメージを確認する （プレビュー）	43
6. 印刷する	44
7. ラベルを貼る	45
● 使い終わったら 〈電源を切る〉	46

## 使いかた編 2

● 文章を作る	48
カーソルボタンの使いかた	48
文章を入力する	48
文字を削除 /挿入する	49
削除した文字をもとに戻す（復活）	49
文字をコピーする	50
文字を貼り付ける	50
すべての文章を消去する	50
● 行を増やす（改行）	51
新しい行を作る	51
文字を次行に移動する	52
改行を取り消す	52
● 段落を増やす（改段落）	53
新しい段落を作る	54
段落を分割する	54
特定の段落を消去する	55
● カドを丸く仕上げる	56
オートトリマーのお手入れ	57

## 機能編

● ダイレクトキーで書体を変更する	60
○（書体）を使う	60
● ダイレクトキーで文字サイズを変更する	61
○（文字サイズ）を使う	61
● ダイレクトキーでラベルの向きを 変更する（縦・横）	62
○（縦・横）ボタンを使う	62
● ラベルの見栄えをよくする（編集）	64
編集を指定する	65
● 編集メニュー一覧	67
機能の説明（文字モード）	72
機能の説明（段落スタイル）	75
機能の説明（文章書式）	82
● ビジネスフォーム	88
ラベルの作りかた	88
ビジネスフォームメニュー一覧	90
ビジネスフォーム見本	92

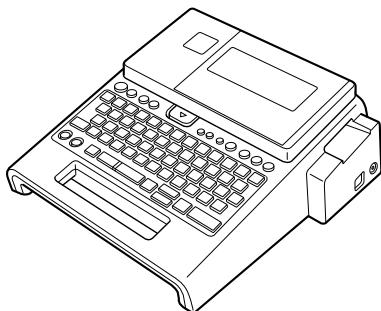
● 文章を呼び出す・登録する	96
(ア) ボタンを使う	96
ファイルとは	97
ファイルを登録する	98
ファイルを呼び出す	99
ファイルを消去する	100
ファイルを複写する	101
グループの名前を変える	102
ファイルをまとめて印刷する	103
● 最近印刷した文章を呼び出す	104
印刷履歴を呼び出す	104
印刷履歴を消去する	104
● 名前や語句を登録する	
(あて名／名前／辞書)	106
あて名ラベルを作る	106
あて名を登録する	107
あて名を修正する	108
あて名を複写する	108
あて名を消去する	109
あて名ラベルを印刷する	110
あて名のグループ名修正	111
カスタマバーコードについて	112
名前を登録する	114
名前を修正する	115
名前を消去する	115
名前のグループ名修正	115
名前ラベルを印刷する	115
変換できない語句を登録する	
(辞書の登録)	117
登録した語句を呼び出す	118
登録した辞書を修正する	118
登録した辞書を消去する	119
● 外字を使う	120
外字を作成し、登録する	122
外字を修正する	123
外字を呼び出す	123
外字を複写する	124
外字を消去する	124
外字を参照作成し、登録する	125
● 連番やバーコードを印刷する	126
連番・バーコードメニュー一覧	126
連番を印刷する	127
バーコードを印刷する	130
QR コードを印刷する	132
● 特殊な印刷 (連続印刷、拡大印刷)	134
特殊印刷メニュー一覧	134
同じラベルを連続して印刷する	
(連続印刷)	135
テープ幅より大きなラベルを作る	
(拡大印刷)	136
鏡文字を印刷する	138
● 読みのわからない漢字を入力する	
(コード入力)	139
● 印刷設定 / 編集設定 / 環境設定	140
設定メニュー一覧	140
● 印刷設定を変更する	142
印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する	142
印刷濃度を調整する	144
印刷設定をリセットする	144
● 編集設定を変更する	145
編集機能の保存値を設定する	145
保存値を変更する	146
保存値を初期設定値に戻す	146
● 環境設定を変更する	147
表示切り換え	147
ディスプレイの濃度を調整する	147
バックライトの切り換え	148
学習内容を初期化する	148
電池種類を設定する	149
● 本機を初期化する	150
初期化する	151
● デモ印刷をする	152

## 付録

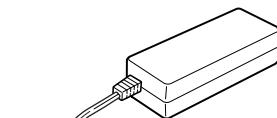
● メニュー一覧	154
記号メニュー一覧	155
テープ送りメニュー一覧	156
消去メニュー一覧	156
● テープカートリッジを使いわける	157
転写テープを印刷する	158
転写テープの文字を転写する	158
● パソコンに接続して使う	159
アプリケーション、プリンタドライバをインストールする	159
パソコンと「テプラ」本体を接続する	165
アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする	166
● こんな表示が出たときは	169
エラーメッセージが表示されたときは	169
● 故障かな？と思ったら	172
● お手入れについて	175
ヘッド・クリーニングテープを使う	176
● 入力文字一覧表	177
文字ボタン配列	177
入力文字表	177
● 漢字変換表	178
JIS 第1水準	178
JIS 第2水準	182
その他	185
● 記号一覧表	186
● ローマ字変換表	190
● おもな仕様	191
● 索引	194
● アフターサービスについて	巻末

# ●同梱品の確認

同梱品がすべてそろっているか、確認してください。



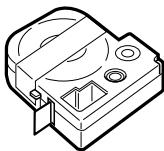
「テプラ」PRO SR750 本体



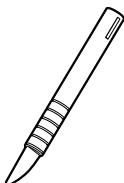
(AC アダプタ本体)

(電源コード)

AC アダプタ (AS1527J)



試用 PRO テープ  
カートリッジ



転写スティック  
(SR9L)



保証書  
(箱の側面に添付)



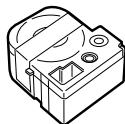
SR750 取扱説明書(本書)

## MEMO

- 本機には、電池は同梱しておりません。電池でお使いになる場合は、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）をお買い求めください。
- 本機には、CD-ROM、PC ラベルソフトは同梱されていません。当社ホームページ（<https://www. kingjim.co.jp/>）からダウンロードしてください。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。
- 本機にはパソコン接続用の USB ケーブルは同梱されていません。パソコン接続には市販の USB ケーブルをご使用ください（USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ）。

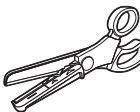
# ●別売品のご案内

本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



ヘッド・クリーニングテープ  
(SR36C)

テプラ本体のヘッドクリーニング用のテープです。



トリマー (RT36W)

ラベルのカドを丸くカットし、ラベルをはがれにくく、見た目にも美しく仕上げるハサミ型トリマーです。4～36mm 幅のラベルの「カド丸」加工が可能で、ラベルの前後余白調整にも便利です。



お名前タグメーカー (SRT10)

「テプラ」PRO テープカートリッジ リボンに「スナップボタン」を取り付けて、オリジナルのお名前タグが作れます。



スナップボタン (SRTB1)

プラスチック製のボタンが20組入った「お名前タグメーカー」専用のオプション品です。



システムトランク (SR9BTA)

耐衝撃性に優れたトランクです。「テプラ」PRO 本体をはじめ、テープカートリッジ、同梱品、別売品などを一括して持ち運び、また保管することができます。



キャリングバッグ (SR9B)

EVA素材を使用した軽くて丈夫なバッグです。

持ち運びに便利な、肩掛けストラップを付属しています。

「テプラ」PRO 本体とテープカートリッジ、同梱品、別売品、取扱説明書が収納可能です。



システムバッグ (SR8B)

「テプラ」PRO 本体とテープカートリッジ、取扱説明書などが収納可能です。ウレタン・ポンディング・ナイロンを使用しており、クッション性に優れています。



システムケース (SR9H)

A4 ポックスファイルサイズに「テプラ」PRO 本体と AC アダプタ、テープカートリッジ (12mm 幅 10 個分) などが収納可能です。印刷済みラベルの整理用ラベルファイル付きです。



テープカートリッジケース  
(SR4TH)

A4 ポックスファイルサイズにテープカートリッジ (12mm 幅 40 個分) が収納可能です。4 つのポックスでテープ色・幅・種類ごとに整理できます。

## MEMO

詳細については、当社ホームページ（アドレス <https://www.kingjim.co.jp/>）をご覧くださいか、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。  
参照☞卷末「アフターサービスについて」

# ● 「テプラ」 PRO SR750 の特長

## ■ バックライト付き！4階調で見やすいディスプレイ

明るく見やすいバックライト付！

しかも4階調表示の液晶ディスプレイを搭載。見やすいディスプレイで、記号や装飾の細部が確認できます。

## ■ 「予測入力機能」付の ATOK 搭載

使いやすさに定評のある日本語入力システム「ATOK」を搭載。

また予測入力機能に加え、カタカナ読みを正しいスペルに変換する「カタカナ語英語変換」や、「記号変換」「絵文字変換」機能を搭載しました。

※「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

## ■ ダイレクトキーで簡単文字編集

ダイレクトキーを押すだけで、書体・文字サイズ・縦横等を変更可能！

## ■ パソコン編集用ラベルソフト対応！

パソコンならではの高い操作性で、ラベルや文字の編集が簡単な Windows 向け「TEPRA Label Editor SPC10」に対応しています（macOS は「シンプルラベルソフト SMA3」に対応しています）。

※ラベルソフトは本製品に同梱していません。当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）からダウンロードいただけます。

※パソコン接続には市販の USB ケーブルが必要です（USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ）。

## ■ 高精細 360dpi・384dot の大型ヘッドで文字が美しい！

360dpi・384dot=27.1mm という高密度大型ヘッドにより、さらに大きな文字も美しく、また最大 13 行もの多行印刷も可能です。

## ■ 「オートカッター」「ハーフカット」「オートトリマー」搭載

もちろんラベルは自動カット。「ハーフカット」対応で、ラベルの印刷面だけを自動カット。ラベルの裏側が簡単にはがせます。

「オートトリマー」でカド丸仕上げもラベルを差し込むだけの簡単操作です。

※一部対応できないテープがあります。

## ■ 漢字 5 書体 + かな 9 書体 + 英数 13 書体

「明朝体・ゴシック体」の基本書体には、「太型」の変形書体も充実！

## ■ 転写スティック付きで転写テープも使えます

転写テープに対応した機種です。転写スティックが同梱されています。

## ■ 好評の PRO テープ 4 ~ 36mm 幅に対応！

大きなラベルも手軽に印刷！好評の 36mm 幅テープに対応。店舗のディスプレイや公共表示などに大きな威力を発揮します。

# ● まず、使ってみよう…すぐ使いたい人のために

## 1. 準備

### ① AC アダプタを本機に接続する

参照☞ P.24 「1. AC アダプタを接続する」

### ② テープカートリッジをセットする

参照☞ P.27 「3. テープカートリッジをセットする」

## 2. 電源を入れる

### ① (ON/OFF) を押す

タイトルが表示され、設定されている入力状態が表示されたあと、行頭マーク①とカーソルが表示されます。

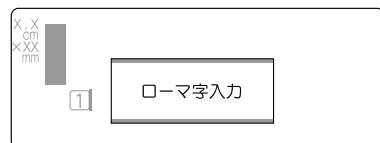
#### MEMO

より詳しい説明については、P.29 「4. 電源を入れる」を参照してください。



## 3. 文字を入力する (例 : 伊藤)

### ① 入力欄を押して、「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ

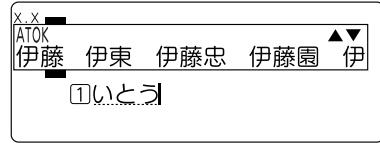


### ② 文字ボタンを次のように押す

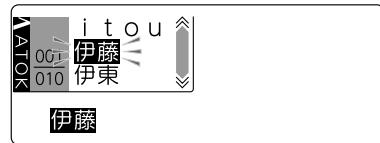
「ローマ字入力」の場合 : 〔i〕 〔t〕 〔o〕 〔u〕

「かな入力」の場合 : 〔い〕 〔え〕 〔お〕 〔う〕

「いとう」と表示されます。入力後のひらがなには下線が表示されています。



### ③ 「伊藤」が表示されるまで [変換スペース] を押す



### ④ [選択] を押す

「伊藤」が確定し、行頭マークが①に変わります。同時に、ラベルの長さと印刷イメージが表示されます。

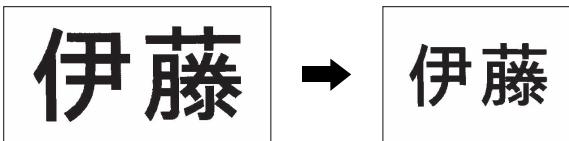


#### MEMO

より詳しい説明については、P.32 「手順どおりに作ってみよう」を参照してください。

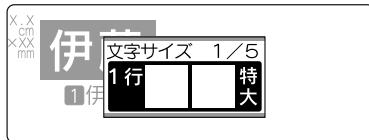
次へ進みます

## 4. 文字の大きさ（文字サイズ）を変えてみよう



### ① ○を押す

現在の文字サイズが表示されます。



### ② 目的の設定になるまで ○を押す

○を押すたびに選択肢が切り換わります。  
文字サイズ

例では「1行」「中」を選択します。  
カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。



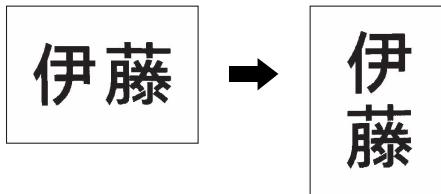
文字の大きさが変更されます。



### MEMO

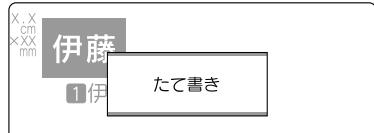
より詳しい説明については、P.61 「ダイレクトキーで文字サイズを変更する」を参照してください。

## 5. たて書きにしてみよう



### ① 縦・横 (縦・横) を押す

「たて書き」と表示され、文字がたて書きのラベルになります。



### MEMO

より詳しい説明については、P.62 「ダイレクトキーでラベルの向きを変更する（縦・横）」を参照してください。

## 6. 印刷する

### ① シフトを押しながら特殊印刷 (=プレビュー) を押す

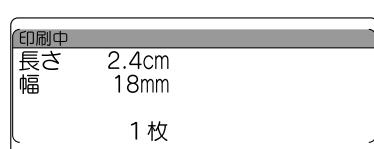
印刷のイメージが流れるように表示されます（プレビュー）。



プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

### ② 印刷を押す

画面に、印刷されるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷がはじまります。印刷が終了すると、テープが自動カットされて出てきます。テープは絶対に手で引っ張らないでください。



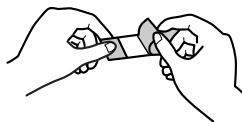
### MEMO

より詳しい説明については、P.44 「6. 印刷する」を参照してください。

次へ進みます

## 7. ラベルを貼る

- 1 裏紙をはがす



- 2 しっかりとこすって貼り付ける

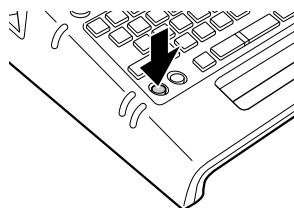
### MEMO

より詳しい説明については、P.45「7. ラベルを貼る」を参照してください。



## 8. 電源を切る

- 1 (ON/OFF) を押す



- 2 AC アダプタ (AS1527J) をはずす

### !!注意!!

電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、AC アダプタを抜かないでください。

### MEMO

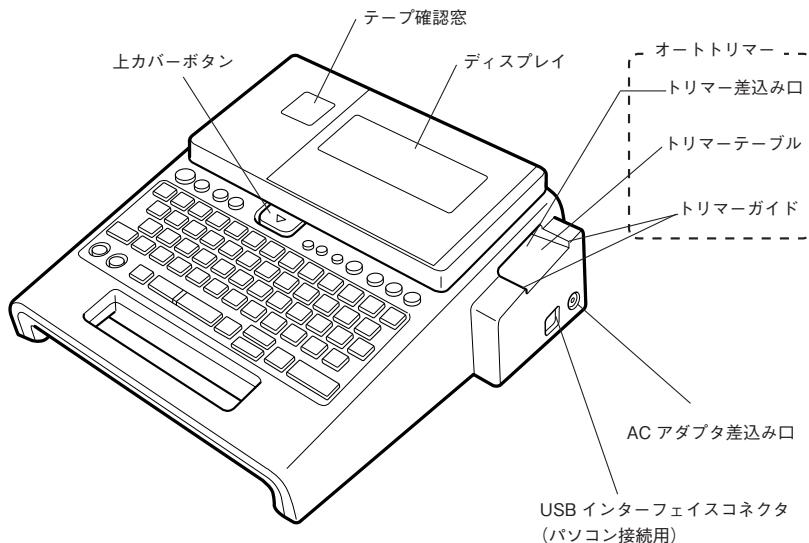
より詳しい説明については、P.46「使い終わったら 〈電源を切る〉」を参照してください。

# 準備編

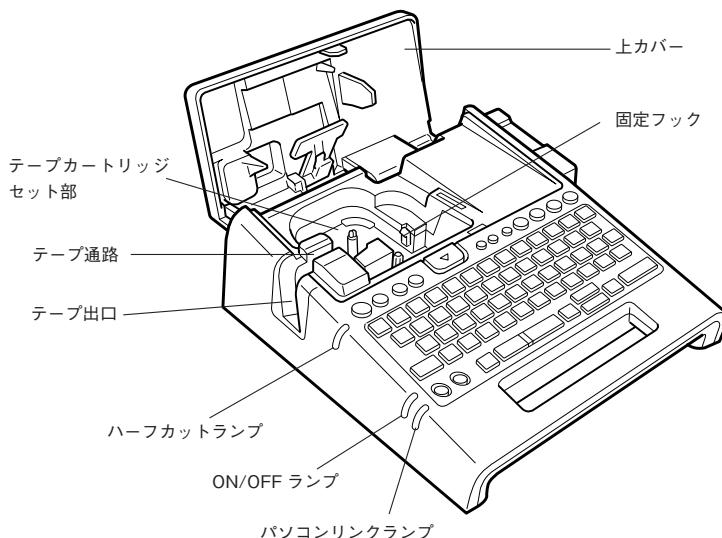
本機に AC アダプタを接続し、電源を入れます。  
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

# 各部の名前とはたらき

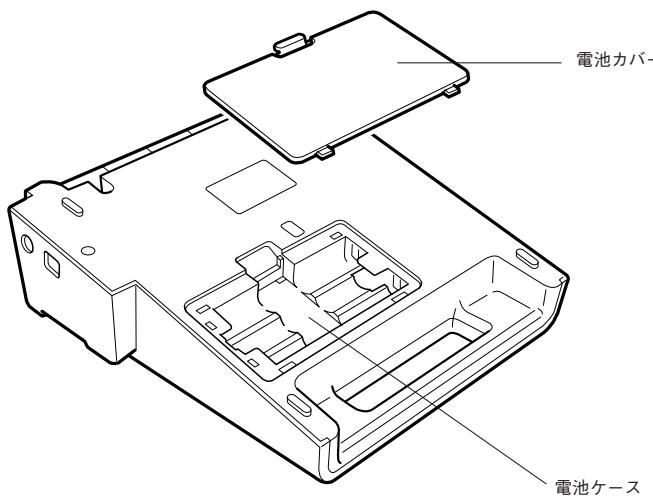
## 本機各部の名前（表）



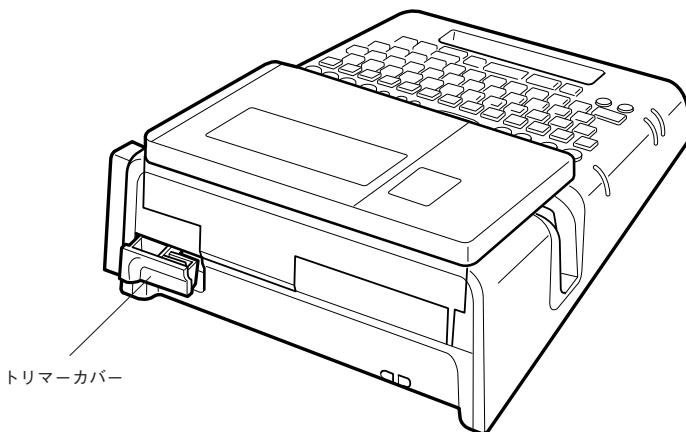
## 本機各部の名前（内部）



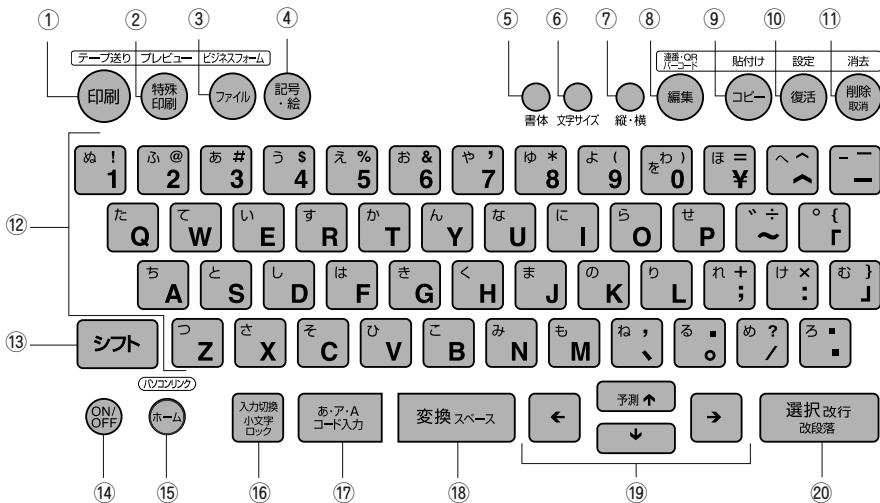
## 本機各部の名前（裏）



## 本機各部の名前（背面）



# 操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。[シフト]+[ ]となっている表記は、[シフト]を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

## ① (印刷) (Print)

入力内容をテープに印刷し、テープを自動的にカットします。

参照☞ P.44

## [シフト]+[印刷] (=テープ送り) (Tape Feed)

テープを約20mm空送りしたり、カットします。

参照☞ P.30

## ② (特殊印刷) (Special Print)

連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷します。

参照☞ P.134

## [シフト]+[特殊印刷] (=プレビュー) (Preview)

印刷イメージ全体を流れるように表示して確認することができます。

参照☞ P.43

## ③ (ファイル) (File)

作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録します。また、印刷履歴の呼び出しをおこないます。参照☞ P.96

## [シフト]+[ファイル] (=ビジネスフォーム) (Business Form)

ビジネスフォームの呼び出しをおこないます。

参照☞ P.88

## ④ (記号・絵) (Symbol/Graphic)

記号の入力や外字の呼び出しなどをおこないます。参照☞ P.41

## ⑤ (書体) (Font)

書体を指定します。参照☞ P.60

## ⑥ (文字サイズ) (Text Size)

文字サイズを指定します。参照☞ P.61

## ⑦ (縦・横) (Vertical/Horizontal)

たて書き/よこ書きを切り替えます。

参照☞ P.62

## ⑧ (編集) (Edit)

文字の装飾や文字サイズ、ラベルのレイアウト、ラベルの長さなどを指定します。参照☞ P.64

## [シフト]+[編集] (=連番・QR・バーコード) (Barcode)

連続番号やQRコード・バーコードの入力をおこないます。参照☞ P.126

## ⑨ (コピー) (Copy)

入力済みの文字をコピーします。参照☞ P.50

## [シフト]+[コピー] (=貼付け) (Paste)

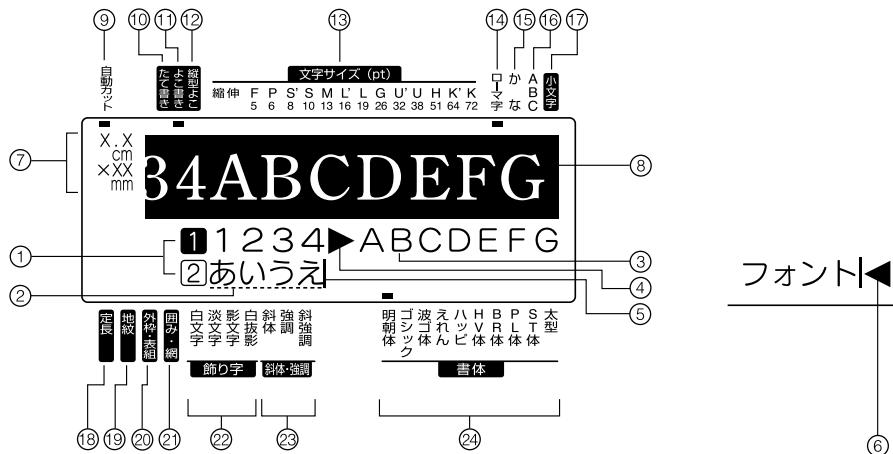
コピーした文字を貼り付けます。参照☞ P.50

- ⑩  (復活) 削除した文字や文章をもとに戻します。  
参照☞ P.49
- シフト +  (=設定) 自動カットや画面の表示濃度、編集機能の保存値など、各種設定を変更します。  
参照☞ P.140
- ⑪  (削除、取消) カーソル位置（カーソルの左側）の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。  
参照☞ P.49
- シフト +  (=消去) 段落や文章を消去します。  
参照☞ P.50
- ⑫ 文字ボタン (     など) 文字を入力します。  
参照☞ P.34
- ⑬  (シフト) 機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力できます。
- ⑭  (ON/OFF) 電源を ON/OFF します。  
参照☞ P.29
- ⑮  (ホーム) メニュー画面やビジネスフォームの入力画面からテキスト画面に戻ります。
- シフト +  (=パソコンリンク) ラベルソフト（SPC10、SMA3）使用時に、本機をパソコンと接続する状態に切り替えます。
- ⑯  (入力切換) 入力状態を「ローマ字→かな→ABC」の順で切り替えます。  
参照☞ P.34
- QRコードの用途「一般」では「ローマ字→かな→ABC（半角）→ABC」の順で切り替えます。  
参照☞ P.132
- 「ABC 入力、ABC（半角）入力」時のみ
- シフト +  (=小文字ロック) 小文字入力状態に切り替えます。  
参照☞ P.39
- ⑰  (無変換) 仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。  
参照☞ P.38
- シフト +  (=文字変換 / コード変換) 仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。  
参照☞ P.38
- 仮確定文字がないときは、コード入力の画面になり、区点コードを入力すれば漢字に変換できます。  
参照☞ P.139
- ⑲  (漢字変換、スペース入力) 仮確定のひらがな文字を漢字に変換します。仮確定文字がないときは、スペースを入力します。ATOK 変換画面では、次の変換候補を表示します。  
参照☞ P.37
- ⑳  (カーソルボタン、文節変更) カーソルや選択候補を上下左右に移動します。  
参照☞ P.48
- ATOK 予測入力画面では   で予測候補を選択します。
- ATOK 変換画面では   で変換対象の文節長さを変更し、 で確定します。  
参照☞ P.32、33
- シフト +  (=カーソルジャンプ、文節切り換え) カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。  
参照☞ P.48
- ATOK 変換画面では  +   で変換対象の文節を切り替えます。  
参照☞ P.33
- ㉑  (選択、改行) 機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。仮確定文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。  
参照☞ P.36、51
- シフト +  (=改段落) 新しい段落を作ります。  
参照☞ P.53

## ●ディスプレイの見かたとはたらき

## ディスプレイ（画面）の見かた

### 〈テキスト画面〉

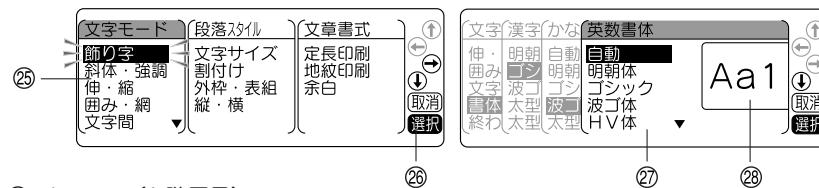


- ① **行頭マーク (1 2…☒, 1 2…☒)**  
行頭に表示され、その行が何行目かを表示します。1, 2はその行に印刷できる文字が入力されていることを表し、1, 2はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。☒☒は印刷できない行を表しています。☒が表示されているときは、印刷することはできません。参照☞ P.51
  - ② **仮確定文字（例：あいうえ）**  
仮確定の文字で、文字の下に点線が表示されます。[変換スペース]ボタンで漢字、カタカナ、英数字などに変換できます。仮確定文字は印刷されません。
  - ③ **確定文字（例：1234ABCDEFG）**  
入力が確定した文字で、印刷することができます。
  - ④ **文字モード指定マーク (►)**  
文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの文字モードを変更すると表示されます。参照☞ P.66
  - ⑤ **カーソル (|)**  
操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除することができます。参照☞ P.48
  - ⑥ **フルメモリーマーク (◀)**  
入力可能文字数（約500文字）をオーバーして、これ以上入力できないときに表示されます。
  - ⑦ **印刷情報**  
セットされているテープ幅と、印刷したときの目安の長さを表示します。「表示切換」の設定によっては表示されないこともあります。参照☞ P.147
  - ⑧ **印刷イメージ**  
印刷するイメージを表示します。「表示切換」で表示状態を変更できます。参照☞ P.147
  - ⑨ **自動カット**  
自動カットが「する」に設定されているときに点灯します。参照☞ P.142
  - ⑩ **たて書きインジケーター**  
「たて書き」が指定されているときに点灯します。
  - ⑪ **よこ書きインジケーター**  
「よこ書き」が指定されているときに点灯します。
  - ⑫ **縦型よこ書きインジケーター**  
「縦型よこ書き」が指定されているときに点灯します。
  - ⑬ **文字サイズインジケーター**  
カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。  
数字はポイント数を表しています。  
\*1ptは約1/72インチ（約0.35mm）です。

- ⑭ ローマ字入力インジケーター  
「ローマ字入力」状態のときに点灯します。
- ⑮ かな入力インジケーター  
「かな入力」状態のときに点灯します。
- ⑯ ABC 入力インジケーター  
「ABC 入力」状態のときに点灯します。  
参照☞ P.39  
「ABC（半角）入力」状態のときに点滅します。  
参照☞ P.132
- ⑰ 小文字入力インジケーター  
[シフト]ボタンを押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。参照☞ P.39
- ⑱ 定長インジケーター  
定長印刷が指定されているときに点灯します。
- ⑲ 地紋インジケーター  
地紋印刷が指定されているときに点灯します。
- ⑳ 外枠・表組インジケーター  
外枠や表組みが指定されているときに点灯します。
- ㉑ 囲み・網インジケーター  
囲みや網が指定されているときに点灯します。
- ㉒ 飾り字インジケーター  
カーソル位置の文字に飾り字が指定されているときに対応した飾り字が点灯します。
- ㉓ 斜体・強調インジケーター  
カーソル位置の文字に、斜体や強調が指定されているときに対応した機能が点灯します。
- ㉔ 書体インジケーター  
カーソル位置の文字に対応した書体が点灯します。

## 〈メニュー画面〉

機能を指定する画面は、テキスト画面と表示が異なります。このような機能や設定値を選択する画面をメニュー画面と呼びます。ここでは、編集メニューの画面を例に説明しています。



### ㉕ メニュー（1階層目）

〔編集〕ボタンや〔ファイル〕ボタンを押したときに最初に表示されるメニュー一覧です。

〔←〕〔↑〕〔↓〕〔→〕ボタンで機能を選びます。

### ㉖ ボタンナビ

使用できるボタンを案内します。グレー（薄い色）になっているボタンは操作できません。

### ㉗ メニュー階層

メニューの階層状態を表示します。例の画面では、4階層目の選択候補一覧を表示しています。選択候補は〔↑〕〔↓〕ボタンで選びます

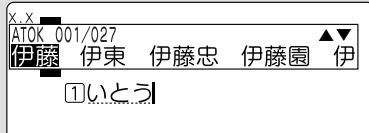
### ㉘ イメージ表示、ガイド表示

選択候補の指定結果をイメージで表示したり、操作ガイドを表示します。

## MEMO

文字の変換中は以下の画面（ATOK 予測入力画面、ATOK 変換画面）になります。

詳しい説明については P.32 「文字入力をはじめる前に」を参照してください。



(ATOK 予測入力時)



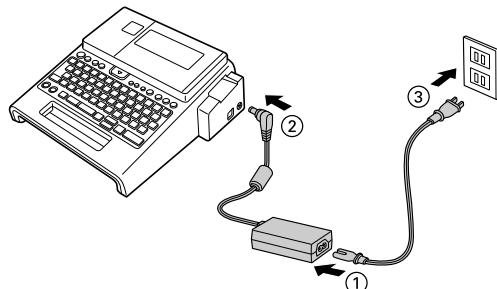
(ATOK 変換時)

# ●使う前の準備

## 1. ACアダプタを接続する

同梱のACアダプタ(AS1527J)で、家庭用コンセント(AC100V)から電源を取ります。

- 1 ACアダプタのケーブルを接続する
- 2 ACアダプタのプラグを本機右側面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込む
- 3 ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



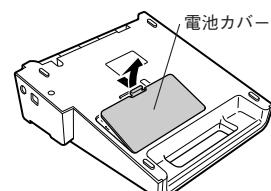
### !!注意!!

- 使い終わったらすぐにACアダプタをコンセントから抜き、本機からも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

## 2. 電池(別売)を入れて使用するときは

本機にアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形×6本:別売)をセットします。外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷することもできます。

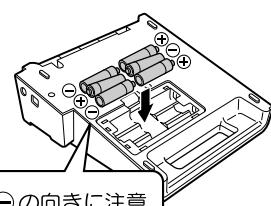
- 1 電池カバーをはずす  
レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げてはずします。



### !!注意!!

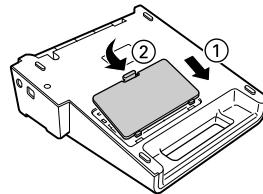
必ず、電源を切ってからおこなってください。

- 2 電池を入れる  
電池の向きに注意して、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形×6本)を入れます。



### ③ 電池カバーをはめる

電池カバーの上の爪を本機のミゾに合わせ、しっかりとカバーをはめます。



## !!注意!!

- 本機には単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池をお使いください。その他の乾電池は使用できません。
  - 電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
  - ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ（AS1527J）をお使いください。
  - ニッケル水素電池を使用するときは、環境設定で電池種類を「ニッケル水素電池」に変更してください。設定変更をしないと、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。ただし設定を変更しても、電池の状態や使用条件によっては、消耗を知らせるメッセージが表示されないことがありますのでご了承ください。
- 参照☞ P.149 「電池種類を設定する」
- 本機に充電機能はありません。ニッケル水素電池を使用する際には、必ず専用の充電器を使って、充電してください。

### 充電式ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。ニッケル水素電池をお使いの際には、以下のことをお守りください。

- ①②極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。①②極と充電器の端子を乾いた柔らかい布でていねいにふいてください。
- お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- 電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります（メモリー効果といいます）。
- メモリー効果が発生したときは、印刷できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下することがあります。
- お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。
- ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われますので新しい電池をお買い求めください。
- 寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。
- 不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで最寄の充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

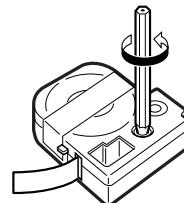
## MEMO

- ・電池での印刷の場合、AC アダプタ使用時より印刷スピードが遅くなります。
- ・広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください！」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- ・電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）に交換するか、AC アダプタ（AS1527J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れことがあります。
- ・新品のアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ(8m)を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、広い幅のテープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、AC アダプタ（AS1527J）を利用することをおすすめします。
- ・ご使用後は必ず電源を切ってください。
- ・ディスプレイのバックライトをOFFにすると電池を節約できます。  
参考☞ P.148 「バックライトの切り換え」
- ・長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- ・寿命となったアルカリ乾電池を捨てるときは、定められた条例に従ってください。

### 3. テープカートリッジをセットする

#### 1 インクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみをとってください。

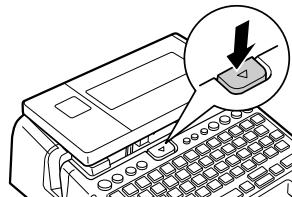


#### 2 上カバー ボタンを押す

上カバー ボタンを押すと、上カバーが少し開きます。

#### !! 注意 !!

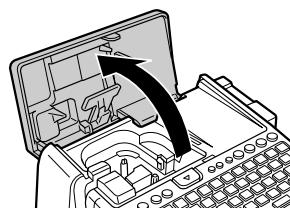
必ず、電源を切ってからおこなってください。



#### 3 上カバーを開ける

#### !! 注意 !!

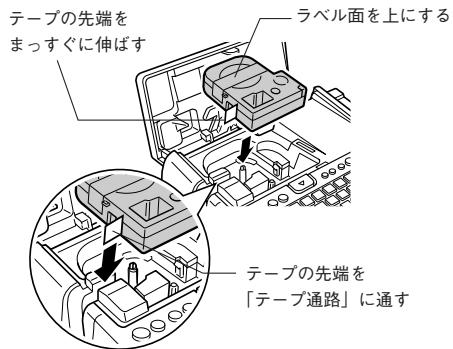
- 上カバーはストッパーで止まります。無理に開けないでください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。



#### 4 テープカートリッジをセットする

セットするテープカートリッジを、ラベルの貼つてある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機の固定フックにテープカートリッジが固定されます（36mm幅テープカートリッジは固定されません）。

テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。

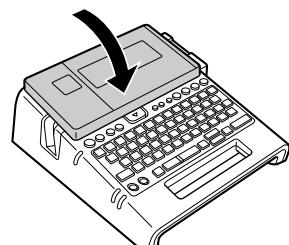


#### 5 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押して閉じます。

#### !! 注意 !!

テープカートリッジをしっかりと押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。



## MEMO

### テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本機にしっかりと保持されていますが、上カバーを開けると同時にテープカートリッジの保持が解除され、取り出しありやすい状態になります。取り出すときは、カートリッジ側面の「指かけ」部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



### !!注意!!

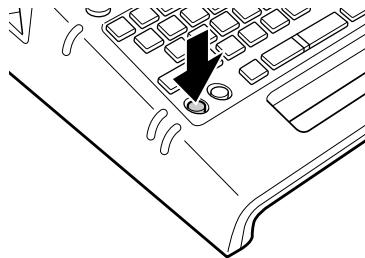
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mm、36mm の 7 種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。  
参照 P.51 「テープ幅と印刷できる行数」
- テープカートリッジは、直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりとセットしてください。

## 4. 電源を入れる

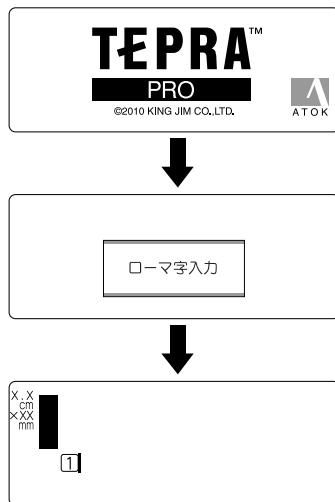
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- AC アダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？（電池で使用する場合）

### 1 (ON/OFF) (ON/OFF) を押す



電源が入るとタイトル画面が表示されます。



すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。

参照☞ P.22 「ディスプレイ（画面）の見かた」

### MEMO

#### オート・パワーオフ

電源が入ったまま約 5 分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。（ON/OFF）をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

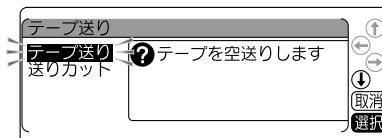
外字データや創作地紋データの作成・修正をしているとき、または AC アダプタを使ったパソコンリンクの状態では、オート・パワーオフ機能は働きません。

電源を切ると、オート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。使わないときはこまめに電源を切るようにしましょう。

## 5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

- ① **シフト**を押しながら**印刷**（＝テープ送り）を押す  
「テープ送り」メニューが表示されます。



- ② **↑** **↓**で「テープ送り」または「送りカット」  
を選ぶ

- ③ **選択**を押す

「テープ送り」の場合はテープが約 20mm 空送りされます。

「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

### !! 注意 !!

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンのたるみが取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

### つづいて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。

参照 P.32 「手順どおりに作ってみよう」

# 使いかた編 1

～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作つてみましょう。

文字入力、印刷など「テプラ」の基本操作を確認してください。

# 手順どおりに作ってみよう (文字入力～ラベルの完成まで)

右のサンプルラベルを手順どおりに作ると、文字入力からラベルの印刷までの基本的な操作がカンタンに覚えられます。

## お得なセット！ 初回限定版Box



### 文字入力をはじめる前に

本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、文字変換のときに予測入力がはたらきます。予測入力は、予測候補を次々に表示して、スムーズな入力を支援します。また、連文節変換により、高度な変換精度を実現しています。

#### ATOK 予測入力画面の見かた

本機は、何文字かを入力した時点で、入力しようとする単語を予測し画面上に候補として表示します。入力候補が表示されている状態で を押すと、候補の1つ目が反転し、候補を選択できる状態になります。予測入力画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



##### ① 入力文字

入力した仮確定文字には点線が表示されます。  
を押すと、選択している入力候補で確定します。

##### ② 予測入力候補一覧

予測される入力候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

##### ③ 予測候補番号 / 予測候補数

選択されている入力候補の順番と候補の総数です。

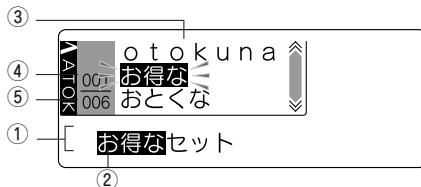
#### ATOK 予測入力画面で使用するボタン

ボタン名	機能
	入力候補を選択する状態への移行 入力候補の選択中は次の予測入力候補の選択
	次の入力候補の選択
シフト + シフト +	最初の入力候補の選択
シフト + シフト +	最後の入力候補の選択
	入力候補の確定
変換 スペース	変換画面への移行 参照☞ P.33「ATOK 変換画面の見かた」
	ひらがな、カタカナ、英字（ローマ字入力の場合のみ）への変換
	入力候補の選択を終了し、テキスト画面に戻る テキスト画面では文字を削除する
文字ボタン	テキスト画面で文字を入力する

シフト + [ ] となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押す操作です

## ATOK 変換画面の見かた

本機は、文字を入力した状態で [変換スペース] を押すと、変換候補を選択する変換画面になります。変換画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



### ① 仮確定文字

確定前の全文字です。[変換スペース] を押す前は点線が表示されています。

### ② 変換対象

仮確定文字中、ネガ表示されている部分が現在の変換対象です。[↓] を押すと確定します。

### ③ 変換候補一覧

変換対象の変換候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

### ④ 変換候補番号

現在選択されている変換候補の順番です。

### ⑤ 変換候補数

変換対象の変換候補数です。

## 文字の変換中に使用するボタン

ボタン	機能
[変換スペース]	変換候補一覧の表示、および次の変換候補の選択
[↑]	前の変換候補の選択
[シフト] + [↑]	変換候補番号 001 の候補の選択
[↓]	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
[←]	変換対象の文節長さを短くする
[→]	変換対象の文節長さを長くする
[シフト] + [←]	左の文節を変換対象とする（確定されていない場合のみ）
[シフト] + [→]	右の文節を変換対象とする
[あ・ア・A] [シフト] + [あ・ア・A]	ひらがな、カタカナ、英字（「ローマ字入力」の場合のみ）への変換
[選択 改行]	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
[削除 取消]	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
[復活]	直前に確定した文節を「読み」に戻す
文字ボタン	仮確定文字を表示している状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

[シフト] + [ ] となっている表記は、[シフト] を押しながらそのボタンを押す操作です

## MEMO

変換候補には、漢字など通常の日本語の他に、カタカナ語を正しいスペルに変換する「カタカナ語英語」や「記号」「絵文字」も含まれます。

# 1. 文字を入力する

文字は、「読み」を入力してから変換します。「読み」はひらがなで入力されます。

例：  
ここを入力します



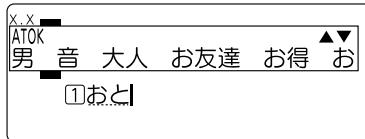
- ① [入力切換] を数回押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ



- ② 「お得」の「おと」を入力する

途中まで入力すると、予測入力の候補に「お得」が表示されます

ローマ字入力：   
かな入力：



- ③ [↑] [↓] を押す

予測入力の候補を選択できる状態になります。

- ④ 「お得」を選択し、確定する

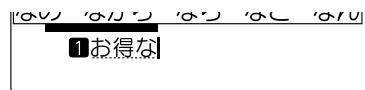
で「お得」を選択し、  
[選択] で確定します。



「お得」が確定します。

- ⑤ 「な」を入力し、確定する

「な」を入力し、そのまま [選択] を押して確定します。



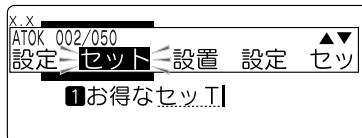
- ⑥ 「セット」を入力する

途中まで入力すると、予測入力の候補に「セット」が表示されます。

ローマ字入力：

かな入力： シフト +

予測候補から「セット」を選択し、[選択] で確定します。



「セット」が確定し、テキスト画面に戻ります。

①お得なセット

行頭マークが ① から ① に変わります。

## MEMO

- [選択 改行] ボタンで確定した直後なら、[復活] ボタンで変換前の状態に戻すことができます。
- 文字を間違えたときは、[削除] ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 一度選択した語句は、次回から優先して最初に表示されるようになります（学習機能）。
- 「読み」を入力した直後に [選択 改行] を押すと、ひらがなまま確定します。
- 「読み」を入力した直後に [あ/ア A] を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」（ローマ字入力）、「ひらがな→カタカナ」（かな字入力）の順に変換します。
- 変換後は、[選択 改行] を押して確定します。
- 複数文節や長い文章を入力すると、予測が表示されず、[変換スペース] で変換する状態になります。長い文章の変換操作については、P.37「長い文章を変換する」を参照してください。
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考してください。

参照 P.190 「ローマ字変換表」

## 参考

## 濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

	濁音（「ざ」「ば」など） 半濁音（「ば」など）	拗音（「ゅ」「あ」など） 促音（「っ」）
ローマ字 入力	濁音・半濁音用のスペルで入力します。 参照☞ P.190「ローマ字変換表」	次のいずれかの方法で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「きゃ」( <sup>Q</sup>K <sup>W</sup>A <sup>Q</sup>A) などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照☞ P.190「ローマ字変換表」</li> <li>促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例： <sup>Q</sup>S <sup>Q</sup>A <sup>Q</sup>K <sup>Q</sup>K <sup>Q</sup>A … 「さっか」</li> <li>「<sup>Q</sup>L」を押してから通常の文字ボタンを押す。 例： <sup>Q</sup>L <sup>Q</sup>T <sup>Q</sup>U … 「っ」 <sup>Q</sup>L <sup>Q</sup>A … 「あ」</li> </ul>
かな入力	仮確定の清音の後に、 <sup>Q</sup> や <sup>Q</sup> を入力します。	<sup>Q</sup> シフトを押しながら文字ボタンを押します。

文字ボタンに表記された表記号「!」「\*」「.」などは、<sup>Q</sup>シフトを押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。

例：



⑦ <sup>Q</sup> 入力切換を数回押して「ローマ字入力」または「ABC入力」を選ぶ



⑧ 「!」を入力する  
<sup>Q</sup>シフトを押しながら<sup>Q</sup>!を押します。  
「!」が確定された状態で入力されます。



## MEMO

文字ボタンに表記された数字や英記号「¥」「～」「／」は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。「かな入力」の状態では入力できない文字があるので、その場合は「ローマ字入力」または「ABC入力」に切り換えてください。

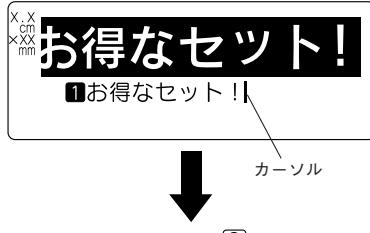
次へ進みます

2行目を入力するには、まず、改行をします。

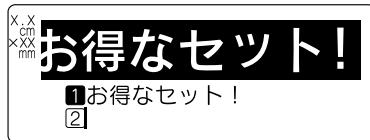
例：



- 9 1行目の文末にカーソルを合わせて  
[選択 改行]を押す



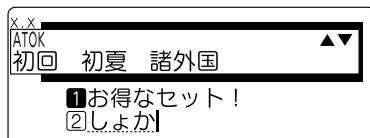
改行され、行頭マークの[2]が表示されます。



- 10 「初回」を入力する

途中まで入力すると、予測入力の候補に「初回」が表示されます。

ローマ字入力： [S] [H] [O] [K] [A]  
かな入力： [し] [シフト] + [よ]

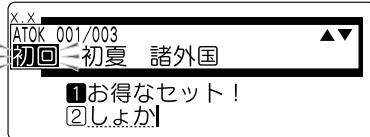


- 11 [↑] [↓]を押す

予測入力の候補を選択できる状態になります。

- 12 「初回」を選択し、確定する

[←] [↑] [↓] [→] で「初回」を選択し、  
[選択] で確定します。

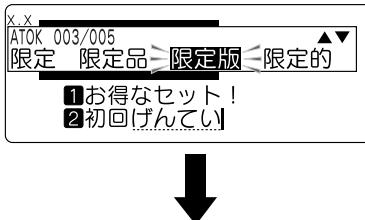


- 13 「限定版」を入力する

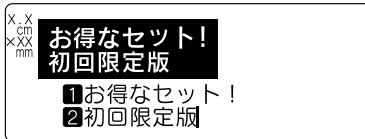
途中まで入力すると、予測入力の候補に「限定版」が表示されます。

ローマ字入力： [G] [E] [N] [T] [I] [I]  
かな入力： [け] [い] [ん] [て] [い]

予測候補から「限定版」を選択し、[選択] で確定します。



文字が確定します。



## MEMO

- 「読み」をすべて入力し、[変換スペース]を押して変換することもできます。[変換スペース]を押した場合は、予測候補は表示されません。
- 長い文章の変換操作については、P.37「長い文章を変換する」、「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。

## 参考

## 長い文章を変換する

入力した文章が長く、ATOK 変換画面で表示されている仮確定文字の状態では正しくない場合は、ボタンを押して文節ごとに変換をします。

**例**：「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

**1** 「あすははれますか」を入力してボタンを押す

ATOK 変換画面になります。

**2** 1文節目が正しく変換されている状態でボタンを押す



1文節目が確定し、次に2文節目が変換対象になります。

**3** ボタンを押す

2文節目の変換候補一覧が表示されます。



**4** 正しく変換されている状態でボタンを押す  
2文節目が確定します。

さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

## MEMO

- ATOK 変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾14文字だけとなります。また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
-  / で文節を確定した直後であれば、ボタンで確定前の状態に戻すことができます。

## 変換する「読み」の長さを変える

変換する「読み」の長さが違い、目的の漢字に変換できない場合は、 ボタンを押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

**例**：「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

**1** 「きのうえをかった」を入力してボタンを押す

ATOK 変換画面になります。

**2** 変換する文節の長さが適当でないときは ボタンを押す

変換対象（ネガ表示部分）はで短く、で長くなります。



 ボタンを押して「きのう」を文節にする



**3** ボタンを押す

長さを変えた1文節目の変換候補が表示されます。



正しく変換されたらで確定し、2文節目以降を変換します。

## 2. 英数字を入力する

英数字は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。小文字の入力にはシフトを使います。

例：

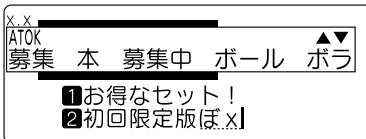


### ローマ字入力の場合

綴りを入力してから変換します。

#### 1 「Box」を入力する

ローマ字入力：Eボ、シフト + 50、シフト + ボル



「ぼ x」と表示されます。

#### 2 変換スペースを押す

ATOK変換画面になります。



「ぼ x」

#### 3 変換する文節の長さが適当でないときは →を押す

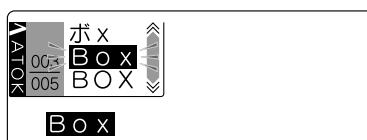


「ぼ x」

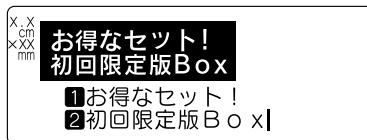
「ぼ x」が変換対象（ネガ表示）になります。

#### 4 「Box」が選択されるまで変換スペースを押す

#### 5 「Box」が選択されている状態で↓を押す



「Box」が確定します。



## MEMO

- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後にあ・ア・Aを押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、シフトを押しながらあ・ア・Aを押すと、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 文字を間違えたときは、削除ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 変換対象の長さを変える詳しい説明についてはP.37「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。
- 「かな入力」の状態では、英字の綴りによる入力はできません。「ローマ字入力」または「ABC入力」に切り換えてください。
- 英語の「カタカナ読み」を入力して変換スペースを押しても英字にできます（カタカナ語英語変換）。例えば、「ぼっくす」と入力して変換スペースを押すと、正しいスペルの「box」が変換候補に表示されます。

## ABC 入力の場合

英数字を入力するときに「ABC 入力」にすると、文字ボタンを押して直接、英数字を入力できます。

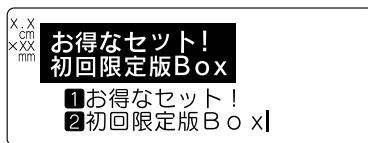
### ① を数回押して「ABC 入力」を選ぶ

### ② 「Box」を入力する

ABC 入力 :   +   +   
(小文字ロックをしている場合)

ABC 入力 :  +   

「Box」がテキスト画面に直接入力されます。



①お得なセット!  
②初回限定版Box

## MEMO

### 小文字ロック

「ABC 入力」時に、を押しながらを押すと、小文字入力状態に切り換わり、を押していないときに小文字入力インジケーターが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度を押しながらを押します。

## !! 注意 !!

半角英数字は QR コード作成時のみ入力できます。参照☞ P.132 「QR コードを印刷する」

### 3. スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「 」(半角スペース)が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

例：



#### 1 仮確定文字がないことを確認する

##### !!注意!!

仮確定文字があるときに「**変換スペース**」を押すと、ATOK 変換画面になります。

#### 2 「**変換スペース**」を押す

半角スペースが入力されます。

①お得なセット！  
②初回限定版Box !

テキスト画面には「 」が表示されますが、印刷時にはスペース(空白)として扱われ、印刷されません。

#### MEMO

「ローマ字入力」「かな入力」「ABC入力」のいずれでも半角スペースが入力できます。

#### 参考

##### 全角スペース

スペースには半角スペース(「 」)のほかに、全角スペース(「 」)があります。全角スペースは、印刷すると約1文字分の空白となります。全角スペースを入力するには、(記号)を押して表示される記号メニューから「編集」を選び、その中の「 」を選択します。

ただし、「文字間」で「プロポーショナル」が「オフ」に指定されているときは、半角スペースでも約1文字分の空白として印刷されます。

参照☞ P.74「文字間」

	テキスト画面	プロポーショナル「オン」	プロポーショナル「オフ」
半角 スペース	① 田中 <u> </u> 慶介 ② 田中 <u> </u> 慶介	田中 <u> </u> 慶介 田中 <u> </u> 慶介	田中 <u> </u> 慶介 田中 <u> </u> 慶介
全角 スペース			

## 4. 記号を入力する

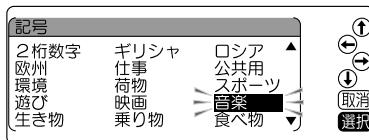
例：



### 1 [記号] を押す

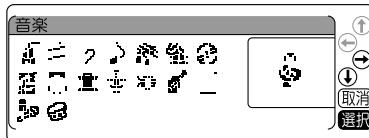
「記号」メニューが表示されます。

### 2 ← ↑ ↓ → で「音楽」を選ぶ

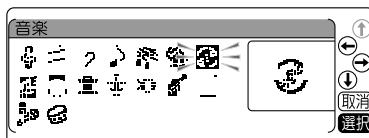


### 3 [選択] を押す

「音楽」の記号が表示されます。

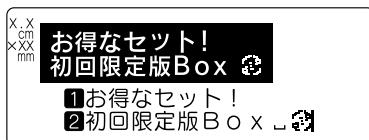


### 4 ← ↑ ↓ → で「⌚」を選ぶ



### 5 [選択] を押す

「⌚」が入力されます。



## MEMO

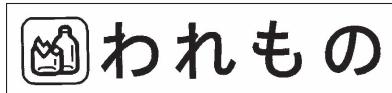
- 仮確定文字があるときは、ボタンで記号を入力することはできません。
- 記号の一覧は記号一覧表を参照してください。  
参照☞ P.186 「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときはボタンを押してテキスト画面に戻ります。
- 一度選択した記号のメニューは、次回から優先して一番最初に表示されるようになります（学習機能）。
- 記号メニューの「外字呼出」は、登録した外字を呼び出します。  
参照☞ P.123 「外字を呼び出す」
- 記号メニューの「2桁数字」は、2桁で1文字となる数字を入力します。  
参照☞ P.63 「たて書きで2桁の数字を印刷する」
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下の働きをします。
  - ：罫入力記号  
縦罫線を入力します。  
参照☞ P.79 「外枠・表組み」
  - ：全角スペース  
全角のスペースを入力します。  
参照☞ P.40 「全角スペース」
- 記号メニューの「合成」内の記号は、文字や他の記号と合成することができます。  
参照☞ P.42 「丸つき文字などを入力する（合成）」

## 参考

## 丸つき文字などを入力する（合成）

文字や記号を、○や□などの「合成記号」と合成してオリジナルの文字を作ることができます。「合成記号」には○○×□□があります。文字や記号のほか、2桁数字、外字なども合成することができます。

例：



- ① 合成文字を入力する位置にカーソルを合わせる

① われもの

- ②  を押す

「記号」メニューが表示されます。

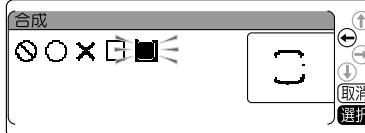
- ③ 「合成」を選び、 を押す



「合成記号」が表示されます。

- ④ 記号を選び、 を押す

例の場合は、「□」を選び、 を押します。



合成マーク  と入力エリアが表示されます。

①  われもの

- ⑤ カーソルが合成マーク  の右にあることを確認し、合成する文字や記号を入力する  
例の場合は、 を押して「暮らし」メニュー  
から  を選び、 を押します。



入力エリアに合成する文字や記号が表示されます。

①  われもの

## MEMO

- 操作を途中でやめるとときは  を押してテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があるときは、 ボタンで合成文字を入力することはできません。
- 文字によっては、「合成記号」から文字や記号などがはみ出することがあります。
- 文字サイズによっては、「合成記号」○○×□□の一部が欠けることがあります。
- 合成文字を2文字以上続けて入力することはできません。続けて「合成記号」を入力すると、最初の合成文字の内容が置き換わってしまいます。続けて入力せずに、間にスペースなどを入れて入力し、その後にスペースを削除してください。
- 連番、バーコードは合成できません。
- 記号メニューの「数字」内には、1~20の丸つき数字があります。

## 5. 印刷イメージを確認する（プレビュー）

文字の入力が終わったら印刷します。印刷前に、印刷するイメージをディスプレイに表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

### 1 テープカートリッジを正しくセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

### 2 シフトを押しながら (=プレビュー) を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

イメージの表示中に  [あ・ア/A] [変換 スペース]

    のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。

プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

お得なセット！  
初回限定版BOX

### MEMO

プレビューを途中でやめるときは  または  を押してください。

### !! 注意 !!

- ・ プレビューが表示されるのは、テキスト画面・ビジネスフォーム入力時です。
- ・ テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープがありません！」と表示されプレビューは表示されません。
- ・ 本機では、16m 以上のラベルは印刷できません。印刷結果が 16m を超える文章を入力した場合、プレビューは表示されず、ディスプレイに「入力した文章が長すぎます」のメッセージが表示されます。この場合は、いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。
- ・ 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」が表示され、プレビューは表示されません。
- ・ QR コードが大きい場合、「QR コードが大きすぎます！」が表示され、プレビューは表示されません。  
参照  P.132 「QR コードを印刷する」
- ・ プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

## 6. 印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、AC アダプタ (AS1527J) を正しく接続しているかを確認してください。

### ① [印刷]を押す

「準備中」と表示された後、できあがるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。



印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。印刷を途中でやめるときは [削除/取消] を押してください。

### MEMO

- 転写テープがセットされているときは、転写印刷を選択する画面が表示されます。  
参照☞ P.158「転写テープを印刷する」
- 印刷中に [ON/OFF] (ON/OFF) ボタンを押すと印刷を中止し、テープをカットした後に電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと、ディスプレイに印刷枚数が表示されます。
- 印刷枚数表示は、印刷内容（文字や書式など）を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。また、印刷枚数99枚の次は「100枚」、その次は「1枚」と表示されます。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約 20mm カットされます。
  - 余白が「極少」、「少なめ」の場合（全テープ幅）
  - 余白が「自動少なめ」の場合（36mm 幅テープ以外）
  - 余白が「自動多め」の場合（4mm、6mm 幅テープ）
- ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- 特殊印刷（連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷）をおこなう場合は、[特殊印刷] ボタンで印刷します。  
参照☞ P.134「特殊な印刷（連続印刷、拡大印刷）」

### !! 注意 !!

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼんは「自動カット」を無効で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを 3mm（りぼんの場合は 10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。

参照☞ P.142「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

参照☞ P.157「テープカートリッジを使いわける」

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・りぼんを使う場合は、ハーフカットを無効にしてください。  
参照☞ P.142「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

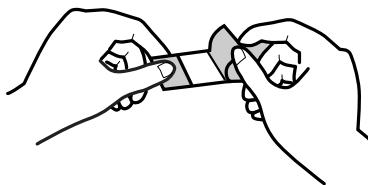
参照☞ P.157「テープカートリッジを使いわける」

- 転写テープは自動でハーフカットが無効になります。
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷を開始するまでの処理時間が長いことがあります。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- 仮確定文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、印刷が中断します。印刷中には上カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープがありません！」が表示されます。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- QR コードが大きい場合、「QR コードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。  
参照☞ P.132「QR コードを印刷する」
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じことがあります。
- 16m を超える印刷はできません。

## 7. ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

### ① 裏紙をはがす



ハーフカットを有効にしておけば、ラベル部分のみをカットするので、裏紙をはがしやすくなります。

参照☞ P.142 「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

### ② しっかりとこすって貼り付ける



### MEMO

印刷したラベルのカドを丸くすることができます。参照☞ P.56 「カドを丸く仕上げる」

### !!注意!!

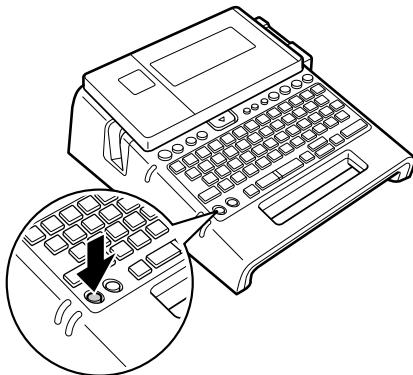
- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともどに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかつたりはがれやすくなったりすることがあります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにむやみにラベルを貼るのはやめましょう。
- 「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じことがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

# ●使い終わったら〈電源を切る〉

## ① (ON/OFF) を押す

電源が入っている状態で  (ON/OFF) を押すと、終了のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章が表示されます。



## ② AC アダプタ (AS1527J) をはずす

AC アダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

### !! 注意 !!

- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、AC アダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、電池、AC アダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、AC アダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。電池を取りはずしても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。

### つづいて

以上で基本的な操作は終了です。続いて「使いかた編2」で複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

# 使いかた編 2

～目的にあったラベルを作ろう～

複数行のラベルにしたり、文章を段落に分けるなど、文章を仕上げる機能を確認しましょう。

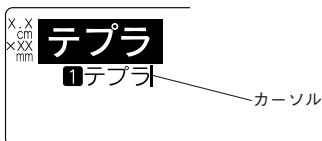
また、印刷機能を設定したり、「カド丸仕上げ」にするなど用途に合わせたラベルを作りましょう。

# ○文章を作る

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの変更ができます。

## カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入・削除する位置を表します。



カーソルの移動にはカーソルボタン を使います。

本機のディスプレイには最大 15 文字 × 5 行（「印刷イメージ無」の場合）まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
	右方向に 1 文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	左方向に 1 文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	前（上）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	次（下）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
+	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
+	行末へ移動します。 繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
+	段落の先頭へ移動します。 繰り返すと、前の段落の先頭、さらに前の段落の先頭……と移動します。
+	段落の終わりへ移動します。 繰り返すと、次の段落の終わり、さらに次の段落の終わり……と移動します。

+ となっている表記は、 を押しながらそのボタンを押す操作です。

## 文章を入力する



文字はキーボードの文字ボタンで入力し、を押して漢字などに変換します。

参照 P.32 「手順どおりに作ってみよう」

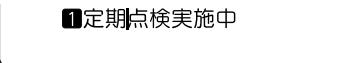
## 文字を削除 /挿入する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ  を押すと文字が削除されます。

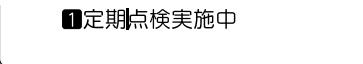
文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

**例**：「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

**1**   で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

 ①定期点検実施中

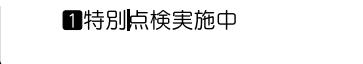
**2**  を押して「定期」を削除する

 ①定期点検実施中



 ①点検実施中

カーソル位置は行頭になります。  
**3** 「特別」を入力する

 ①特別点検実施中

### !! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数（約 500 文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（◀）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

### MEMO

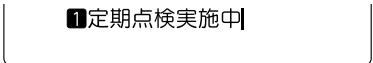
間違って文字を削除した場合は、削除した直後なら  ボタンで復活できます。

## 削除した文字をもとに戻す（復活）

削除した文字や文章は、削除した直後なら  ボタンで復活できます。

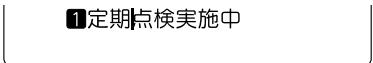
**例**：「定期点検実施中」の「定期」を削除してから復活する

**1** 「定期点検実施中」を入力する

 ①定期点検実施中

**2**   で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

**3**  を 2 回押して「定期」を消す

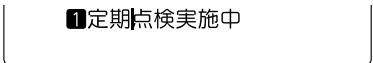
 ①定期点検実施中



 ①点検実施中

**4**  を押す

削除した文字が復活します。

 ①定期点検実施中

### MEMO

- 仮確定の状態で削除した文字は、復活できません。
- 削除直後に       以外のボタンを押した場合は、次に  を押しても復活できません。
-  ボタンで削除した文字を 30 文字まで記憶できます。
- 全文消去、段落消去も復活できます。
- 文字の貼り付けをやめることもできます。

## 文字をコピーする

すでに入力した文字をコピーすることができます。

例：「定期点検実施中、特別点検実施中」で2回目の「点検実施中」をコピーで挿入する

- 1 行目に「定期点検実施中」、  
2行目に「特別」を入力する
- 2 で「点」の前(左側)にカーソルを合わせる  
1定期点検実施中  
2特別
- 3 を押す  
コピー範囲を指定する画面になります。
- 4 で範囲を指定し、を押す  
1範囲を指定して選択ボタン  
1定期点検実施中  
2特別

指定した範囲がネガ表示になり、を押すと一時的に記憶されます。このあと貼り付け操作で文字を貼り付けます。

### MEMO

- 一度にコピーできる文字は30文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時には、コピーや貼り付けはできません。

## 文字を貼り付ける

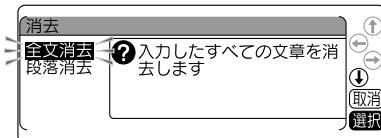
コピーした文字は、あらたにコピーするまで何度も貼り付けることができます。

- 1 で貼り付け先にカーソルを合わせる  
2特別
- 2 を押しながら (=貼付け) を押す  
コピーされた文字が挿入されます。  
2特別点検実施中

## すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

- 1 を押しながら (=消去) を押す  
「消去」メニューが表示されます。



- 2 「全文消去」を選び、を押す

ディスプレイが一瞬消灯し、全文消去されます。消去後は、テキスト画面に戻ります。

①

カーソルのある段落のみを消去したいときは「段落消去」を選びます。

参照☞ P.55「特定の段落を消去する」

### !!注意!!

入力した文章には、編集機能の指定内容が一緒に含まれています。全文消去をおこなうと、これらの内容もすべて消去されます。消去してもよいかを充分に確認してから全文消去をおこなってください。

### MEMO

- 削除した直後ならボタンで復活できます。
- 全文消去では、以下の内容は消去されません。  
ファイル・あて名・名前・辞書・外字データ、  
文字地紋データ、創作地紋データ、編集の  
保存値、漢字や記号などの学習内容、文字  
の入力状態
- すべてを購入時の設定に戻したいときは、本  
機の初期化をおこなってください。  
参照☞ P.150「本機を初期化する」

# ●行を増やす(改行)

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます(選択改行を押します)。

## テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから36mmまでの幅のテープを使うことができます。

セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm	36mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	5行まで	7行まで	10行まで	13行まで

## MEMO

- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク①②……☒、①②……☒と、実質行頭マーク①②……☒、①②……☒の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- ☒☒はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。☒の表示があるときに印刷を押しても「行数オーバー！」が表示されます。不要な行を削除し、☒の表示がなくなったことを確認してから印刷をおこなってください。

参照☞P.169「こんな表示が出たときは - 行数オーバー！」

## 新しい行を作る

行の終わりで選択改行を押すと、新しい行に入力することができます(改行)。

例: 3行の文章を入力する

営業1課  
営業2課  
営業3課

①「営業1課」を入力し、選択改行を押す

①営業1課  
↓  
選択改行

2行目に行頭マークが表示されます。

①営業1課  
②↓

②「営業2課」を入力し、選択改行を押す

②営業1課  
②営業2課  
↓  
選択改行

3行目に行頭マークが表示されます。3行目を入力します。

②営業2課  
③↓

## MEMO

仮確定文字があるときは、選択改行を押しても改行できず、文字が確定します。

## 文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

例：「営業 1 課田中慶介」を 2 行にする

営業 1 課田中慶介



途中で改行すると

営業 1 課  
田中慶介

1 で「課」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

1 営業 1 課田中慶介

2 を押す

2 行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は 2 行目に移動します。

1 営業 1 課  
2 田中慶介

### MEMO

仮確定文字があるときは、 を押しても改行はできず、文字が確定します。

## 改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例：2 行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事  
営業部  
営業 1 課  
田中慶介



途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事  
営業部 営業 1 課  
田中慶介

1 3 行目の行頭マーク の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

2 営業部  
3 営業 1 課  
4 田中慶介

2 を押す

3 行目の「営業 1 課」が 2 行目に連結されます。

4 行目の「田中慶介」が 3 行目になります。

2 営業部 営業 1 課  
3 田中慶介

### MEMO

- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、 を押すと 4 行目の文章が 3 行目に連結され、4 行目は自動的に削除されます。

- 第 1 段落の 1 行目の行頭マーク 1 は削除できません。

## ●段落を増やす（改段落）

下のラベルは3つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼んでいます。段落とはテープ幅に積み重ねて印刷される「行の集まり（または1行）」のことです。1つのラベルの中にいくつかの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。

段落は1つのラベル（文章）の中に最大32段落まで作ることができます。

### 段落が3つのラベル



印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では下記のように各段落が縦にならんだ形になります。

### 【画面上では】

段落 1	1	1
段落 2	1	内線
	2	営業部
段落 3	1	営業1課 131
	2	営業2課 132
	3	営業3課 133

## 新しい段落を作る

段落の終わりで **シフト** を押しながら **選択 改行** (= 改段落) を押すと、新しい段落ができます。

例：2段落の文章を入力する

<b>内線</b> 営業1課 131
営業2課 132
営業3課 133

段落1 段落2

### 1 段落1を入力する

1行目に「内線」、2行目「営業部」と入力します。

1 内線  
2営業部

### 2 文末にカーソルを合わせ、シフトを押しながら選択 改行 (=改段落) を押す

新しい段落が発生し、その1行目の行頭マーク①が表示されます。

2営業部  
①

### 3 段落2を入力する

1行目「営業1課 131」  
2行目「営業2課 132」  
3行目「営業3課 133」と入力します。

改行のときは、行の終わりで **選択 改行** を押してください。

2営業2課 132  
3営業3課 133

## MEMO

- 仮確定文字があるときは、シフトを押しながら選択 改行を押しても改段落はできず、文字が確定します。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。  
参照☞ P.75 「機能の説明（段落スタイル）」
- もとの段落スタイルの文字サイズに行数が指定されていると、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。  
参照☞ P.75 「文字サイズ」

## 段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ（右側）の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす

<b>内線</b> 営業1課 131
営業2課 132
営業3課 133

段落1 段落2

↓ 段落1の「」の後ろ（右側）で改段落すると

<b>内線</b> 営業1課 131
営業2課 132
営業3課 133

段落1 段落2 段落3

### 1 段落1の1行目「」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

1 内線  
2営業部

### 2 シフトを押しながら選択 改行 (=改段落) を押す

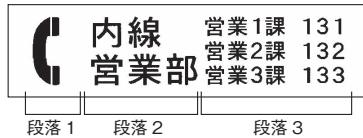
改段落され、カーソルより後ろ（右側）の文字は新しくできた段落に移ります。  
カーソルは新しい段落の1行目にあります。  
段落2はそのまま段落3に移ります。

1 内線

## 特定の段落を消去する

不要な段落を消去します。段落を消去すると、文字だけではなくその段落に指定された段落スタイル指定、文字モードの指定内容もすべて消去されます。

例：段落2を消去する



↓  
段落2を消去すると



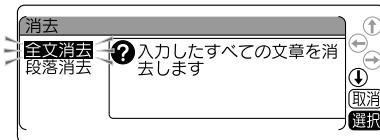
### 1 消去する段落2にカーソルを合わせる

カーソル位置は消したい段落内ならどこでもかまいません。

1 内線  
2 営業部

### 2 シフトを押しながら〔削除〕(=消去)を押す

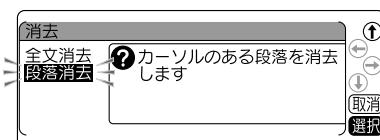
「消去」メニューが表示されます。



### !! 注意 !!

「全文消去」で〔選択〕を押すと、入力したすべての文章が消去されます。ご注意ください。

### 3 ↑ ↓ で「段落消去」を選ぶ



### 4 〔選択〕を押す

ディスプレイが一瞬消灯し、段落が消去されます。消去が終わるとテキスト画面に戻ります。

1:1  
1 営業1課 131

### MEMO

- 段落消去をおこなうと、カーソル位置の段落内容がすべて消去されます。段落消去は充分に確認してからおこなってください。
- 間違って消去した全文・段落は、消去した直後なら〔復活〕ボタンで復活させることができます。  
ただし、段落消去後に〔シフト〕〔入力切換〕以外のボタンを押すと、消去された全文・段落を復活させることはできません。
- 段落消去を途中でやめるときは、〔ホーム〕を押してテキスト画面に戻ります。

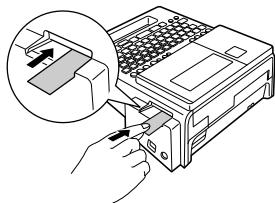
# ●カドを丸く仕上げる

ラベルをトリマー差込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げることができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよいばかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。

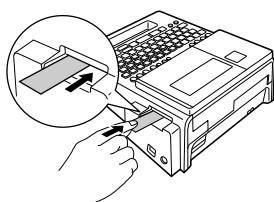
## 9mm、12mm、18mm、24mm 幅 テープのとき

ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

- 1 ラベルの片側をトリマー差込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く  
カドが丸くカットされているか確認します。
- 3 ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする



## 36mm 幅テープのとき

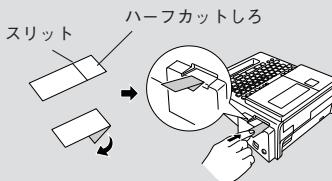
左右のカドが同時にカットされます。

- 1 ラベルの左右をトリマー差込み口のガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む
- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

お得なセット!  
初回限定版Box

## MEMO

- ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げ、トリマー差込み口に差し込んでください。



- ご購入時、「トリマーカバー」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。

## !!注意!!

- 印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
- ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- ラベルはつき当たるまでしっかりと差し込んでください。
- オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、うまくカドが丸くカットされないことがあります。
- トリマー差込み口には、シャープペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れないでください。オートトリマーが故障する原因となります。
- 4mm 幅、6mm 幅ラベルには、オートトリマーを使用できません。トリマー(RT36W)を使ってカットしてください。

参照☞ P.11 「別売品のご案内」

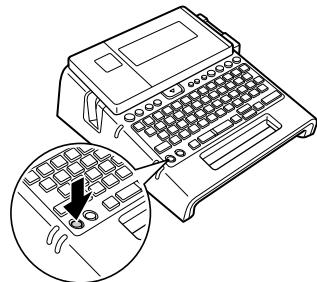
- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・りぼんはカットできませんので、オートトリマーに差し込まないでください。

参照☞ P.157 「テープカートリッジを使いわかる」

## オートトリマーのお手入れ

「トリマーカバー」にはオートトリマーの切りクズがたまります。ときどき「トリマーカバー」をはずして掃除してください。

### ① (ON/OFF) を押して電源を切る



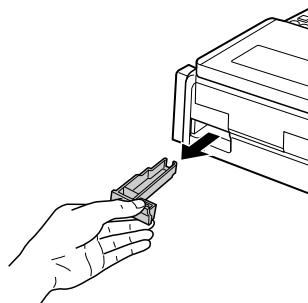
#### 警告



「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。  
 「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると刃で指を切ったりするなど、大変危険です。  
 また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

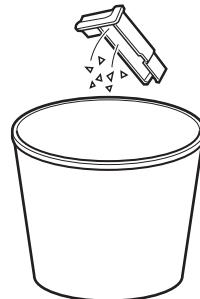
### ② 「トリマーカバー」をはずす

「トリマーカバー」の下側に指を入れ手前に引きます。



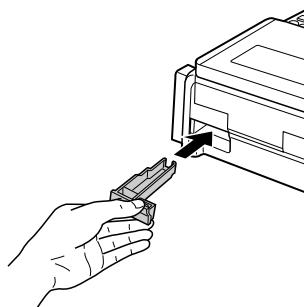
### ③ 切りクズを取り除く

「トリマーカバー」内にたまつた切りクズを市販の綿棒などで取り除きます。



### ④ 「トリマーカバー」をはめる

「トリマーカバー」をもとのように取り付けます。



#### MEMO

オートトリマーは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」



# 機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「ラベルの向きを変えたい」  
「ラベルを見栄えよくしたい」  
「入力した文章を保存しておきたい」  
こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

# ●ダイレクトキーで書体を変更する

## ○ (書体) を使う

○ (書体) を使うと、ラベルの書体を以下の順で切り換えられます。

ゴシック→波ゴ体→太型明朝体→太型ゴシック→明朝体



### ① 目的の書体になるまで○ (書体) を押す

○ (書体) を押すたびに、選択された書体が表示され、選択肢が切り換わります。

シフトを押しながら○ (書体) を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。



## MEMO

- 仮確定文字があるときは、書体を変更できません。
- 「書体」は編集機能の「書体」でも指定できます。
- 参照☞ P.74 「書体」
- 段落ごとや文字ごとに「書体」を指定する場合や、かな専用書体、英数専用書体を指定する場合、編集機能の「書体」で指定します。
- (書体) ボタンは文章全体の書体を変えます。「編集」機能で段落ごとや文字ごとに書体を指定している場合は、「▶ (文字モード指定マーク)」前までの書体を変更します。また、漢字、かな、英数書体を別々の書体を指定していても、文章全体が同じ書体になります。

# ●ダイレクトキーで文字サイズを変更する

## ● (文字サイズ) を使う

● (文字サイズ) を使うと、文字サイズを一段階ずつ切り替えられます。各行の文字サイズを「おまかせフォーマット」の組み合わせから選択できます。

均等



中



選択できる文字サイズは、ラベルの行数によって次のようにになります (● (文字サイズ) を押したときに表示される画面イメージとは若干異なります)。

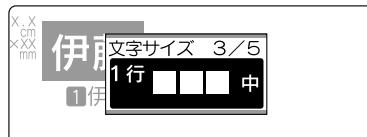
ラベルの行数	文字サイズ
1 行	特大、大、中、小、細
2 行	大大、中中、大小、小大
3 行	均等、1大、2大、3大
4 行	均等、1大、2大、3大、4大
5 行	均等、1大、2大、3大、4大、5大
6 行	均等、1大、6大
7-13 行	均等

### 1 目的の設定になるまで ● (文字サイズ) を押す

● (文字サイズ) を押すたびに選択肢が切り換わります。

カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。

【シフト】を押しながら ● (文字サイズ) を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。



## MEMO

- 仮確定文字があるときは、「文字サイズ」を変更できません。
- 「文字サイズ」は編集機能の「文字サイズ」でも指定できます。
- 参照☞ P.75 「文字サイズ」
- (文字サイズ) ボタンは、カーソルのある段落に対する指定です。
- 初期設定値（均等）に戻すには、編集機能の「文字サイズ」で「均等」を指定します。
- 選択肢を切り換えたあとは、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

# ●ダイレクトキーでラベルの向きを変更する（縦・横）

## ○（縦・横）ボタンを使う

○（縦・横）ボタンを使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」で切り換えられます。

よこ書きラベル

たて書きラベル

千代田区\*\*  
石原 大輔



千代田区\*\*  
石原 大輔

### ① ○（縦・横）を押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。

「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。

たて書き・よこ書きは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。

シフトを押しながら ○（縦・横）を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。



## MEMO

- 仮確定文字があるとき、「たて書き」「よこ書き」は変更できません。
- 編集機能の「縦・横」では文章全体または段落単位で指定できます。  
参照☞ P.64 「ラベルの見栄えをよくする（編集）」
- 編集機能の「縦・横」で「縦型よこ書」を指定している段落は、○（縦・横）ボタンで変更できません。  
参照☞ P.81 「縦・横」

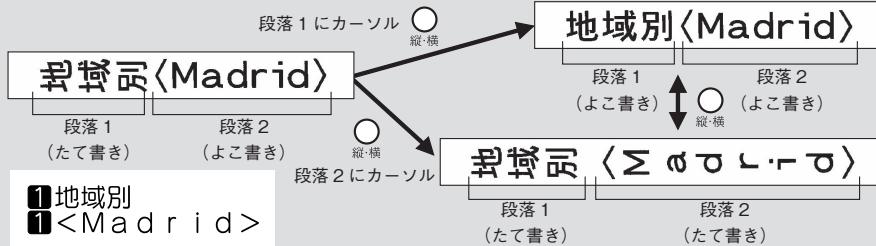
機

能

編

## !!注意!!

○（縦・横）ボタンは文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が文章全体に反映されます。



## 参考

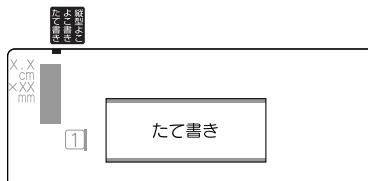
### たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

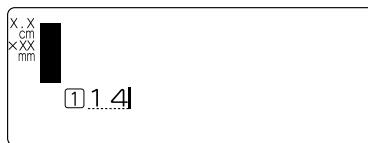
例：「14回大会記録」を入力する

# 14回大会記録

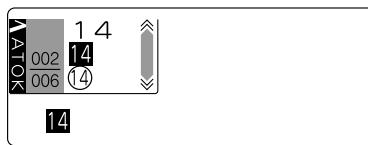
- ① (縦・横)を押して、「たて書き」を指定する



- ② ④と入力して「変換スペース」を押す



- ③ 「変換スペース」を押して2桁数字の「14」を選び、「選択 改行」を押す



- ④ 続けて文章を入力する



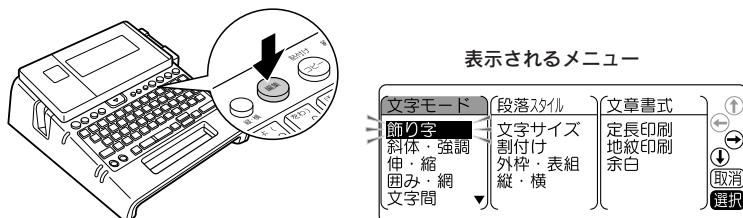
### MEMO

- 2桁の数字は、(記号)を押して「2桁数字」を選んで入力することもできます。
- 仮確定文字があるときは、(記号)ボタンで2桁数字は入力できません。

# ●ラベルの見栄えをよくする(編集)

文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

ラベルの見た目を変えるには、**編集**ボタンを押して表示されるメニューから機能を選択します。機能は、指定可能な範囲の違いによって、文字モード・段落スタイル・文章書式に分類されています。



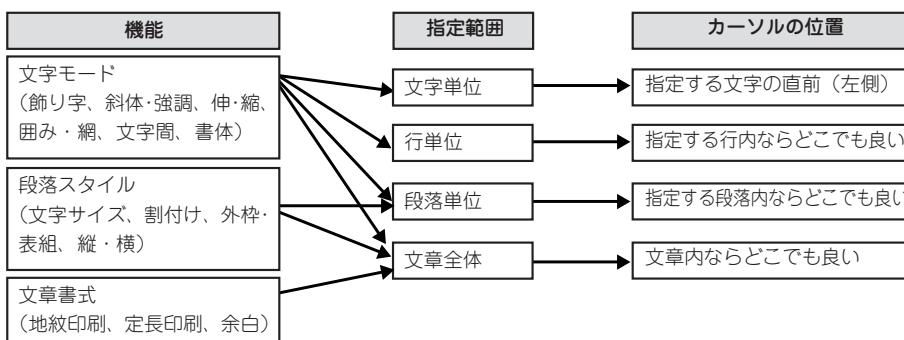
編集ボタンの機能

機能の分類	指定範囲	機能	内容
文字モード	文字単位	飾り字	淡文字、白文字、影文字、白抜影の装飾をします。
		斜体・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。
	行単位	伸・縮	文字を伸縮して変形します。
	段落単位	囲み・網	下線、網かけ、囲みの装飾をします。
	文章全体	文字間	文字の間隔を狭くしたり、広くしたりします。
段落スタイル	段落単位	書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
		文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		割付け	各行の割りつけ位置を指定できます。
		外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
文章書式	文章全体	縦・横	たて書きや、よこ書き、縦型よこ書きにします。
		定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
		地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。

## 編集の指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、**編集**ボタンを押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で範囲の指定をおこないます。

カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



# 編集を指定する

編集は以下のような流れで指定します。

## ① カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前（左側）にカーソルを合わせます。

行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。

文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。

参照☞ P.64 「編集の指定範囲とカーソルの位置について」

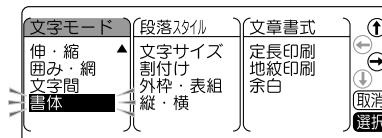
## ② 編集を押す

### !! 注意 !!

文章中に仮確定の文字があるときは、編集は指定できません。

## ③ 機能を選ぶ

➡ ➤ ➡ ➡ で目的の機能を選び、[選択] を押します。



## ④ 各機能の選択肢を指定する

↑ ↓ で目的の選択肢を選び、[選択] を押します。



## ⑤ 「終わり？」を選ぶ

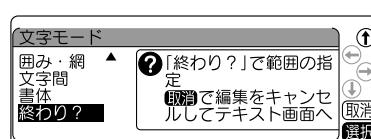
1つの機能の指定が終わると、「終わり？」が表示されます。

同じ分類の機能（この場合「文字モード」）であれば、続けて指定することができます。  
↑ ↓ で目的の機能を選び、[選択] を押します。

以降の手順は④⑤と同様です。

指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、  
[選択] を押します。

手順⑥へ進みます。



## MEMO

異なる分類の機能（この場合「段落スタイル」「文章書式」）を指定したい場合は、手順⑦の「編集続行？」で「する」を選択してください。

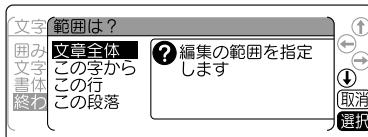
次へ進みます

## 6 指定した機能の範囲を決める

指定した機能の範囲を指定します。

下表を参考に、 で指定する範囲を選び、 を押します。

〔「文章書式」の機能を選択した場合は、範囲の画面は表示されませんので手順⑦へ進みます。〕



### ● 「文字モード」の機能を指定した場合

文章全体	文章全体に、指定した文字モードを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末（または、次の「▶」）まで、指定した文字モードを反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

### ● 「段落スタイル」の機能を指定した場合

文章全体	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

### ● 「文章書式」の機能を指定した場合

範囲の画面は表示されません。

手順⑤で「終わり？」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

## MEMO

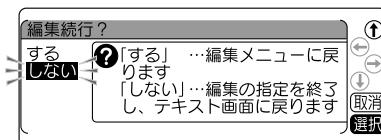
- 「▶（文字モード指定マーク）」は印刷されません。
- 「▶」は削除することができます。
- 「▶」を削除すると、その前にある「▶」の指定を反映します。
- 「▶」がない場合は、「文章全体」で指定した内容、または編集の保存値を反映します。
- 編集にある各機能のご購入時の状態（初期設定値）はP.67「編集メニュー一覧」で確認できます。また、この設定はP.145「編集機能の保存値を設定する」で変更することもできます。
- 編集の指定の途中で<sup>削除</sup><sub>戻す</sub>または<sup>編集</sup><sub>選択</sub>を押すと、1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すと、編集の指定を解除しテキスト画面に戻ることができます。
- 編集の指定の途中で<sup>ホーム</sup>を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 一部の編集の指定内容は、インジケーターの点灯で確認できます。
- 参照☞ P.22「ディスプレイの見たとはたらき」
- また、<sup>編集</sup><sub>選択</sub>を押して、各機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれことがあります。

## 7 編集を続けるかどうかを決める

で編集を続行するかどうかを選び、 を押します。

「しない」にした場合は編集を終了し、テキスト画面に戻ります。

「する」にした場合は手順③の編集メニューが表示されます。続けて、編集の各機能を指定することができます。



# ●編集メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	
文字モード 飾り字	A ふつう A 白文字 A 白抜影	A 淡文字 A 影文字	
斜体・強調	A 正体 A 強調	A 斜体 A 斜強調	
伸・縮	A ふつう A 小さく A 細かく	A 縮める A 伸ばす	(小さく、細かくのみ) A 中並び A 下並び
囲み・網	A なし A 網かけ A 角囲み網 A 丸囲み網	A 訂正線 A 下線 A 角囲み A 丸囲み	(網かけ、角囲み網、丸囲み網のみ) 網濃度 ふつう 濃い ベタ
文字間	密着 狭い 広い	プロポーションナル オン オフ	

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢																																																																																																									
文字モード	<table border="1"> <tr> <td>書体</td> <td>▶</td> <td>漢字書体</td> <td>▶</td> <td>かな書体</td> <td>▶</td> <td>英数書体</td> </tr> <tr> <td>書体</td> <td></td> <td>明朝体</td> <td></td> <td>自動</td> <td></td> <td>自動</td> </tr> <tr> <td>漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。</td> <td></td> <td>ゴシック</td> <td></td> <td>明朝体</td> <td></td> <td>明朝体</td> </tr> <tr> <td>参照 P.74</td> <td></td> <td>波ゴ体</td> <td></td> <td>ゴシック</td> <td></td> <td>ゴシック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>太型明朝体</td> <td></td> <td>波ゴ体</td> <td></td> <td>波ゴ体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>太型ゴシック</td> <td></td> <td>えれん</td> <td></td> <td>HV 体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ハッピ</td> <td></td> <td>BR 体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>太型明朝体</td> <td></td> <td>PL 体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>太型ゴシック</td> <td></td> <td>ST 体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>太型えれん</td> <td></td> <td>大型明朝体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>太型ハッピ</td> <td></td> <td>大型ゴシック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>大型 HV 体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>大型 BR 体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>大型 PL 体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>大型 ST 体</td> </tr> </table>			書体	▶	漢字書体	▶	かな書体	▶	英数書体	書体		明朝体		自動		自動	漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。		ゴシック		明朝体		明朝体	参照 P.74		波ゴ体		ゴシック		ゴシック			太型明朝体		波ゴ体		波ゴ体			太型ゴシック		えれん		HV 体					ハッピ		BR 体					太型明朝体		PL 体					太型ゴシック		ST 体					太型えれん		大型明朝体					太型ハッピ		大型ゴシック							大型 HV 体							大型 BR 体							大型 PL 体							大型 ST 体
書体	▶	漢字書体	▶	かな書体	▶	英数書体																																																																																																						
書体		明朝体		自動		自動																																																																																																						
漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。		ゴシック		明朝体		明朝体																																																																																																						
参照 P.74		波ゴ体		ゴシック		ゴシック																																																																																																						
		太型明朝体		波ゴ体		波ゴ体																																																																																																						
		太型ゴシック		えれん		HV 体																																																																																																						
				ハッピ		BR 体																																																																																																						
				太型明朝体		PL 体																																																																																																						
				太型ゴシック		ST 体																																																																																																						
				太型えれん		大型明朝体																																																																																																						
				太型ハッピ		大型ゴシック																																																																																																						
						大型 HV 体																																																																																																						
						大型 BR 体																																																																																																						
						大型 PL 体																																																																																																						
						大型 ST 体																																																																																																						
終わり？	▶	範囲は？	▶	編集続行？																																																																																																								
終わり？		文章全体		する																																																																																																								
指定後のみ表示され、文字モードの範囲を指定します。		この字から		しない																																																																																																								
参照 P.65		この行																																																																																																										
		この段落																																																																																																										

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル 文字サイズ	▶ 自動	▶ 均等 らく <sup>2</sup> (おまかせフォーマット) 特大 1a 小 1d 大 1b 細 1e 中 1c
均等 各行同じ文字サイズにします。	▶ 1 行	▶ 自由のび <sup>2</sup> 大大 2a 大小 2c 中中 2b 小大 2d
らく <sup>2</sup> 入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。	▶ 2 行	▶ 自由のび <sup>2</sup> 均等 3a 2 大 3c 1 大 3b 3 大 3d
おまかせフォーマット 各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。	▶ 3 行	▶ 自由のび <sup>2</sup> 均等 4a 3 大 4d 1 大 4b 4 大 4e 2 大 4c
自由のび <sup>2</sup> 行ごとに文字の大きさを指定します。 参照 P.75、77	▶ 4 行	▶ 自由のび <sup>2</sup> 均等 5a 3 大 5d 1 大 5b 4 大 5e 2 大 5c 5 大 5f
	▶ 5 行	▶ 自由のび <sup>2</sup> 均等 6a 下大 6c 上大 6b
	▶ 6 行	▶ 自由のび <sup>2</sup> 均等
	▶ 7-13 行	
割付け	▶ 前揃え 中揃え 後揃え	▶ 割付け 前揃え 中揃え 後揃え
割付け 各行の文字の配置を指定します。 参照 P.78		

メニュー

最初の選択肢

次の選択肢

## 段落スタイル

## 外枠・表組

外枠

ピクトグラフのような飾り枠がつけられます。  
「?」(記号外枠)はオリジナルの外枠を作ります。  
参照 P.79、80

なし

外枠



表組み



## 表組み

ピクトグラフのような表組みのラベルを作ります。

参照 P.79

## 縦・横

## 縦・横

文字の向きを指定します。  
参照 P.81

## 終わり？

## 終わり？

指定後のみ表示され、段落スタイルの範囲を指定します。  
参照 P.65

たて書き

よこ書き

縦型よこ書

範囲は？

文章全体

この段落

編集続行？

する

しない

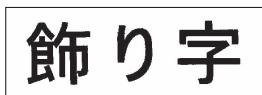
メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
文章書式			
定長印刷	しない 数値指定 A4 ファイル B5 ファイル CD・DVD ケース FD・MO	VHS 8mm ビデオ ミニ DV MD 音楽テープ	(数値指定のみ) 1.0cm ~ 95cm (数値指定以外) 前寄せ 割付け 中寄せ 後寄せ
地紋印刷	なし 菱形 雪 星 唐草 点網	海波 菱網 桜 カット 切抜 文字地紋	(点網のみ) 網濃度 濃い (文字地紋のみ) 地紋の文入力画面 (創作 1 ~ 4 のみ) 創作地紋柄
文字地紋			小柄 大柄
創作地紋	創作 1 ~ 4		
余白	余白 ラベルの前後の余白 を調整します。	少なめ ふつう 多め 自動少なめ 自動多め	
終わり？	終わり？ 指定後のみ表示され ます。	編集続行？ する しない	

# 機能の説明（文字モード）

## ●飾り字

文字の装飾を選択します。

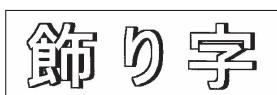
ふつう



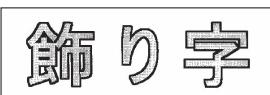
白文字



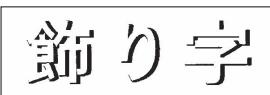
白抜影



淡文字



影文字



## MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることができます。

## ●斜体・強調

文字の斜体、強調を選択します。

正体



強調



斜体



斜強調



## MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることができます。

## ●伸・縮

各行の基本文字サイズ（行の大小）は、テープ幅・入力行数・文字サイズの段落スタイル指定によって決まります。伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的大きさを指定します。

ふつう (ご購入時の初期設定値)	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
小さく - 中並び / 下並び	基本サイズより、1段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び / 下並びから選びます。
細かく - 中並び / 下並び	基本サイズより、2段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び / 下並びから選びます。
縮める	横の長さを基本サイズの約 0.75 倍にします。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約 1.5 倍にします。

## MEMO

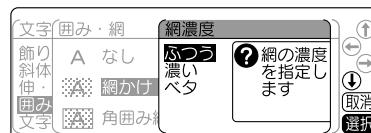
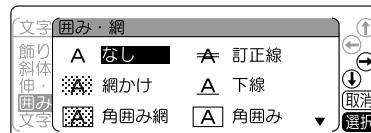
- 基本文字に対して、「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。
- 英数専用書体（HV 体・BR 体・PL 体・ST 体）はベースラインが漢字書体や、かな書体と異なるため、「下並び」を指定しても漢字書体や、かな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは段落スタイルの指定で変えることができます。  
参照☞ P.75 「文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることができます。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルを作ることができます。

## ●囲み・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。表示されるピクトグラフで囲み・網の種類を確認できます。網かけ、角囲み網、丸囲み網を選択した場合は、さらに網濃度を選びます。

### !!注意!!

- 網濃度で「ベタ」を選ぶと、自動的に飾り字が「白文字」に指定されます。
- 網濃度の指定を変更しても、テキスト画面の印刷イメージには反映されません。
- 網濃度で「濃い」または「ベタ」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。



## ●文字間

文字の間隔を選びます。

密着



狭い



ふつう



広い



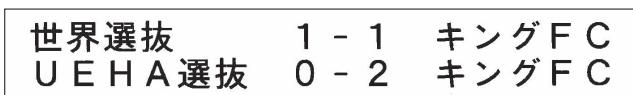
さらに文字間「プロポーショナル」の「オン / オフ」を選びます。

プロポーショナル「オン」



「プロポーショナル」を「オン」にすると、英数字にプロポーショナルがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

プロポーショナル「オフ」



「プロポーショナル」を「オフ」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字（半角スペースを含む）をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「プロポーショナル」を「オフ」にしてください。

## MEMO

### 文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
- 複数個の外字をつなげたロゴを作るとときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。  
参照☞ P.120 「外字を使う」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルが作れます。

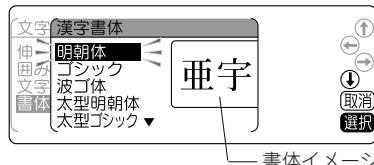
## ●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。

書体イメージは、指定中のガイドで確認できます。

書体の変更は (書体) ボタンでも指定できます。

書体  
参照☞ P.60 「ダイレクトキーで書体を変更する」



書体イメージ

## MEMO

大型書体は、文字が太い書体です。一部の文字は大きさにかかわらず、つぶれますのでご了承ください。

## 機能の説明（段落スタイル）

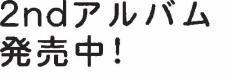
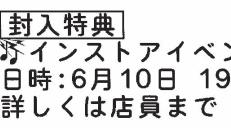
### ●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「らく<sup>2</sup>」「おまかせフォーマット」「自由のび<sup>2</sup>」で指定してください。

文字サイズの変更は  (文字サイズ) ボタンでも指定できます。

文字サイズ

参照☞ P.61 「ダイレクトキーで文字サイズを変更する」

<b>均等</b> (ご購入時の 初期設定値)	各行を同じ文字サイズにします。 12mm 幅テープ
	 18mm 幅テープ
	
<b>らく<sup>2</sup></b>	入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。
	1行のとき：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。
	
	
	2行以上のとき：各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。
	 
	テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また、文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように、文字サイズを自動調整します。
<b>おまかせ フォーマット</b>	各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。
	参照☞ P.76 「おまかせフォーマット」
<b>自由のび<sup>2</sup></b>	行ごとの文字サイズを自由に選びます（マニュアル）。
	参照☞ P.77 「自由のび <sup>2</sup> 」

### MEMO

各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。

## おまかせフォーマット (1行～13行)

選択肢から文字サイズ（行の大小）を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

また、「自由のひ<sup>2</sup>」を選ぶと、行ごとの文字の大きさ（行の大小）を自由に指定できます。



### おまかせフォーマット 1行

□ 特大 1a · □ 大 1b · □ 中 1c · □ 小 1d · □ 細 1e と選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印字サンプル	K [72]	K' [64]	H [51]	U [38]	U' [32]	G [26]
36mm	特大	大	中	小	細	—
24mm	—	—	特大	大	中	小
18mm	—	—	—	特大	大	中
12mm	—	—	—	—	—	特大
9mm	—	—	—	—	—	—
6mm	—	—	—	—	—	—
4mm	—	—	—	—	—	—

印字サンプル	美	美	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt] テープ幅	L [19]	L' [16]	M [13]	S [10]	S' [8]	P [6]	F [5]
36mm	—	—	—	—	—	—	—
24mm	細	—	—	—	—	—	—
18mm	小	細	—	—	—	—	—
12mm	大	中	小	細	—	—	—
9mm	特大	大	中	小	細	—	—
6mm	—	—	特大	大	中	小	細
4mm	—	—	—	—	特大	大	中、小、細

### !! 注意 !!

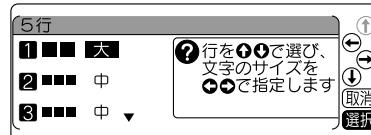
テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部が機能しない場合があります。各行の文字サイズは、文字サイズインジケーターで確認してください。

## MEMO

- おまかせフォーマット（2行以上）は、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

### 自由のび<sup>2</sup>

各行ごとに文字の大きさ（行の大小）を「細」「小」「中」「大」「特大」の5段階で、自由に指定できます。ただし、テープ幅や行数によっては異なるサイズを指定しても、印刷結果は同じになることがあります。



2行（18mm 幅テープ）の印刷見本



3行（24mm 幅テープ）の印刷見本



4行（36mm 幅テープ）の印刷見本



5行（36mm 幅テープ）の印刷見本

## MEMO

- これらの例は、自由のび<sup>2</sup>の組み合わせのごく一部です。
- 各行の文字サイズは文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

## ●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

 前揃え(ご購入時の初期設定値)	行頭を揃えます。
 中揃え	各行の中心を揃えます。
 割付け	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割りつけます。
 後揃え	行末を揃えます。

## MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「割付け」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

## ●外枠・表組み

文章（段落）のまわりに外枠や表組みをつけます。

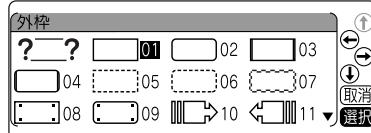
### なし（ご購入時の初期設定値）

外枠・表組みをつけません。

### 外枠

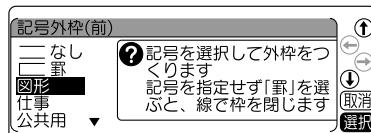
文章（段落）のまわりに外枠をつきます。

表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。



?—?を選ぶと、外枠の左右に配置する記号を選択して外枠を作れます。

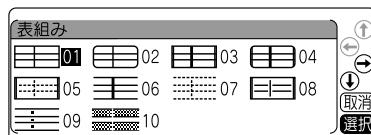
参照☞ P.80 「記号外枠を指定する」



### 表組み

文章（段落）が枠で囲まれ、行間に横罫線が引かれます。表を前後に区切る場合は、改段落をおこなって新しい段落にも同じ表組みを指定します。

表示されるピクトグラフで表組みの種類を確認できます。参照☞ P.53 「段落を増やす（改段落）」



備品名	RDS
管理番号	1103-U

### MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、(記号)を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の[罫]を入力します。

ラベルの行中に縦罫線が入る

備品名	RDS
管理番号	本館

段落 1

段落 2

シフト + [選択 改行] で改段落をして、  
このように段落 2 を入力します。

1 RDS 本館  
2 1103-U

テキスト画面に[罫]を入力する

## 参考

### 記号外枠を指定する

記号外枠とは、外枠の前後を記号の中から選んでオリジナルの外枠を作る機能です。

例：



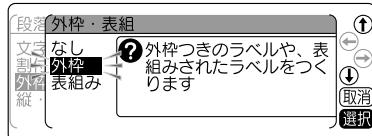
「記号外枠（前）」  
で選択した記号

「記号外枠（後）」  
で選択した記号

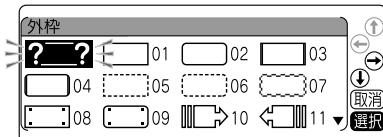
① **〔編集〕を押す**

「編集」メニューが表示されます。

② 「外枠・表組」の「外枠」を選ぶ



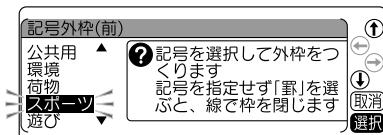
③ **〔?〕を選び、〔選択〕を押す**



記号選択メニューが表示されるので、記号外枠の前部分を指定します。

④ 外枠の前部分に配置する記号を選ぶ

例の場合は「スポーツ」の中から  を選びます。



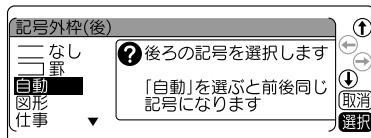
〔選択〕



記号外枠の前部分が選択されます。続いて、後ろ部分を指定します。

⑤ 外枠の後ろ部分に配置する記号を選ぶ  
例の場合は「スポーツ」の中から  を選びます。

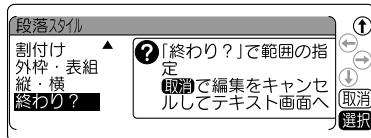
ここで「自動」を選ぶと、前部分と同じ記号が指定されます。



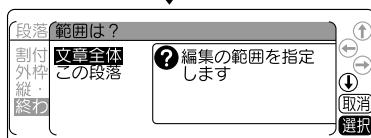
⑥ デザインを確認し、〔選択〕を押す



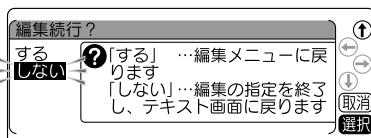
⑦ 「終わり？」で〔選択〕を押し、「範囲」を指定する



〔選択〕



⑧ 「編集続行？」で「しない」を選択し、〔選択〕を押す



記号外枠が指定されます。



## ●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするか、縦型よこ書きにするかを指定します。

たて書き / よこ書きの変更は  (縦・横) ボタンでも指定できます。

参照  P.62 「ダイレクトキーでラベルの向きを変更する（縦・横）」

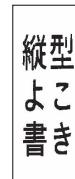
よこ書き（ご購入時の初期設定値）



たて書き



縦型よこ書き



## MEMO

縦型よこ書きを指定すると、段落スタイルの「文字サイズ」と文字モードの「文字間」の指定が反映されません。また、セットされたテープ幅によって、入力できる文字数に制限があります。

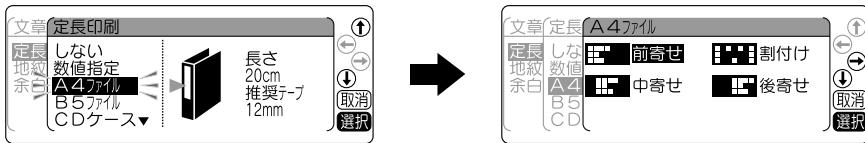
テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm	36mm
入力可能な文字数	1文字	2文字	3文字	5文字	7文字	10文字	13文字

# 機能の説明（文章書式）

## ●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。

長さを指定した後、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



「数値指定」を選んだときは、ラベルの長さを指定してからラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をお求めします。

用途	長さ	推奨テープ幅
A4 ファイル	20cm	12mm
B5 ファイル	15cm	12mm
CD・DVD ケース	11cm	4mm
FD・MO	7.0cm	18mm、24mm、36mm
VHS	14cm	18mm
8mm ビデオ	7.0cm	9mm
ミニ DV	4.0cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
音楽テープ	9.5cm	9mm

## MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「入力した文章が長すぎます」が表示され、印刷できません。文字数を減らしたり、行の大小指定や文字の伸・縮の指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがりの長さと完全には一致しません。
- ハーフカットを無効にしている場合は、長さ「1.8cm」以下のラベルは印刷できません。

## 参考

### 定長内に文字をおさめる「つめ<sup>2</sup>」機能

「文字サイズ」で「らく<sup>2</sup>」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく<sup>2</sup>」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。

そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ<sup>2</sup>」機能が働きます。

#### ① 一番最後の段落の文字を小さくする

(図 A → B)

定長に入らない場合はまず、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で一番最後の段落(⑤)の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

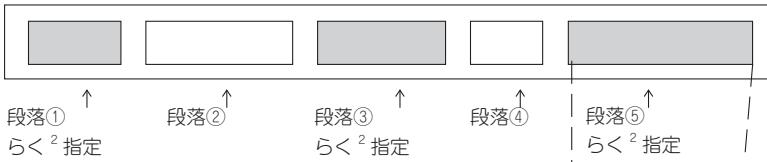
#### ② 最後から2番目の段落の文字を小さくする (図 B → C)

これでも定長内に入らない場合は、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で最後から2番目の段落(③)の文字サイズを1段階小さくします。

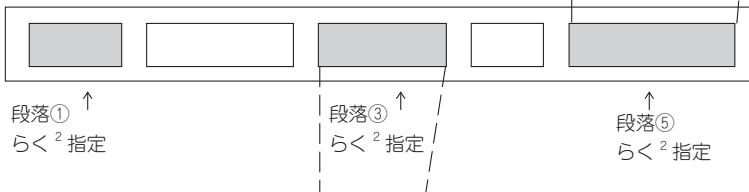
定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。

この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定し直すか、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。

A



B



C



※段落②、④が「らく<sup>2</sup>」を指定していない段落です。

#### !!注意!!

- 「らく<sup>2</sup>」を指定していない段落は「つめ<sup>2</sup>」機能は働きません。
- 「らく<sup>2</sup>」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ<sup>2</sup>」機能による処理はおこなわれません。

## ●地紋印刷

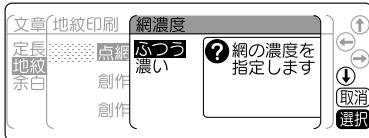
ラベルの背景全体に地紋をつきます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。



「点網」を選んだときは、さらに濃度指定ができます。

### !!注意!!

網濃度で「濃い」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。



## 文字地紋

好きな文字を入力し、地紋として印刷することができます。

参照☞ P.85 「文字地紋を使う」

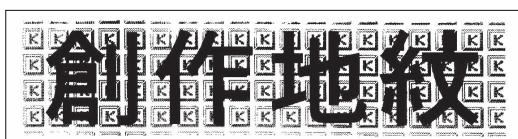


## 創作地紋

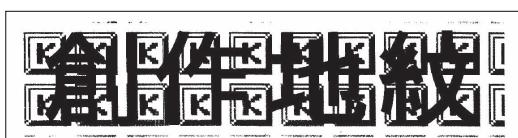
オリジナルの柄の地紋を作成します。

参照☞ P.86 「創作地紋を作る」

小柄



大柄



## MEMO

- 文字地紋は「文字地紋」、創作地紋は「創作 1」～「創作 4」のエリアに登録できます。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがあります。印刷に影響はありません。
- 地紋印刷時、ハーフカットを有効にしていると、地紋の一部分に縦の濃いラインが入る場合があります。
- 文字地紋 / 創作地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面でそれぞれを消去していくか、本機の初期化をおこなってください。

参照☞ P.150 「本機を初期化する」

## 文字地紋を使う

文字地紋を使えば、ラベルの下地にオリジナルの文字を印刷することができます。企業名を入れたラベルなども作れます。

例：「 5周年記念」の文字を地紋にして印刷する



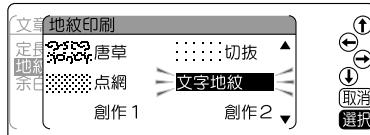
### ① を押す

「編集」メニューが表示されます。

### ② 「地紋印刷」を選び、 を押す

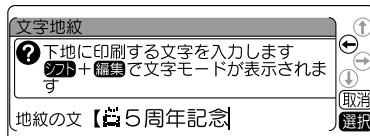


### ③ 「文字地紋」を選び、 を押す



「地紋の文」の入力画面になります。

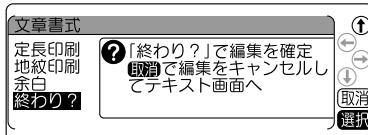
### ④ 地紋の文「 5周年記念」を入力し、 を押す



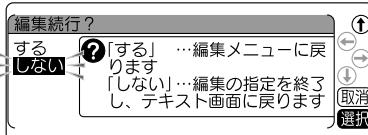
入力できる文字数は 16 文字までです。

文字だけでなく、記号、外字も入力できます。

### ⑤ 「終わり？」を選び、 を押す



### ⑥ 「編集続行？」で「しない」を選び、 を押す



地紋インジケーターが点灯します。

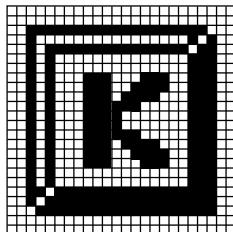
## MEMO

- 文字地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面で消去するか、初期化をおこなってください。
- 参照☞ P.150「本機を初期化する」
- 文字地紋に文字モードを指定するときは、 +  で指定します。なお、文字モードの「囲み・網」の指定はできません。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。

## 創作地紋を作る

24 ドット×24 ドットのオリジナルマークを登録し、地紋として使うことができます。登録できるマークは「創作 1」～「創作 4」の 4 個です。  
会社のロゴマークなどを地紋として印刷すれば、本格的な管理用ラベルが作成できます。

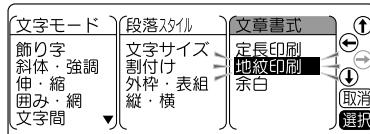
**例**： 次のようなマークを「創作 1」に登録する



**1**  を押す

「編集」メニューが表示されます。

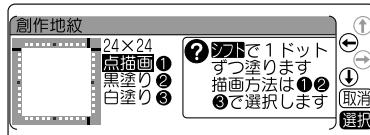
**2** 「地紋印刷」を選び、 を押す



**3** 「創作 1」を選び、 を押す



創作地紋の描画画面になります。



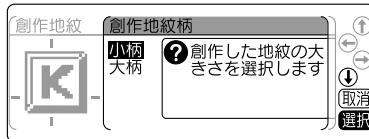
**4** 創作地紋を描画する

描画方法は、外字を作成する場合と同じです。    で描画エリア内をカーソル移動し、 ボタンで 1 ドットずつ塗りつぶします。

参照  P.121 「画面表示と描画方法」

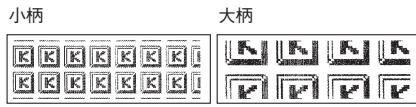
**5** 創作地紋の描画が終わったら  を押す

**6** 「小柄」または「大柄」を選び、 を押す

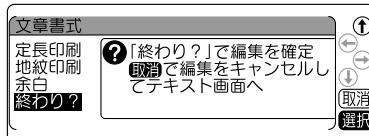


### 小柄と大柄のちがい

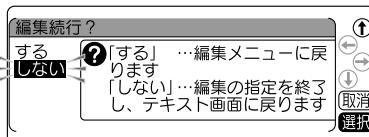
例を「小柄」と「大柄」で印刷すると以下のようになります。



**7** 「終わり？」を選び、 を押す



**8** 「編集続行？」で「しない」を選び、 を押す



### !! 注意 !!

- ・ 全面が黒っぽいパターンの創作地紋は、印刷結果にムラが生じることがあります。
- ・ 創作地紋では 24 ドットのデータを作成します。

## ●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少（余白：前後約1mm）

[極少]

少なめ（余白：前後約3mm）

[少なめ]

ふつう（余白：前後約10mm）

[ふつう]

多め（余白：前後約18mm）

[多め]

### 自動少なめ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約1/3が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約4mm）。

[自動少なめ]

### 自動多め

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約12mm）。

[自動多め]

## MEMO

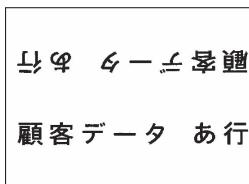
ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約20mm未満のラベルは印刷できません。ラベルの長さが約20mm以上になるように定長や余白を設定してください（ハーフカットが有効の場合は、長さ8mm以上のラベルを印刷できます）。

また、「極少」、「少なめ」（全テープ幅）、「自動少なめ」（36mm幅テープ以外）、「自動多め」（4mm、6mm幅テープ）を指定すると、前余白の調整のために印刷前にテープが約20mm空送りされ、カットされます。

# ●ビジネスフォーム

本機にはビジネスフォームとして通常の編集指定では作ることのできない、特殊なデザインのラベルが用意されています。

例：「インデックス（横）」長さ 3.2cm のラベル



## ラベルの作りかた

ビジネスフォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

### ① 使用するビジネスフォームを決める

使いたいビジネスフォームを選んでください。

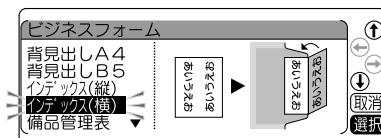
参照☞ P.92 「ビジネスフォーム見本」

### ② シフトを押しながら (ファイル) (=ビジネスフォーム) を押す

「ビジネスフォーム」メニューが表示されます。

### ③ 目的のビジネスフォーム名を選ぶ

ビジネスフォームの内容を確認しながらビジネスフォーム名を選び、[選択 改行] を押します。



### ④ 設定項目が表示された場合は、項目を選ぶ

「ビジネスフォーム」で、長さや入力項目の選択画面が表示されたビジネスフォームは、項目を選び、[選択 改行] を押します。



### ⑤ 入力画面で内容を編集する

「ビジネスフォーム」は、入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



## MEMO

- 入力行が複数あるビジネスフォームは、を押すと次の行にカーソルが移ります。
- インデックスなど表裏があるビジネスフォームは、「表」の行でを押すと、「表」の行に入力した内容が「裏」の行に自動的にコピーされます。
- ビジネスフォームの入力内容にある「1枚目」、「2枚目」や「1枚目表」、「1枚目裏」などは入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- ビジネスフォームの備品管理票で連続印刷できるのは20枚までです。
- 操作の途中でまたはを押すと、1つ前の状態に戻ります。を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 入力画面でを押すと、ラベルを装飾することができます。ビジネスフォームは、「縦型よこ書」「フラッグ（縦横）」は書体のみ、他のビジネスフォームは文字モードのすべての機能（飾り字、斜体・強調・伸・縮・囲み・網、文字間・書体）が指定可能です。
- を押しながら（＝全消去）を押すと、入力した内容の全文消去ができます。背見出しおよび備品管理票の画面では、「初期状態に戻す」も選択できます。
- ビジネスフォームの印刷をした後は、ビジネスフォームの続行を確認する画面になります。「する」を選択するとビジネスフォームの画面に戻り、「しない」を選択すると通常のテキスト画面に戻ります。このときのテキスト画面には、ビジネスフォームを使用する前の文章が残っています。

## !!注意!!

- ビジネスフォームで作成した文章は電源を切っても保持されていますが、ファイル登録はできません。
- 長さを指定するビジネスフォームでは、入力できる文字数と印刷できる文字数が異なり、入力した内容が指定した長さにおさまらずに印刷できない場合は、入力画面の文字が網掛け表示になります。また、印刷時に「入力した文章が長すぎます」が表示されます。を押して印刷を中止し、文字数を減らすか「伸・縮」で文字を小さくするなどの指定をしてください。そのまままたはを押すと、定長を解除して印刷します。

# ビジネスフォームメニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
ビジネスフォーム		
<b>背見出し A4</b>	▶ <b>入力</b> <b>題名</b> [	
<b>背見出し B5</b>	▶ <b>項目 1</b> [ <b>項目 2</b> [	
<b>インデックス (縦)</b>	▶ <b>長さ</b> 1.8cm <b>3.2cm</b> 6.0cm 8.0cm 11cm	▶ <b>入力</b> <b>1枚目 表</b> [ 1枚目 裏 [ 2枚目 表 [ 2枚目 裏 [ : 12枚目 表 [ 12枚目 裏 [ 
<b>インデックス (横)</b>		
<b>備品管理票</b>	▶ <b>備品管理票</b> <b>入力</b>	▶ <b>入力</b> <b>備品名</b> [ 管理番号 [ 購入日 [ 管理部門 [ 
		▶ <b>項目名変更</b>
<b>ケーブル</b>	▶ <b>長さ</b> 1.4cm <b>2.0cm</b> 2.6cm 5.0cm	▶ <b>入力</b> <b>1行目</b> [ 2行目 [ 3行目 [ 

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
フラッグ (縦) フラッグ (横)	▶ 長さ 1.4cm 2.0cm 2.6cm 5.0cm	▶ 入力 表 1 行目 [	表 2 行目 [ 裏 1 行目 [ 裏 2 行目 [
フラッグ (縦横)	▶ 入力 表 1 行目 [ 表 2 行目 [ 裏 1 行目 [ 裏 2 行目 [		
定ピッチ	▶ 長さ 3.0mm : 24.0mm : 60.0mm	区切り 実線 点線 なし	▶ 入力 1 列目上 [ 1 列目下 [ 2 列目上 [ : 16 列目上 [ 16 列目下 [
複数ラベル	▶ 入力 1 枚目 [ 2 枚目 [ : 16 枚目 [		
縦型よこ書き	▶ 入力 1 行目 [ 2 行目 [ : 32 行目 [		

# ビジネスフォーム見本

## MEMO

ビジネスフォームでも **シフト** を押しながら **削除** (=消去) を押すと、全文消去ができます。

## !!注意!!

- 入力内容にある「おもて」「うら」や「1行目」「2行目」は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- ビジネスフォームで作成した文章は、ファイルに登録できません。

■ 背見出し A4.....A4用の背見出しに最適です。 ■ 背見出し B5.....B5用の背見出しに最適です。

極品会画帖

印刷記録：通常版  
横書き：××世××印

12mm幅テープ（背見出しB5）の印刷見本

## MEMO

「背見出し A4/B5」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。

■ インデックス（縦）....たて書きのインデックスに最適です。

慶祝トータル  
慶祝トータル

24mm幅テープ（長さ3.2cm）  
の印刷見本

■ インデックス（横）....よこ書きのインデックスに最適です。

身元データ登録  
顧客データ あ行

24mm幅テープ（長さ3.2cm）  
の印刷見本

## MEMO

- 「インデックス（縦・横）」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。
- 4mm幅、6mm幅のテープには印刷できません。
- 入力できる文字数および印刷できる文字数は、以下の通りです。

	入力可能な文字数	印刷可能な文字数（目安）
インデックス（縦）	各行27文字	長さ1.8cm：各行4文字 長さ8.0cm：各行23文字 長さ3.2cm：各行8文字 長さ11cm：各行27文字 長さ6.0cm：各行17文字
インデックス（横）	各行27文字	長さ1.8cm：各行7文字 長さ8.0cm：各行27文字 長さ3.2cm：各行13文字 長さ11cm：各行27文字 長さ6.0cm：各行26文字

- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。

**参考**

「インデックス（縦／横）」には、インデックスラベルキングファイルのインデックス表示に最適。  
ミシン目入りラベルなので、折りやすくキレイに貼れます。

- **備品管理票** .....「備品名」「管理番号」「購入日」「管理部門」を表組みにした備品管理ラベルを作成できます。  
項目名は網掛け印刷され、本格的な雰囲気になります。入力時に「項目名変更」を選択すると、項目名を書き換えることもできます。

備品名	デジタルカメラ
管理番号	1 2 3 4 5 6 7
購入日	20XX年7月
管理部門	総務部

18mm 幅テープの印刷見本

**MEMO**

「備品管理票」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。

- **ケーブル** .....ケーブル表示ラベル用のビジネスフォームです。24mm 幅、36mm 幅テープに対応しています。

本部 5F 開発部 ソフト評価用端末
-----------------------

24mm 幅テープ（長さ 2.6cm）  
2 行の印刷見本

**MEMO**

- 「ケーブル」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。
- 入力できる文字数および印刷できる文字数は、以下の通りです。

入力可能な文字数	印刷可能な文字数（目安）	印刷可能な行数
各行 26 文字	長さ 1.4 cm：各行 6 文字 長さ 2.0 cm：各行 10 文字 長さ 2.6 cm：各行 13 文字 長さ 5.0cm：各行 26 文字	24mm 幅テープ：2 行 36 mm 幅テープ：3 行

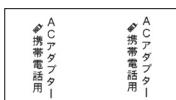
- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。

**参考**

「ケーブル」には、ケーブル表示ラベル印刷部分を汚れなどから保護する「セルフラミネット」タイプ。  
白エリアに印刷し、透明エリアを巻きつけることによりラミネートできます。

■ フラッグ（縦 / 横 / 縦横）………… フラッグラベル用のビジネスフォームです。細いケーブル（径 1mm ~ 2mm）の貼り付けに最適です。36mm 幅テープに対応しています。

フラッグ（縦）



36mm 幅テープ(長さ 2.0cm)  
の印刷見本

フラッグ（横）



36mm 幅テープ(長さ 2.0cm)  
の印刷見本

フラッグ（縦横）



36mm 幅テープの印刷見本  
の印刷見本

## !! 注意 !!

フラッグ（縦横）を印刷する場合、ハーフカットを「しない」に設定すると『定長の指定が短すぎます 定長を解除して実行しますか？』とメッセージが出て 20mm 幅のテープが出ます。ハーフカット「あり」をおすすめします。

参照☞ P.143

## MEMO

- 「フラッグ（縦 / 横）」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間・書体）が指定可能です。
- 「フラッグ（縦横）」には、編集機能のうち文字モードの書体のみが指定可能です。
- 入力できる文字数および印刷できる文字数は、以下の通りです。

	入力可能な文字数	印刷可能な文字数（目安）
フラッグ（縦）	各行 19 文字	長さ 1.4 cm : 各行 4 文字 長さ 2.6 cm : 各行 9 文字 長さ 2.0 cm : 各行 7 文字 長さ 5.0 cm : 各行 19 文字
フラッグ（横）	各行 19 文字	長さ 1.4 cm : 各行 6 文字 長さ 2.6 cm : 各行 13 文字 長さ 2.0 cm : 各行 10 文字 長さ 5.0 cm : 各行 19 文字
フラッグ（縦横）	各行 5 文字	各行 5 文字

- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。

■ 定ピッチ .....固定ピッチのビジネスフォームです。長さを揃えた複数のラベルを作る場合に便利です。

営業部 2F	経理部 3F	管理部 3F	受付	会議室 401	社員食堂 別館2F
内線 2012	内線 3012	内線 3114	内線 1001	内線 0401	内線 9012

12mm 幅テープ (20.0mm、点線区切り) の印刷見本

## MEMO

「定ピッチ」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。

■ 複数ラベル .....1 行のラベルを複数枚同時に印刷します。



12mm 幅テープの印刷見本

## MEMO

「複数ラベル」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。

■ 縦型よこ書き....内線表などの縦型表示に最適です。

1 0 4	2 0 7	2 1 7	2 1 9	3 3 0	4 2 3
田	中	酒	井	長	谷
本	部	部	部	部	部
電	係	係	係	係	係

24mm 幅テープの印刷見本

## MEMO

- 「縦型よこ書」には、編集機能のうち文字モードの書体のみが指定可能です。
- セットされたテープ幅によって、入力できる文字数に制限があります。

参照☞ P.81 「縦・横」

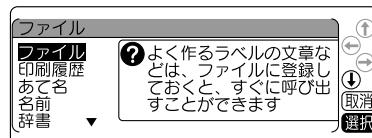
# ●文章を呼び出す・登録する

本機の**ファイル**ボタンでは、作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録できます。また、印刷履歴の呼び出しあります。

## ●ファイルボタンを使う

作成した文章やあて名などのデータを登録するには、**ファイル**ボタンを押して表示されるメニューから機能を選択します。

ファイルメニュー画面



ファイルボタンのメニュー一覧（太字は購入時の初期設定値です。）

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル	登録	作成した文章にファイル名をつけて保存します	P.98
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.99
	消去	登録した文章を消去します	P.100
	複写	登録した文章を別のファイルに複写します	P.101
	印刷	5つまでのファイルを続けて印刷します	P.102
	グループ名修正	ファイルのグループ名を修正します	P.102
印刷履歴	呼出	最近印刷した文章を呼び出します	P.104
	消去	印刷履歴を消去します	P.104
あて名	登録	あて名を登録します	P.107
	修正	登録したあて名を修正します	P.108
	消去	登録したあて名を消去します	P.109
	複写	登録したあて名を複写します	P.108
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します	P.110
	グループ名修正	あて名のグループ名を修正します	P.111
名前	登録	名前とふりがなを登録します	P.114
	修正	登録した名前を修正します	P.115
	消去	登録した名前を消去します	P.115
	印刷	登録した名前ラベルを印刷します	P.115
	グループ名修正	名前のグループ名を修正します	P.115
辞書	登録	語句に読みをつけて辞書登録します	P.117
	修正	登録した辞書を修正します	P.118
	消去	登録した辞書を消去します	P.119
外字	新規作成	新規に外字を作成し、登録します	P.122
	参照作成	文字や記号を参照して外字を作成し、登録します	P.125
	修正	登録した外字を修正します	P.123
	呼出	登録した外字を文章中に呼び出します	P.123
	消去	登録した外字を消去します	P.124
	複写	登録した外字を複写します	P.124

# ファイルとは

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。

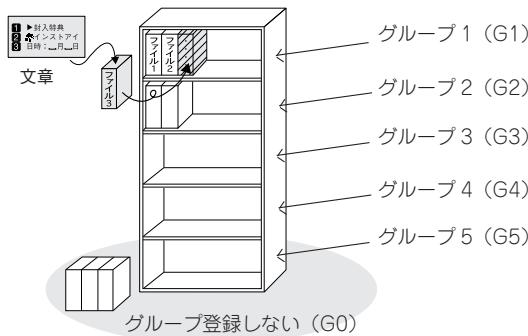
ファイルには、文章のほかに編集機能の指定内容などラベルの状態がそのまま登録されます。

ファイルは、5つのグループ (G1 ~ G5) に分類して登録できます。

それぞれグループ名を変更できるので、仕事用、プライベート用などファイルを分類して整理できます。

なお、グループに分類したくないファイルは「G0：グループ登録しない」も選べます。

**登録**…文章を保存します。グループごとに分類できます。



**呼出**…ファイルを画面上に呼び出します。

**消去**…ファイルを削除します。



## MEMO

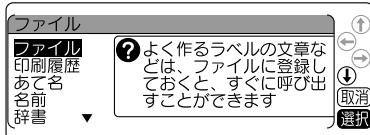
ファイル機能には、このほか、登録した文章を別のファイルに複写する「複写」、5つまでのファイルを続けて印刷できる「印刷」、ファイルのグループ名を修正する「グループ名修正」機能があります。

# ファイルを登録する

ファイルに文章を登録します。ファイルはファイル番号00～99(100件)の中から番号を選んで登録します。

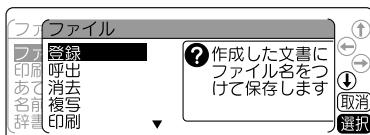
① [ファイル]を押す

② 「ファイル」を選び、[選択]を押す



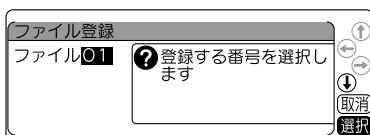
「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「登録」を選び、[選択]を押す

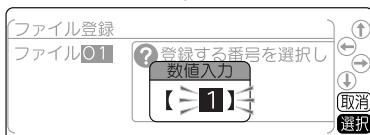


ファイル登録画面が表示されます。

④ [↑]または[↓]または[0]～[9]で登録するファイル番号を選び、[選択]を押す

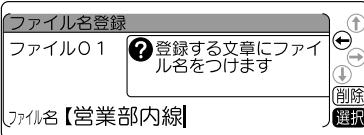


↓ 数字入力した場合



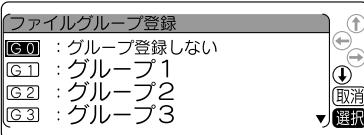
⑤ ファイル名を入力し、[選択]を押す

ファイル名は15文字まで自由につけられます。入力しなくても登録できます。



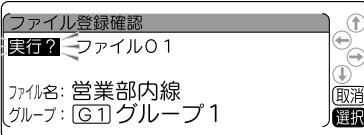
⑥ 登録するグループを選び、[選択]を押す

グループ登録しない場合は[G0]を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

⑦ 内容を確認し、[選択]を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

## !! 注意 !!

「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。

## MEMO

- 操作の途中で[削除]または[ファイル]を押すと、1つ前の状態に戻ります。[ホーム]を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいできれい以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル、あて名、名前データを消去してください。
- 本機には、約10,000文字（最大で100個のファイル）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少くなります。
- ファイルに登録できるのは、テキスト画面で作成した文章のみです。

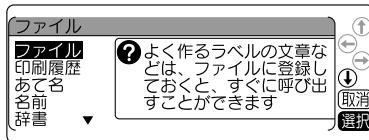
# ファイルを呼び出す

ファイルに登録した文章をテキスト画面に呼び出します。「上書き呼出」と「連結呼出」の2つの呼び出しかたがあります。「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面の文章は全部消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。

「連結呼出」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

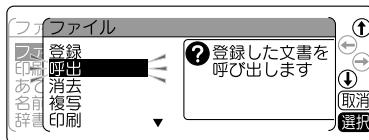
## ① [ファイル]を押す

## ② 「ファイル」を選び、[選択]を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

## ③ 「呼出」を選び、[選択]を押す



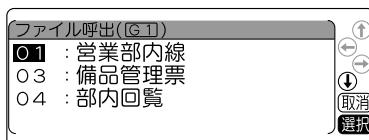
ファイル呼出グループ選択画面が表示されます。

## ④ 呼び出したいファイルが登録されているグループを選び、[選択]を押す

グループがわからないときは[G 0]を選びます。



## ⑤ [↑]または[↓]または[F0]～[F9]で呼び出したいファイルを選び、[選択]を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

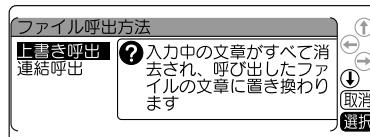
## ⑥ 内容を確認し、[選択]を押す

[←] [↑] [↓] [→]で文章を確認することができます。



呼出方法を選択する画面になります。

## ⑦ 「上書き呼出」「連結呼出」のいずれかを選び、[選択]を押す



ファイルの文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

## !! 注意 !!

- 「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は消え、[復活]を押しても復活させることはできません。「上書き呼出」を選ぶ前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 「連結呼出」で呼び出す場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーした部分が、自動的に文末から削除されます。

## MEMO

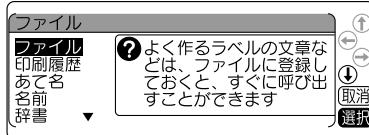
操作の途中で[削除]または[ファイル]を押すと、1つ前の状態に戻ります。[ホーム]を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

# ファイルを消去する

ファイルは、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

①  を押す

② 「ファイル」を選び、 を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

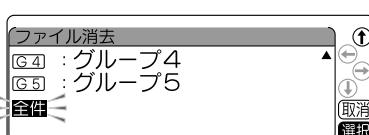
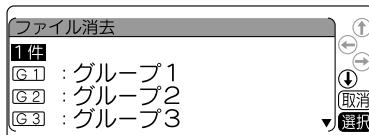
③ 「消去」を選び、 を押す



ファイル消去画面が表示されます。

④ 消去する範囲を選び、 を押す

1件 : 1ファイルのみ消去します。  
[G 1]～[G 5] : 選択したグループ内のすべてのファイルを消去します。  
全件 : すべてのファイルを消去します。

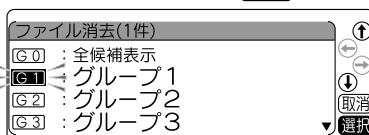


グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります（手順⑦）。

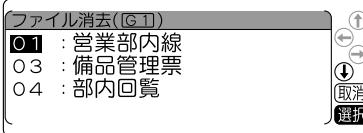
1件の場合は次の手順でファイルを選びます。

⑤ 消去したいファイルが登録されているグループを選び、 を押す

グループがわからないときは[G 0]を選びます。



⑥  または  で消去したいファイルを選び、 を押す



消去する内容の確認画面になります。

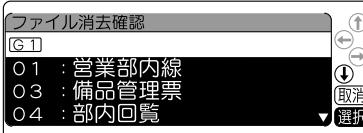
⑦ 内容を確認し、 を押す

ファイル1件消去の場合はラベルの内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているファイルのファイル名が表示されます。

1件消去の場合

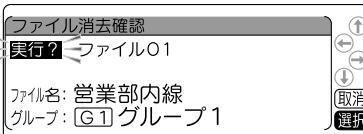


グループ消去の場合



⑧ 内容を確認し、 を押す

1件消去の場合はファイルの情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



ファイルが消去され、テキスト画面に戻ります。

## MEMO

- 消去したファイルは、 を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で  または  を押すと、1つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

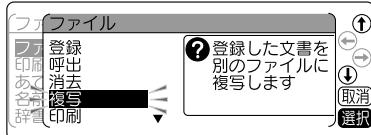
# ファイルを複写する

登録したファイルを別の番号のファイルへ複写します。

① [ファイル] を押す

② 「ファイル」を選び、[選択] を押す  
「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「複写」を選び、[選択] を押す



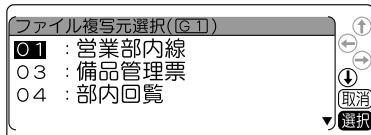
ファイル複写画面が表示されます。

④ 複写元のファイルが登録されているグループを選び、[選択] を押す

グループがわからないときは[G 0] を選びます。



⑤ [↑] または [↓] または [←] または [→] で複写元のファイルを選び、[選択] を押す



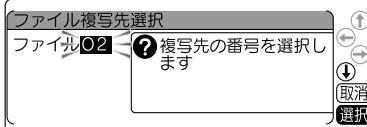
複写する内容の確認画面になります。

⑥ 内容を確認し、[選択] を押す



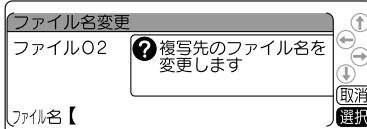
ファイル複写先選択画面が表示されます。

⑦ [↑] または [↓] または [←] または [→] で複写先のファイル番号を選び、[選択] を押す



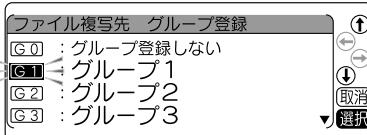
⑧ ファイル名を入力し、[選択] を押す

ファイル名は 15 文字まで自由につけられます。入力しなくても登録できます。



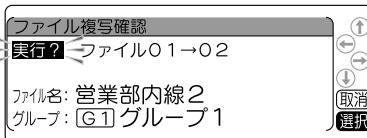
⑨ 登録するグループを選び、[選択] を押す

グループ登録しない場合は[G 0] を選びます。



複写する内容の確認画面になります。

⑩ 内容を確認し、[選択] を押す



「実行中」と表示された後、テキスト画面に戻ります。

## MEMO

- 操作の途中で [削除] または [ファイル] を押すと、1 つ前の状態に戻ります。 [ホーム] を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ファイル複写をおこなっても、複写元のファイルは残ります。

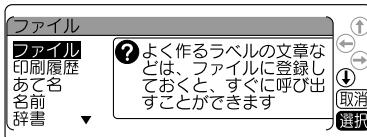
# グループの名前を変える

ファイルを登録するグループ名を変更できます。

あて名や名前データのグループも同様の操作で変更できます。

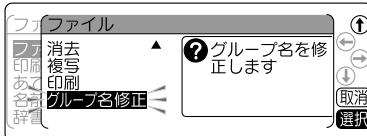
① **〔ファイル〕を押す**

② 「ファイル」を選び、**〔選択〕を押す**



「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「グループ名修正」を選び、**〔選択〕を押す**



グループ名修正画面が表示されます。

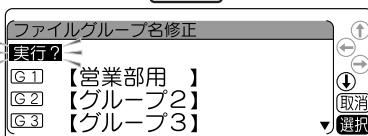
④ **〔↑〕〔↓〕で名前を変えたいグループを選び、グループ名を変更する**



⑤ **〔選択〕を押す**

「実行?」が選択されます。

⑥ **内容を確認し、〔選択〕を押す**



「実行中」と表示された後、グループ名が変更されます。

## MEMO

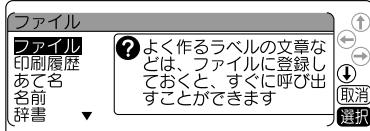
- 操作の途中で **〔削除〕** または **〔ファイル〕** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**〔ホーム〕** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- あて名や名前のグループ名を変えるときは、手順②で「あて名」または「名前」を選んでください。
- グループ名を消去して登録すると、グループ名は空欄になります。
- 手順④で **〔シフト〕** を押しながら **〔削除〕** (=消去) を押すと、全文消去となり、すべてのグループ名が消去されます。

# ファイルをまとめて印刷する

ファイル番号を指定するだけでファイルをテキスト画面に呼び出さずに印刷できます。一度に5つのファイルまで指定できます。

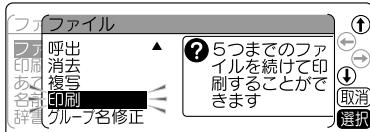
① **【ファイル】を押す**

② 「ファイル」を選び、**【選択】を押す**



「ファイル」メニューが表示されます。

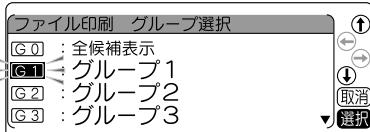
③ 「印刷」を選び、**【選択】を押す**



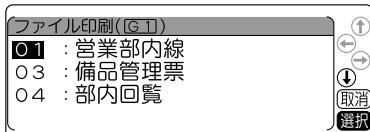
ファイル印刷画面が表示されます。

④ 印刷したいファイルが登録されているグループを選び、**【選択】を押す**

グループがわからないときは[G 0]を選びます。



⑤ **【▲】または【▼】で印刷したいファイルを選び、【選択】を押す**



印刷する内容の確認画面になります。

## !! 注意 !!

- セッタされているテープカートリッジのテープ幅がファイルに含まれる文章の行数を印刷できない場合、そのファイルの印刷はおこなわれません。
- 指定したファイル印刷の全長が16mを超える場合は印刷できません。印刷候補を減らしてください。

## MEMO

- 印刷するとき、各ファイルはテキスト画面に呼び出されません。
- 操作の途中で **【削除】** または **【ファイル】** を押すと、1つ前の状態に戻ります。 **【ホーム】** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるとときは **【削除】** を押してください。

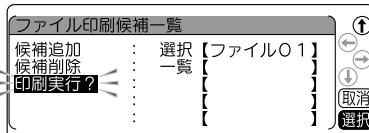
⑥ 内容を確認し、**【選択】を押す**



印刷するファイル候補の一覧画面になります。

⑦ 「印刷実行？」を選び、**【選択】を押す**

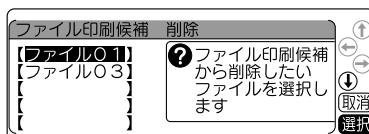
印刷が開始されます。



印刷するファイルを追加するときは、「候補追加」を選び、**【選択】** を押して手順④からの操作を繰り返します。

印刷するファイルを取り消すときは、「候補削除」を選び、**【選択】** を押します。印刷するファイルの候補から削除するファイルを選び、**【選択】** を押します。

「候補削除」をおこなっても、ファイルそのものは削除されません。



内容を確認し、**【選択】** を押すと「実行中」と表示された後、印刷するファイル候補の一覧画面に戻ります。

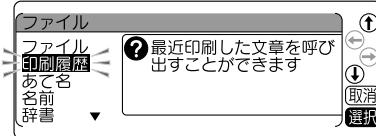
# ●最近印刷した文章を呼び出す

## 印刷履歴を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大5つまで記憶しており、簡単な操作で呼び出すことができます。ファイル登録をし忘れた場合などに便利です。

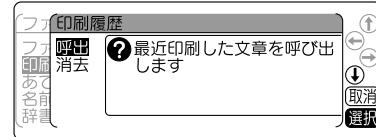
① [ファイル]を押す

② 「印刷履歴」を選び、[選択]を押す



「印刷履歴」メニューが表示されます。

③ 「呼出」を選び、[選択]を押す



最近印刷した文章（第1段落の1行目のみ）が5つ表示されます。

④ 呼び出したい文章を選び、[選択]を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

⑤ 内容を確認し、[選択]を押す



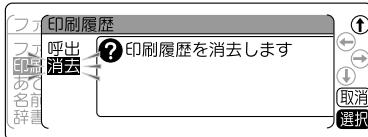
「実行中」と表示された後、文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

## 印刷履歴を消去する

① [ファイル]を押す

② 「印刷履歴」を選び、[選択]を押す

③ 「消去」を選び、[選択]を押す



最近印刷した文章が5つ表示されます。

④ 消去する文章を選び、[選択]を押す



消去する内容の確認画面になります。

⑤ 内容を確認し、[選択]を押す



⑥ 内容を確認し、[選択]を押す

「実行中」と表示された後、文章が印刷履歴から消去されます。



## !!注意!!

- 印刷履歴を呼び出すと、テキスト画面で作成していた文章は消え、を押しても復活させることはできません。呼び出す前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 最近印刷した5つの文章を保存するため、古いものから自動的に書き換えられていきます。
- 印刷履歴の対象となるのは、通常印刷のみで、特殊印刷やビジネスフォーム印刷などは保存されません。
- 文字数の多い文章の場合、記憶している文章の件数が5件にならないことがあります。
- QRコードを使った場合など、印刷したラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないことがあります。

## MEMO

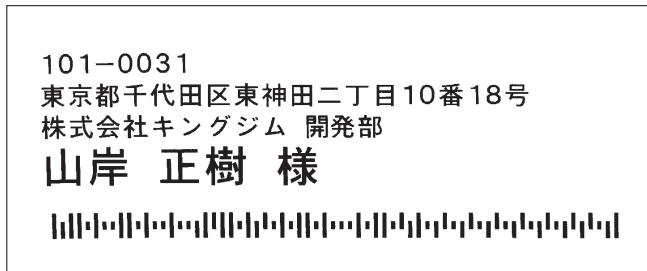
操作の途中でまたはを押すと、1つ前の状態に戻ります。を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

# ●名前や語句を登録する(あて名/名前/辞書)

## あて名ラベルを作る

あて名データとして郵便番号や住所・名前などを登録しておくと、あて名ラベルをまとめて印刷することができます。

### ■登録できる項目とあて名ラベル



項目	入力内容	入力可能文字
〒番号（郵便番号）	[101-0031]	8 文字
住所 1	[東京都千代田区東神田二丁目 10 番 18 号]	20 文字
住所 2	[ ]	20 文字
会社	[株式会社キングジム]	20 文字
部署	[開発部]	20 文字
氏名	[山岸 正樹]	20 文字
〒[101-0031] (カスタマバーコード)	[10100312-10-18]	20 文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照☞ P.112 「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約 10,000 文字（最大 100 件のあて名）です。

### !!注意!!

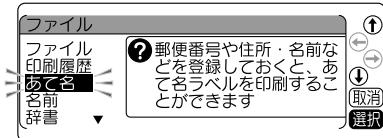
郵便番号に入力した先頭の 5 衔に対応する都道府県名と区町村名を、「住所 1」に自動的に入力することができます。郵便番号変換は、2009 年 12 月末時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所、所在地が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

# あて名を登録する

あて名データを登録します。あて名はあて名番号 00 ~ 99(100 件)の中から番号を選んで登録します。

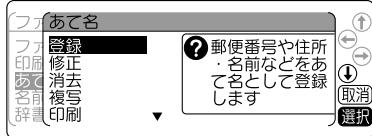
①  を押す

② 「あて名」を選び、 を押す



「あて名」メニューが表示されます。

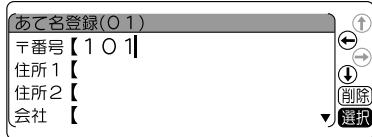
③ 「登録」を選び、 を押す



あて名登録画面が表示されます。

④   または  ~  で登録するあて名番号を選び、 を押す

⑤ 数字ボタンで郵便番号を入力する



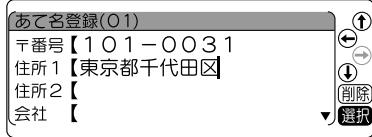
4 衔目を入力すると、自動的にハイフン（-）が挿入されます。

⑥  を押す

郵便番号に対応する都道府県名と区町村名の候補が表示されます。

⑦ 地名が正しいときは、 を押す

地名が違うときは、    で適切な地名を選びます。

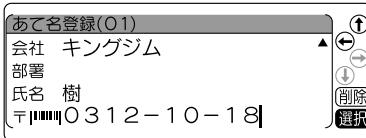


⑧ 住所 1 を入力し、 を押す

⑨ 住所 2、会社名、部署名、氏名を入力し、 を押す

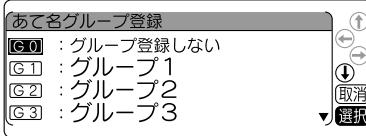
⑩ 必要に応じてカスタマバーコードを入力し、 を押す

参照  P.112「カスタマバーコードについて」

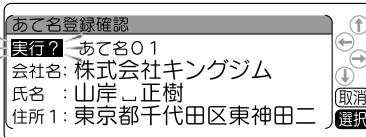


⑪ 登録するグループを選び、 を押す

グループ登録しない場合は、 を選びます。



⑫ 内容を確認し、 を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

## !! 注意 !!

「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。あて名の内容がこわれる可能性があります。

## MEMO

- 未入力の項目があっても登録できます。
- 操作の途中で  または  を押すと、1 つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- データがいっぱいです以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」と表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- 本機には、約 10,000 文字（最大で 100 件のあて名データ）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、ファイルや名前が多いと、登録できるあて名の件数が少なくなります。

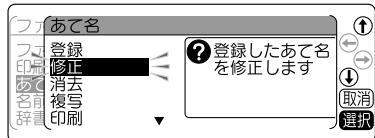
# あて名を修正する

登録したあて名を修正します。

①  を押す

② 「あて名」を選び、 を押す  
「あて名」メニューが表示されます。

③ 「修正」を選び、 を押す

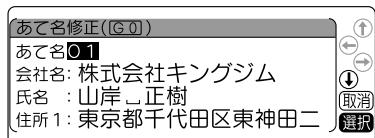


④ 修正したいあて名が登録されているグループを選び、 を押す

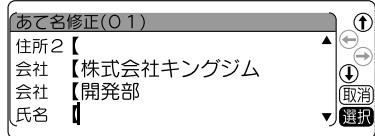
グループがわからないときは[G 0]を選びます。



⑤   または   で修正したいあて名を選び、 を押す



⑥ 内容を修正し、 を押す



以降は、P.107 登録操作（手順⑪以降）と同様にグループを選び登録します。

## MEMO

操作の途中で  または  を押すと、1つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

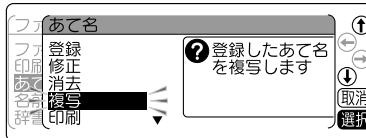
# あて名を複写する

登録したあて名を別の番号のあて名へ複写します。

①  を押す

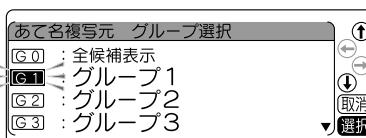
② 「あて名」を選び、 を押す  
「あて名」メニューが表示されます。

③ 「複写」を選び、 を押す

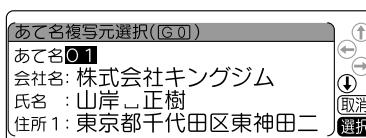


④ 複写元のあて名が登録されているグループを選び、 を押す

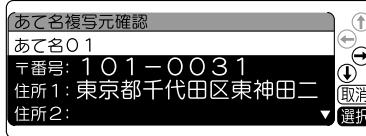
グループがわからないときは[G 0]を選びます。



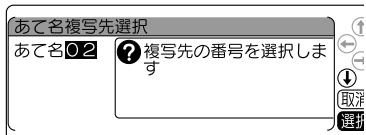
⑤   または   で複写元のあて名を選び、 を押す



⑥ 内容を確認し、 を押す



⑦   または   で複写先のあて名番号を選び、 を押す



以降は、P.107 登録操作（手順⑪以降）と同様にグループを選び登録します。

# あて名を消去する

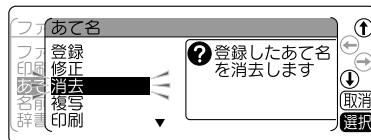
あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

①  を押す

② 「あて名」を選び、 を押す

「あて名」メニューが表示されます。

③ 「消去」を選び、 を押す

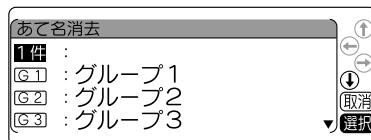


④ 消去する範囲を選び、 を押す

1件 : 1件のみ消去します。

[G 1]～[G 5] : 選択したグループ内のすべてのあて名を消去します。

全件 : すべてのあて名を消去します。

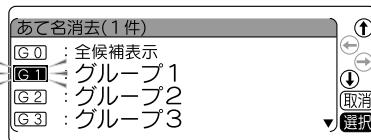


グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります（手順⑦）。

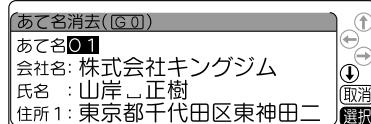
1件の場合は次の手順であて名を選びます。

⑤ 消去したいあて名が登録されているグループを選び、 を押す

グループがわからないときは[G 0]を選びます。



⑥   または   で消去したいあて名を選び、 を押す



消去する内容の確認画面になります。

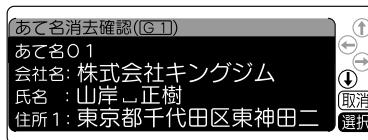
⑦ 内容を確認し、 を押す

1件消去の場合はあて名の内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているあて名の情報が表示されます。

1件消去の場合

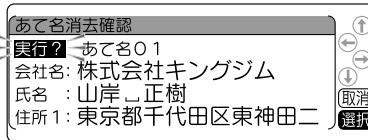


グループ消去の場合



⑧ 内容を確認し、 を押す

1件消去の場合はあて名の情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



あて名が消去され、テキスト画面に戻ります。

## MEMO

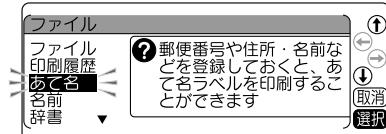
- 消去したあて名は、 を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で  または  を押すと、1つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

# あて名ラベルを印刷する

あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。  
また、印刷時に書体を指定できます。

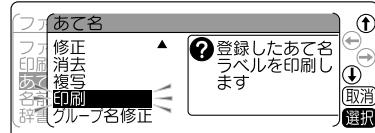
① [ファイル]を押す

② 「あて名」を選び、[選択]を押す



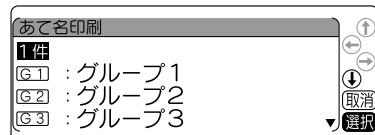
「あて名」メニューが表示されます。

③ 「印刷」を選び、[選択]を押す



④ 印刷する範囲を選び、[選択]を押す

- 1件 : 1件のみ印刷します。  
[G.1]～[G.5] : 選択したグループ内のすべてのあて名を印刷します。  
全件 : すべてのあて名を印刷します。

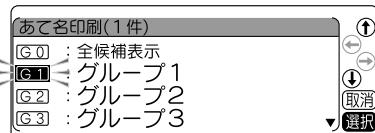


グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります（手順⑦）。

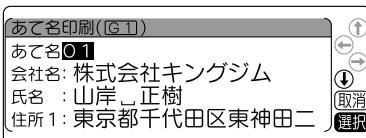
1件の場合は次の手順であて名を選びます。

⑤ 印刷したいあて名が登録されているグループを選び、[選択]を押す

グループがわからないときは[G.0]を選びます。



⑥ ↑または[G.0]～[G.9]で印刷したいあて名を選び、[選択]を押す



印刷する内容の確認画面になります。

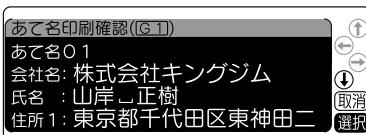
⑦ 内容を確認し、[選択]を押す

あて名の情報が表示されます。

1件印刷の場合



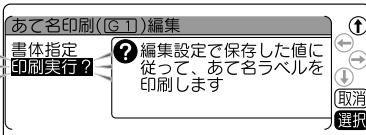
グループ印刷 / 全件印刷の場合



⑧ 内容を確認し、[選択]を押す

あて名印刷の編集画面になります。

⑨ 「印刷実行？」を選び、[選択]を押す



あて名が印刷されます。

## MEMO

- 「書体指定」を選択すると、印刷する書体を指定できます。指定した後に「印刷実行？」を選んで[選択]を押すと、指定した書体であて名が印刷されます。

- 印刷を途中でやめるときは[削除]を押してください。

**!!注意!!**

カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをお奨めします。

**MEMO**

- あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的につきます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後に「御中」がつきます。氏名まで入力すると、氏名の後に「様」がつきます。

氏名を入力しない「あて名」

101-0031

東京都千代田区東神田二丁目10番18号

株式会社キングジム  
開発部 御中

「御中」がつきます

氏名まで入力した「あて名」

101-0031

東京都千代田区東神田二丁目10番18号

株式会社キングジム  
開発部  
山岸 正樹 様

「様」がつきます

- 操作を途中でやめるときは○を押してテキスト画面に戻ります。

## あて名のグループ名修正

あて名を登録するグループ名を変更できます。

参照☞ P.102 「グループの名前を変える」

# カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差し出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードをカスタマバーコードといいます。本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、カスタマバーコードを印刷することができます。

## MEMO

- 「カスタマバーコード」を印刷する義務はありません。
- 「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のご利用頂けます。
- 「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割り引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

## カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード（〒）」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

例：千葉県鎌ヶ谷市右京塚

東3丁目20-5 鈴木・A&b コーポB604号

### ① 住所データを次のAとBの部分に分割する

住所A：「郵便番号」で指定される町域名まで

住所B：町域名以降の住所

### ② 住所Aを郵便番号に置き換える

（「-」（ハイフン）は省略）

### ③ 住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える

### ④ データ内にある以下の文字は取り除き、後のデータを詰める

「&」（アンパサンド）「/」（スラッシュ）

「・」（中黒）「.」（ピリオド）

### ⑤ ③および④で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す

### ⑥ 抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン1文字に置き換える

「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、「ブランク」、「2文字以上連続したアルファベット文字」

### ⑦ ⑥の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる

### ⑧ 先頭がハイフンの場合は取り除く

### ⑨ アルファベットの前後にある（-）を取り除く

### ⑩ ②で処理したデータに⑨で処理したデータをつなげる

郵便番号	住所B
XXX-XXXX	東3丁目-20-5 鈴木・A&b コーポB604号
(②の処理) XXXXXX	東3丁目-20-5 鈴木・A&b コーポB604号
(③の処理)	東3丁目-20-5 鈴木ABコーポB604号
(④の処理)	3 -20-5 B604号
(⑤の処理)	3 -20-5 B604号
(⑥の処理)	東 丁目 鈴木ABコーポ
「-」に置き換え	
(⑥の処理後)	-3-20-5-B604
(⑦の処理)	-3-20-5-B604
(⑧の処理)	3-20-5-B604
(⑨の処理)	3-20-5B604
(⑩の処理)	XXXXXX3-20-5B604

## カスタマバーコードの記入例

- 漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所 B とし、算用数字に変換して指定します。

例： 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号  
永井タワー 601  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所 B：十一丁目六番地一号永井タワー  
601  
バーコード [xxxxxxxx11-6-1-601]

例： 北海道帯広市稻田町南七線西 28  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所 B：七線西 28  
バーコード [xxxxxxxx7-28]

- 連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット 1 文字「F」（ビル等の階数表示の略）については指定しません。

もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

例： 茨城県日立市宮田町 6 丁目 7-14  
ABC ビル 2F  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所 B：6 丁目 7-14ABC ビル 2F  
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2]

例： 茨城県日立市宮田町 6 丁目 7-14  
ABC ビル 2F201 号室  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所 B：6 丁目 7-14ABC ビル 2F201 号室  
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2-201]

- アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが 2 文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

例： 神戸市中央区港島中町 9 丁目 7-6  
南シティ A 棟 1F1 号  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所 B：9 丁目 7-6 南シティ A 棟 1F1 号  
バーコード [xxxxxxxx9-7-6A1-1]

例： 京都府綾部市青野町綾部 6-7  
L プラザ B106  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所 B：6-7 L プラザ B106  
バーコード [xxxxxxxx6-7LB106]

- バーコードの合計桁数が 20 文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

例： 札幌市中央区南四条西 29 丁目 1524-23  
第 2 ステージハウス 501  
郵便番号：xxx-xxxx  
住所 B：29 丁目 1524-23 第 2 ステージハウス 501  
バーコード [xxxxxxxx29-1524-23-2-]

### MEMO

本機ではバーコードは 20 文字まで入力できます。

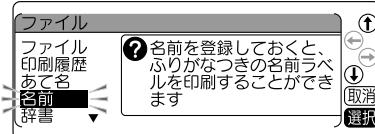
# 名前を登録する

名前データを登録します。

名前は名前番号 01 ~ 40 (40 件) の中から番号を選んで、登録します。

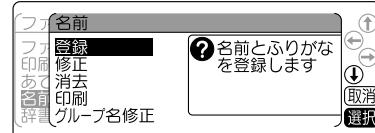
①  を押す

② 「名前」を選び、 を押す

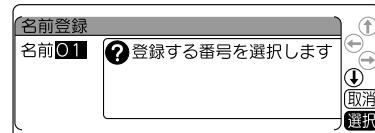


「名前」メニューが表示されます。

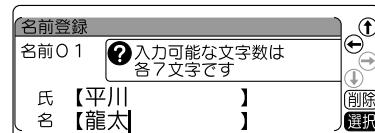
③ 「登録」を選び、 を押す



④   または   で登録する名前番号を選び、 を押す

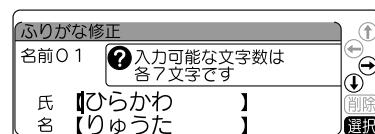


⑤ 名前（氏と名）を入力し、 を押す  
各 7 文字まで入力できます。



ふりがな修正画面が表示されます。

⑥ ふりがなを確認し、 を押す  
必要に応じてふりがなを修正します。



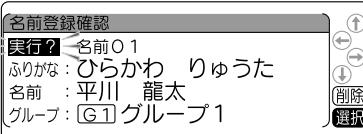
⑦ 登録するグループを選び、 を押す

グループ登録しない場合は  を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

⑧ 内容を確認し、 を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

## !! 注意 !!

「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。名前の内容がこわれる可能性があります。

## MEMO

- 操作の途中で  または  を押すと、1 つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- データがいっぱいですと「メモリーがいっぱいです」と表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- 本機には、約 10,000 文字（最大で 40 件の名前データ）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんの文章をファイルしてたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少くなります。

## 名前を修正する

登録した名前を修正する場合は、P.114 手順③で「修正」を選びます。登録したグループから名前の番号を選べば修正画面になり、登録と同様の操作で修正できます。

## 名前を消去する

名前を消去する場合は、P.114 手順③で「消去」を選びます。消去の範囲（1件、グループ、全件）を選び、消去します。1件消去を選択した場合は、さらに名前番号を指定します。

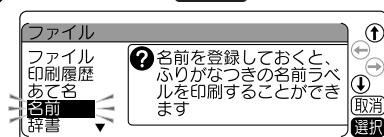
## 名前のグループ名修正

名前を登録するグループ名を変更できます。  
参照☞ P.102 「グループの名前を変える」

## 名前ラベルを印刷する

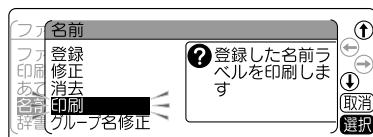
名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。  
また、印刷時に書体やラベルの長さ（定長）などを指定できます。

① [ファイル] を押す



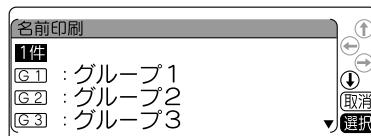
「名前」メニューが表示されます。

③ 「印刷」を選び、[選択] を押す



④ 印刷する範囲を選び、[選択] を押す

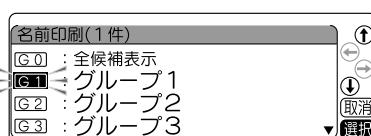
1件 : 1件のみ印刷します。  
[G1]～[G5] : 選択したグループ内のすべての名前を印刷します。  
全件 : すべての名前を印刷します。



グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります（手順⑦）。  
1件の場合は次の手順で名前を選びます。

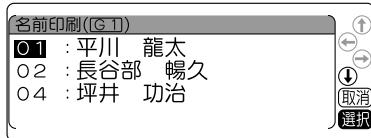
⑤ 印刷したい名前が登録されているグループを選び、[選択] を押す

グループがわからないときは[G0] を選びます。



次へ進みます

- 6 または ~ で印刷したい名前を選び、 を押す



印刷する内容の確認画面になります。

- 7 内容を確認し、 を押す

1 件印刷の場合は内容が、グループまたは全件印刷の場合は名前一覧が表示されます。

1 件印刷の場合



グループ印刷の場合

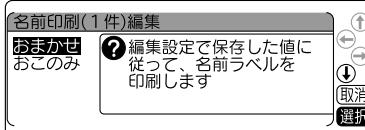


- 8 内容を確認し、 を押す

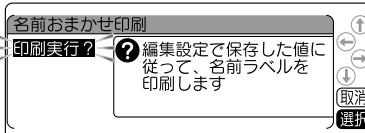
名前印刷の編集画面になります。

- 9 そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、 を押す

ここで「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、飾り字、斜体・強調、書体、ふりがななどの有無が指定できます。



- 10 「印刷実行？」を選び、 を押す



名前ラベルが印刷されます。

## MEMO

- 操作の途中で または を押すと、1つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは を押してください。
- 登録した名前をたて書きで印刷する場合は、「編集設定」メニューから「縦・横」を選び、「たて書き」に設定してください。参照 P.146 「保存値を変更する」

## !! 注意 !!

4mm 幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前 1 行のラベルが印刷されます。

9mm 幅テープ（「ふりがな」あり） 9mm 幅テープ（「ふりがな」なし）

4mm 幅テープ

ひらかわりゅうた  
平川龍太

平川龍太

平川龍太

# 変換できない語句を登録する（辞書の登録）

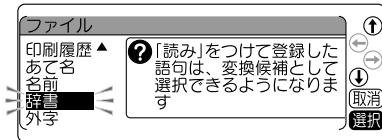
難しい人名や長い熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」に「読み」をつけて辞書登録しておくと、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できるようになります。

辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。辞書番号 01～50 に最大 50 個まで登録できます。

**例**：特許申請手続き代行書類（とつきよしょるい）を登録する

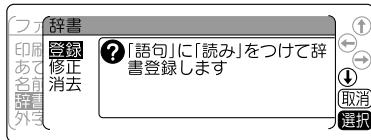
**1**  を押す

**2** 「辞書」を選び、 を押す

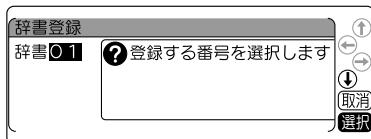


「辞書」メニューが表示されます。

**3** 「登録」を選び、 を押す

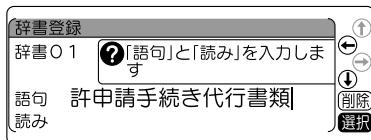


**4**  または  で登録する辞書番号を選び、 を押す

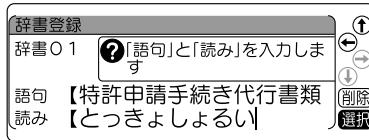


辞書の登録画面になります。

**5** 「語句」を入力し、 を押す



**6** 「読み」をひらがなで入力する



**7**  を押す

「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

## MEMO

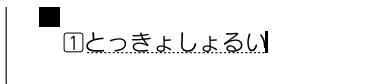
- 登録できる「語句」の文字数は 15 文字以内、「読み」の文字数は 16 文字以内です。ただし、濁音、半濁音は 2 文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 入力できる「読み」はひらがなのみです。
- 操作の途中で  または  を押すと、1 つ前の状態に戻ります。  を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」を登録しようとすると、「辞書に登録済み」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では文章書式・段落スタイル・文字モード・連番・バーコードの登録はできません。
- 辞書がいっぱいになると、「辞書の登録数がいっぱいです」が表示されます。それでも辞書の登録をしたい場合は、辞書消去で不要な辞書データを削除してください。

## 登録した語句を呼び出す

通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

例：特許申請手続き代行書類を「とっきょしょるい」で呼び出す

① 「とっきょしょるい」を入力する

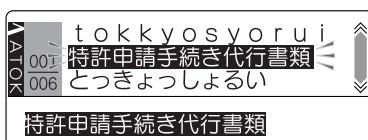


② [変換 スペース]を押す

辞書登録した「特許申請手続き代行書類」が変換候補として表示されます。



③ 「特許申請手続き代行書類」になっている状態で [ ] を押す



「特許申請手続き代行書類」が確定されます。

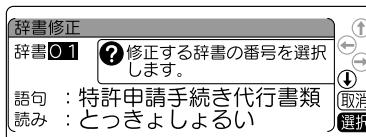
① 特許申請手続き代行書類

## 登録した辞書を修正する

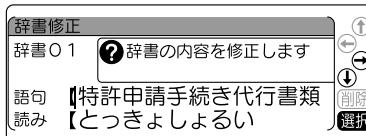
例：「読み」の「とっきょしょるい」を「とくしん」に変える

① P.117「変換できない語句を登録する」の手順③で「修正」を選び、[選択]を押す

② 修正したい辞書を選び、[選択]を押す

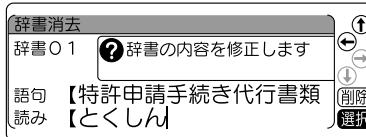


登録した辞書が表示され、修正できる状態になります。



③ 新しい「読み」を入力する

「とっきょしょるい」を削除し、「とくしん」と入力しなおします。



④ [選択]を押す

「読み」を修正した辞書が登録されます。

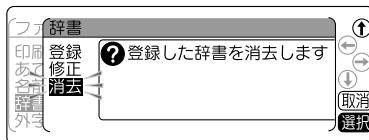
# 登録した辞書を消去する

登録されている辞書を消去します。

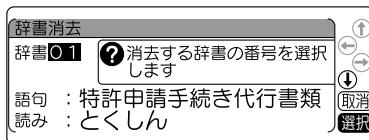
①  を押す

② 「辞書」を選び、 を押す  
「辞書」メニューが表示されます。

③ 「消去」を選び、 を押す

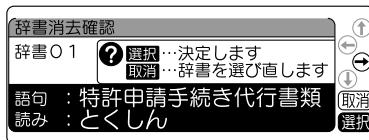


④   または  ~  で消去したい辞書を選び、 を押す

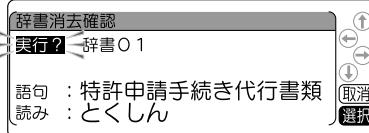


消去する内容の確認画面になります。

⑤ 内容を確認し、 を押す



⑥  を押す



辞書が消去され、テキスト画面に戻ります。

## !! 注意 !!

消去した辞書は  を押しても復活させることはできません。充分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

## MEMO

操作の途中で  または  を押すと、1つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

# ○外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字・記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「編集」の文字モードで文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字 2 つに分けて登録（文字間「ふつう」）



文字間「密着」



## MEMO

- ・外字は 10 文字まで登録できます。
- ・本機は、美しい印刷を可能にするアウトラインフォントという形式の文字を搭載していますが、外字については作成のしやすさから、ビットマップ形式を採用しています。ビットマップ形式での外字はアウトラインフォントの文字と比べて多少ギザギザが目立ちます。

## 外字を作る概要

外字を登録するときは、1 つの外字について、16・24・32・40・48 ドットの 5 段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。

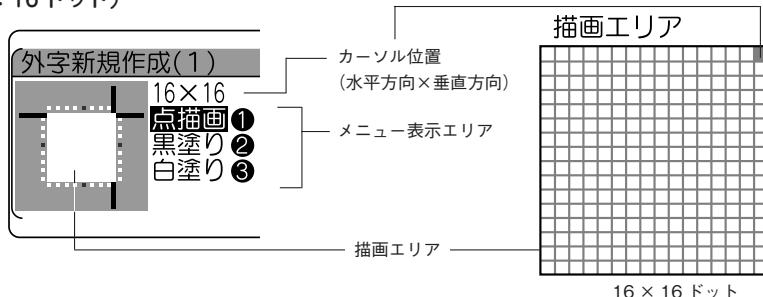
ただし、5 段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に 16 ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して 24・32・40・48 ドットの字形データを作り、後から細部を補正して作るしくみになっています。

## 画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点（ドット）を塗りつぶしていきます。

### 画面表示

（例：16 ドット）



### 描画方法（メニュー表示エリアで選択）

描画方法（メニュー）には、1 ドットずつ塗りつぶす「点描画」のほか、プロックで黒く塗りつぶす「黒塗り」、プロックで白く塗りつぶす「白塗り（＝消去）」があり、それぞれ数字ボタン ① / ② / ③ で選択します。

メニュー	描画方法	手順
点描画	1つ1つの点（ドット）ずつ塗りつぶす方法	<p>① ①を押す。 メニュー「点描画」がネガ表示されます。</p> <p>② 塗りつぶすドットにカーソルを     で移動する。</p> <p>③ シフトを押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押すと、白く塗りつぶされます。</p>
黒塗り	広い範囲のプロックを黒く塗りつぶす方法	<p>① ②を押す。 メニュー「黒塗り」がネガ表示されます。</p> <p>② 塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを     で移動する。</p> <p>③ シフトを押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを     で移動する。</p> <p>④ シフトを押す。手順②と④で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。</p>
白塗り	広い範囲のプロックを白くする（消す）方法	<p>① ③を押す。 メニュー「白塗り」がネガ表示されます。</p> <p>② 塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを     で移動する。</p> <p>③ シフトを押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを     で移動する。</p> <p>④ シフトを押す。手順②と④で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。</p>

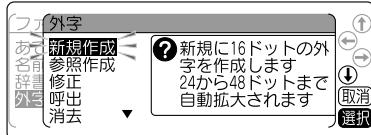
# 外字を作成し、登録する

例：外字番号「2」に「ロゴ」を登録する

① を押す

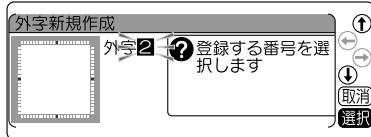
② 「外字」を選び、 を押す  
「外字」メニューが表示されます。

③ 「新規作成」を選び、 を押す



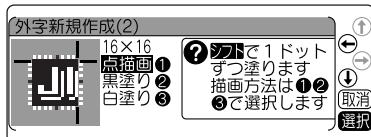
描画エリアと外字番号が表示されます。

④ 登録する番号に「2」を選び、 を押す



⑤ 16 ドットのデータを描画する

と で描画します。  
参考 P.121 「画面表示と描画方法」



⑥ 16 ドットの描画が終わったら、 を押す

16 ドットのデータをもとに、24・32・40・48 ドットのデータが自動的に拡大作成されます。



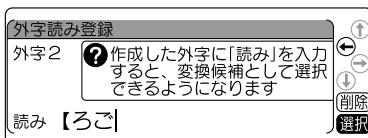
⑦ 24・32・40・48 ドットのデータを補正する

手順⑤と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。 を押すと、次のサイズの描画に移ることができます。48 ドットの描画が終わると、「読み」の入力画面が表示されます。

## !! 注意 !!

24～48 ドットすべてのデータを補正しないと、文字サイズによってはきれいに印刷されません。

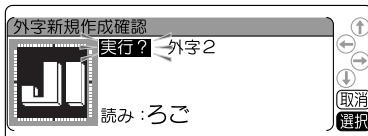
⑧ 外字の「読み」を入力し、 を押す  
「読み」はひらがなで16文字まで入力できます。



## MEMO

- 登録できる「読み」の文字数は16文字以内です。ただし、濁音、半濁音は2文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- テキスト入力でこの「読み」を入力し、 を押すと、外字を呼び出すことができます。

⑨ 内容を確認し、 を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

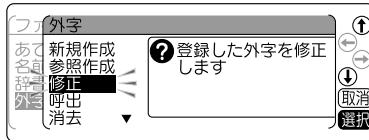
## MEMO

- 操作の途中で または を押すと、1つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があるときは、 ボタンで外字を新規作成できません。

## 外字を修正する

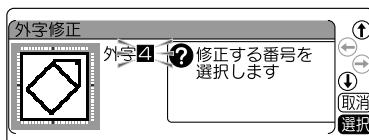
例：外字番号「4」の48ドットデータを修正する

- 1 ファイルを押す
- 2 「外字」を選び、選択を押す  
「外字」メニューが表示されます。
- 3 「修正」を選び、選択を押す



登録されている外字番号が表示されます。

- 4 修正する外字番号「4」を選び、選択を押す



16ドットの描画画面が表示されます。

- 5 48ドットの描画画面が表示されるまで選択を押す



- 6 48ドットのデータを修正する  
参照☞ P.121「画面表示と描画方法」

- 7 選択を押す  
「読み」の入力画面が表示されます。  
必要に応じて、「読み」の修正をします。

- 8 選択を押す  
修正の確認画面になります。
- 9 内容を確認して、選択を押す  
外字が修正され、テキスト画面に戻ります。

## 外字を呼び出す

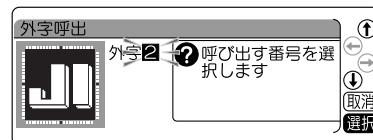
登録した外字を入力します。外字を滑らかに印刷したいときは、「平滑化=する」を選んでください。

### MEMO

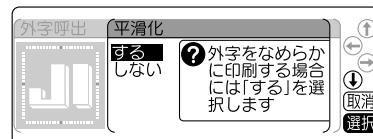
簡単に呼び出すには

登録した外字の読みを入力し、変換スペースを押すと、登録した外字が表示されます（この場合には外字の「平滑化」はおこなわれません）。

- 1 外字を入力する部分にカーソルを合わせる
- 2 ファイルを押す
- 3 「外字」を選び、選択を押す
- 4 「呼出」を選び、選択を押す
- 5 呼び出す外字を選び、選択を押す



- 6 「平滑化」メニューから「する」または「しない」を選び、選択を押す



カーソル位置に外字が入力されます。

### MEMO

- 操作の途中で削除またはファイルを押すと、1つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 記号メニューで「外字呼出」を選択しても手順⑤に進めます。

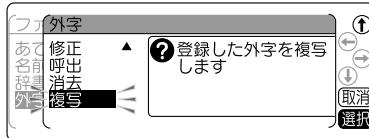
## 外字を複写する

外字を別の外字番号に複写します。

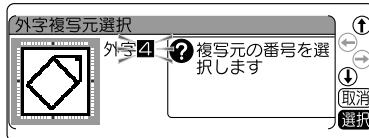
① **【ファイル】**を押す

② 「外字」を選び、**【選択】**を押す

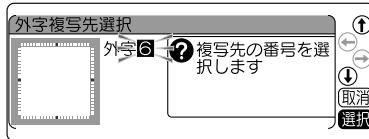
③ 「複写」を選び、**【選択】**を押す



④ 複写元の外字番号を選び、**【選択】**を押す

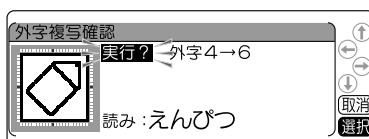


⑤ 複写先の外字番号を選び、**【選択】**を押す



⑥ 複写先の「読み」を入力し、**【選択】**を押す  
複写する内容の確認画面になります。

⑦ 内容を確認し、**【選択】**を押す



外字が複写され、テキスト画面に戻ります。

### MEMO

- 操作の途中で**【削除】**または**【ファイル】**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**【ホーム】**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があるときは、**【ファイル】**ボタンで外字を複写できません。

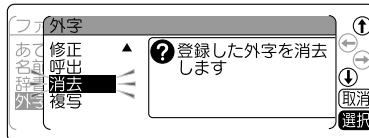
## 外字を消去する

登録されている外字を消去します。

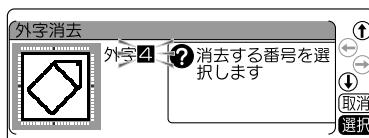
① **【ファイル】**を押す

② 「外字」を選び、**【選択】**を押す

③ 「消去」を選び、**【選択】**を押す

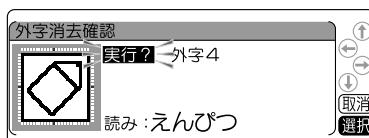


④ 消去する外字番号を選び、**【選択】**を押す



消去する内容の確認画面になります。

⑤ 内容を確認し、**【選択】**を押す



外字が消去され、テキスト画面に戻ります。

### !! 注意 !!

消去した外字は**【復活】**を押しても復活させることはできません。充分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

### MEMO

- 操作の途中で**【削除】**または**【ファイル】**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**【ホーム】**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があるときは、**【ファイル】**ボタンで外字を消去できません。
- 消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

# 外字を参照作成し、登録する

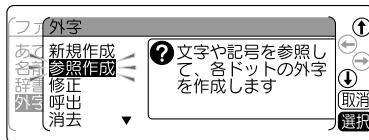
「参照作成」では、本機に内蔵されている文字や記号のデータをもとに修正して外字を作成します。操作は「外字を作成し、登録する」と同じですが、「参照作成」は途中で参照する文字を入力します。

例：「記号」の「生き物」の「」にヒゲをつけて「」にする

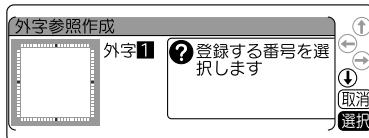
1 を押す

2 「外字」を選び、を押す

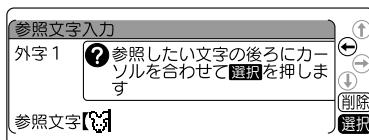
3 「参照作成」を選び、を押す



4 登録する外字番号を選び、を押す



5 参照する文字（記号）を入力し、カーソルをその後ろ（右側）に合わせる



最大5文字まで入力できますが、カーソルの左側の1文字を参照します（入力ガイドにカーソルがあるときは先頭文字を参照します）。

## MEMO

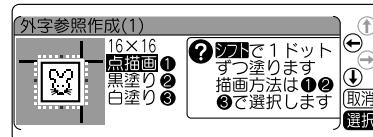
- 最大5文字まで入力できるので、単語や熟語、辞書登録した語句なども利用できます。
- 連番、バーコード、合成記号、編集記号、半角スペース、外字は参照できません。
- 参照する文字には、文字モードの書体を指定できます。

6 データを修正する

参照文字が16ドットで表示されますので、これをもとに修正します。

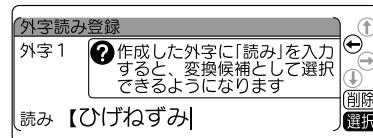
を押すと次のサイズの修正画面に移ります。

参照  P.121 「画面表示と描画方法」



7 48ドットの描画が終わったらを押す

8 外字の「読み」を入力し、を押す



9 内容を確認し、を押す

「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

## MEMO

- 文章中でこの「読み」を入力し、を押すと外字を呼び出すことができます。
- 操作の途中でまたはを押すと、1つ前の状態に戻ります。を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があるときは、ボタンで外字を参照作成できません。

# 連番やバーコードを印刷する

シフトを押しながら ( = 連番・QR・バーコード) を押すと、連続番号やバーコードが入力できます。

## 連番・バーコードメニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
<b>連続番号</b>				
連続番号 ►	初期値入力 ►	繰返し回数		
1桁		1回		
2桁		2回		
1桁丸付		3回		
2桁丸付		4回		
		5回		
		10回		
<b>連続番号</b> 連番の入ったラベルを作ります。 参照 P.127				
<b>QRコード</b> ►	用途	誤り訂正レベル		
	一般 ►	7%		
	URL ►	15%		
		25%		
		30%		
<b>JAN-13</b> ►	全体の幅			数値入力
<b>NW-7</b> ►	小さめ			
<b>JAN-8</b> ►	ふつう	(NW-7、ITF、CODE39のみ)		
<b>ITF</b> ►	大きめ	(NW-7、ITF、CODE39のみ)		
<b>UPC-A</b> ►	細・太の比率	2.0	チェックデジット ►	
<b>CODE39</b> ►		2.5	あり	
<b>UPC-E</b> ►		3.0	なし	
<b>バーコード</b> バーコードの入ったラベルを作ります。 参照 P.130				

# 連番を印刷する

数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。

連続番号には「1桁」「2桁」「1桁丸付」「2桁丸付」があります。連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数（1、2、3、4、5、10回）を指定します。繰り返し回数では同じ文字を何回繰り返すかを指定します。

例：2桁連番で、4、5、6…の入ったラベルを2枚ずつ作る

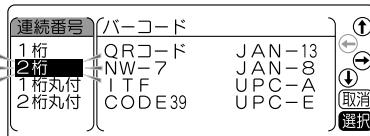


① 連番を入れる位置にカーソルを合わせる



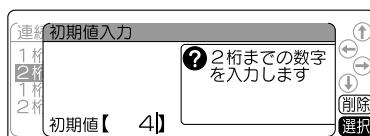
② シフトを押しながら〔編集〕（＝連番・QR・バーコード）を押す  
「連続番号」メニューが表示されます。

③ 「2桁」を選び、〔選択〕を押す



「初期値入力」画面が表示されます。

④ 初期値に「4」を入力し、〔選択〕を押す



## MEMO

初期値には、「1桁」「1桁丸付」の場合は英数字1桁、「2桁」「2桁丸付」の場合は数字を2桁まで入力できます。

⑤ 繰り返し回数「2回」を選び、〔選択〕を押す



テキスト画面に戻り、カーソル位置に連番（連番マーク<sup>2</sup>N + 数値エリア「4」）が表示されます。

① 顧客リスト<sup>2</sup>N4

## MEMO

テキスト画面での連番マークは、「1桁」が<sup>1</sup>N、「2桁」が<sup>2</sup>N、「1桁丸付」が<sup>1</sup>N、「2桁丸付」が<sup>2</sup>Nになります。

次へ進みます

⑥  を押す

「4」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト4

⑦  を押す

繰り返し回数「2回」を指定しているので、2枚目の「4」のラベルが印刷されます。

顧客リスト4

印刷後、数値入力エリアの番号が加算され「5」になります。

⑧  を押す

「5」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト5

以降、同様に繰り返します。

## MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは、「1 衤」「1 衤丸付」の場合は、数字の0～9とアルファベットのA～Z、a～zです。「2 衤」「2 衤丸付」の場合は、数字の0～9または00～99です。小数点やマイナスは指定できません。
- 「1 衤」「1 衤丸付」の場合、1、2、3、4…と9まで数字が1つずつ繰りあがります。英字の場合、A (a)、B (b)、C (c)、D (d) とアルファベット順に1つずつ繰りあがります。  
「1 衤」で数字の場合

1、2、3、… 8、9、0、1、…

「1 衤丸付」で数字の場合

①、②、③、… ⑧、⑨、①、②、…

「1 衤」で英字の場合

A、B、C、… X、Y、Z、A、…

a、b、c、… x、y、z、a、…

「1 衤丸付」で英字の場合

Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、… ⓧ、Ⓨ、⓭、Ⓐ、…

ⓐ、ⓑ、ⓒ、… ⓧ、Ⓨ、⓭、ⓐ、…

- 「2 衤」「2 衤丸付」の場合、1、2、3、4…と99（または、01、02、03、04…と99）まで数字が1つずつ繰りあがります。

「2 衤」で初期値が1 衤の場合

1、2、3、… 9、10、… 98、99、0、1、…

「2 衤」で初期値が2 衤の場合

01、02、03、… 09、10、… 98、99、00、01、…

「2 衤丸付」で初期値が1 衤の場合

①、②、③、… ⑨、⑩、… ⑨⁸、⑨⁹、①、②、…

「2 衤丸付」で初期値が2 衤の場合

⓪1、⓪2、⓪3、… ⓪9、⓪10、… ⓪9⁸、⓪9⁹、⓪00、⓪01、…

- 1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて6個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、**シフト** + **編集**（＝連番・QR・バーコード）を押してください。「連番」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- 連番を削除するときは、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、**削除**を押してください。
- 連番（連番マーク<sup>1</sup> <sup>2</sup> <sup>3</sup> <sup>4</sup> + 数値エリア）にも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できます。
- 連番は合成記号と組み合わせることはできません。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルを枚数分印刷することができます。  
参照☞ P.135 「同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）」

# バーコードを印刷する

各種規格に準じたバーコードを印刷することができます。

## 印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体幅 小さめ / ふつう / 大きめ	細・太の比率 2.0 / 2.5 / 3.0	チェックデジット あり / なし
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	—	—
NW-7・ITF・CODE39	○	○	○

**大字** は購入時の初期設定値です。

○：指定可能

—：指定不要

全体幅：バーコード全体の幅

細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率

## !!注意!!

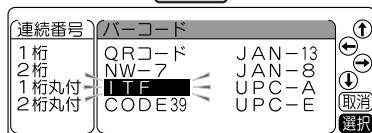
バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則にしたがって入力してください。

例：「ITF」のバーコード（全体幅大きめ、細・太の比率3.0、チェックデジットあり）を印刷する



① シフトを押しながら〔編集〕（＝連番・QR・バー コード）を押す  
「バーコード」メニューが表示されます。

② 「ITF」を選び、〔選択〕を押す



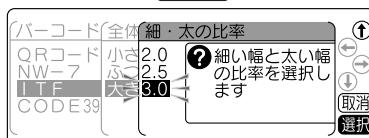
「全体の幅」メニューが表示されます。

③ 「大きめ」を選び、〔選択〕を押す



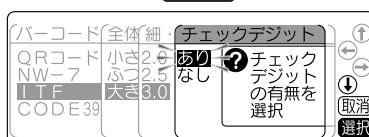
「細・太の比率」メニューが表示されます。

④ 「3.0」を選び、〔選択〕を押す



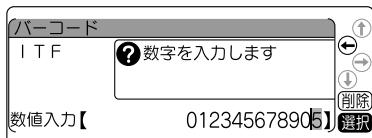
「チェックデジット」メニューが表示されます。

⑤ 「あり」を選び、〔選択〕を押す



バーコードの数値入力画面になります。

## ⑥ 数値ボタンでバーコードの数値を入力する



数値が表示されます。右側の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。なお、入力できる桁数は規格によって異なります。

## ⑦ [選択]を押す

テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク (■<sub>123</sub>) が表示されます。



## ⑧ [印刷]を押す

バーコードのラベルが印刷されます。

## MEMO

- 1つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて6個までです。
- バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとたくさんのメモリーを使用します。
- バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク (■<sub>123</sub>) の直後（右側）にカーソルを合わせ、[シフト]+[編集] (=連番・QR・バーコード) を押してください。「バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面に入り、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- バーコードを削除するときは、バーコードマーク (■<sub>123</sub>) の直後（右側）にカーソルを合わせ、[削除] を押してください。
- バーコードマークにも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。

バーコードマークに反映される機能

段落スタイル	外枠・表組・割付け
文字モード	囲み・網

- 印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。
- お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをお奨めします。
- 規格によって入力できる桁数が異なります。ITFとNW-7は1~29桁、CODE39は1~27桁です。
- ITFは偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1桁目にスペアコード (0) が自動的に発生します。
- UPC-Eのチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- NW-7は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- バーコードのバーの長さ（線の部分）と数字の長さが一致しないことがあります、ご使用上問題はありません。
- バーコードは合成記号と組み合わせることはできません。

# QR コードを印刷する

QR コードは 2 次元コードの一種で、通常のバーコードよりも多くの情報量を表現できます。また、内容にひらがなや漢字などの日本語情報を入力できます。

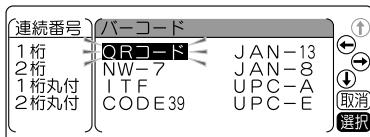
例：携帯電話用の電話帳データ（名前、読み、電話番号など）



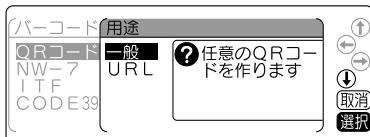
入力例「MECARD:N:山岸,正樹;SOUND:ヤマギシ,マサキ;TEL:0301234567;」  
(英数、記号は半角文字です。入力に必要な情報はお使いの携帯電話によって異なります。)

① シフトを押しながら [選択] (=連番・QR・バー コード) を押す  
「バーコード」メニューが表示されます。

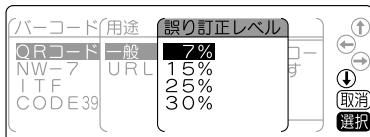
② 「QR コード」を選び、[選択] を押す



③ 用途を選び、[選択] を押す



④ 誤り訂正レベルを選び、[選択] を押す



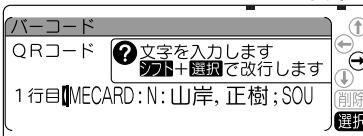
## MEMO

誤り訂正レベルとは、QR コードのよごれ、破損などから読み取れなくなったデータを復元する能力です。誤り訂正レベルを上げると、復元能力は向上しますが、QR コードのサイズが大きくなることがあります。

⑤ 内容を入力する

一般：複数行の入力ができます。シフトを押しながら [選択] で改行できます。

FPSSML'L'LGU'UHK'K' か A 小  
5 6 8 10 13 16 19 26 32 38 51 64 72 字 な C 文



URL : ABC (半角) 入力で 1 行のみ入力できます。あらかじめ「http://www.」が入力されています。

FPSSML'L'LGU'UHK'K' か A 小  
5 6 8 10 13 16 19 26 32 38 51 64 72 字 な C 文



## MEMO

- QR コードでは、半角英数字が入力できます。  
[選択] を押して入力状態を「ABC (半角) 入力」にしてください。用途が「URL」の場合は「ABC (半角) 入力」のみとなります。
- 入力中、文字サイズインジケーターに QR コードのサイズが表示されます。

⑥ [選択] を押す

テキスト画面に戻ります。カーソルの位置に QR コードマーク (■) が表示されます。



## MEMO

- QR コードの場合、テープ幅や指定項目により入力可能文字数が異なります。

QR コードの最大入力可能文字数：

誤り訂正レベル = 7%

文字種	QR コードのサイズ					
	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	10	32	65	141	262	346
半角文字（abcdefghijklmnopqrstuvwxyzと入力した場合）	17	53	106	230	425	586
半角数字（1234567890123…と入力した場合）	41	127	255	552	692	—

誤り訂正レベル = 15%

文字種	QR コードのサイズ					
	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	8	26	52	111	204	277
半角文字（abcdefghijklmnopqrstuvwxyzと入力した場合）	14	42	84	180	331	450
半角数字（1234567890123…と入力した場合）	34	101	202	432	692	—

誤り訂正レベル = 25%

文字種	QR コードのサイズ					
	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	7	20	37	80	149	198
半角文字（abcdefghijklmnopqrstuvwxyzと入力した場合）	11	32	60	130	241	322
半角数字（1234567890123…と入力した場合）	27	77	144	312	580	692

誤り訂正レベル = 30%

文字種	QR コードのサイズ					
	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	4	15	27	60	109	154
半角文字（abcdefghijklmnopqrstuvwxyzと入力した場合）	7	24	44	98	177	250
半角数字（1234567890123…と入力した場合）	17	58	106	235	427	602

- 印刷できる文字サイズは各テープ幅によって異なります。4mm、6mm、9mm 幅テープには QR コードを印刷することができません。参照☞ P.75 「文字サイズ」
- 1 つの文章に入力できる QR コードは 2 個までです。また、1 つの文章に入力できるバーコード（QR コードを含む）は、連番と合わせて 6 個までです。
- QR コードには一部の記号も入力できます。入力画面で  を押すことで呼び出せます。
- コードの内容や誤り訂正レベルを変更する場合は、QR コードマーク  の直後（右側）にカーソルを合わせ、 を押しながら  (=連番・QR・バーコード) を押してください。「連番・QR・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は作成操作と同じですが、「用途」やバーコードの規格を変更すると、入力されていたコードの内容は失われます。
- 文字サイズインジケーターの G ~ K 部分が点滅している場合、「QR コードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。以下の操作をおこなってください。
  - QR コードの誤り訂正レベルを低くする。
  - QR コードの文字数を減らす。
- QR コードが大きい場合、「QR コードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。QR コード入力中の文字サイズインジケーターを参考にして以下の操作をおこなってください。
  - 幅の広いテープに交換する。
  - 通常テキストの行数を減らす。
  - QR コードの誤り訂正レベルを低くする。
  - QR コードの文字数を減らす。
- QR コードの情報量によっては、印刷したラベルが印刷履歴に記録されないことがあります。

# ●特殊な印刷（連続印刷、拡大印刷）

ボタンを押すと、連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷などの特殊な印刷を指定できます。

## 特殊印刷メニュー一覧

**太字** は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>特殊印刷</b>		
<b>連続印刷</b> 同じラベルを連続して印刷します。 参照 P.135	<b>枚数指定</b> 止めるまで	<b>枚数入力</b>
<b>拡大印刷</b> ラベルを拡大して印刷します。 参照 P.136	<b>しない</b> 2 倍印刷 3 倍印刷 4 倍印刷	<b>2/2</b> 1/2 1/2  <b>3/3</b> 1/3 1/3 1/3  <b>4/4</b> 1/4 1/4 1/4 1/4
<b>鏡文字印刷</b> 鏡像反転して印刷します。 参照 P.138	<b>する</b> <b>しない</b>	<b>印刷実行？</b>

# 同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）

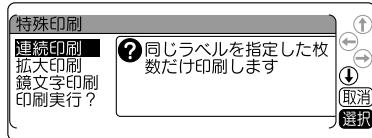
同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。

例：同じラベルを3枚連続して印刷する

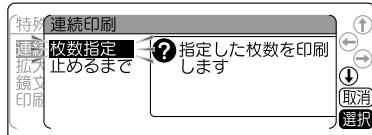
## 1 文章を入力し、**特殊印刷**を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

## 2 「連続印刷」を選び、**選択**を押す

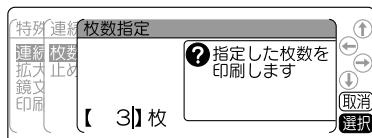


## 3 「枚数指定」を選び、**選択**を押す



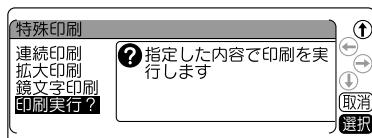
## 4 印刷枚数を入力し、**選択**を押す

入力できる枚数は1～99枚です。



「特殊印刷」メニューに戻ります。

## 5 「印刷実行？」を選び、**選択**を押す



印刷が開始されます。1枚目の印刷が終了するとテープがカット、またはハーフカットされ、同様に2枚目、3枚目が印刷されます。

## MEMO

- 操作の途中で **削除** または **特殊印刷** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは **削除** を押してください。
- 「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
- 指定した枚数のラベルの全長が16mを超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
- ビジネスフォームの備品管理票で連続印刷できるのは20枚までです。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。例えば、初期値「1」繰り返し回数1回の連番を3枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。
- ハーフカット有効で連番の繰り返し回数を2回以上に指定して連番印刷を実行した場合、ハーフカットは自動で無効になります。

参考☞ P.127「連番を印刷する」

## !!注意!!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。**印刷**ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。
- 連続印刷をするときは、テープ出口付近にラベルがたまらないよう注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ出口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再びカットするおそれがあります。
- 印刷途中でテープが終了しても、指定した枚数分の印刷カットをおこないます。刃の磨耗を防ぐため、印刷途中でテープが終了した場合は、**削除** を押して印刷を中止してください。

## テープ幅より大きなラベルを作る（拡大印刷）

印刷内容を2倍、3倍、4倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。

「2倍印刷」なら上下2枚で1組、「3倍印刷」なら上中下3枚で1組のラベルになります。

大きさを指定した後に、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

### ●拡大印刷の種類（サンプルは12mm幅のラベルです）

（印刷）ボタンによる  
通常の印刷

拡大  
印刷

2倍印刷 2倍拡大

■■ 2/2 ■ 1/2

■ 1/2

拡大  
印刷

3倍印刷 3倍拡大

■■ 3/3 ■ 1/3

■ 1/3

■■ 1/3

拡大  
印刷  
印刷

4倍印刷 4倍拡大

■■ 4/4 ■ 1/4

■ 1/4

■■ 1/4

■ 1/4

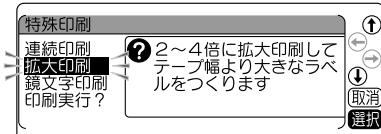
拡大  
印刷  
印刷

## 例：3倍に拡大して印刷をする

### 1 文章を入力したあと [特殊印刷] を押す

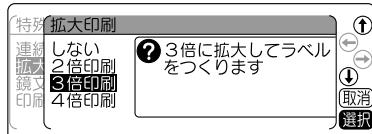
「特殊印刷」メニューが表示されます。

### 2 「拡大印刷」を選び、[選択] を押す



「拡大印刷」メニューが表示されます。

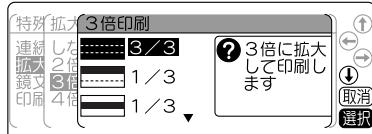
### 3 「3倍印刷」を選び、[選択] を押す



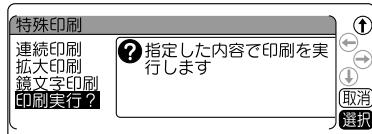
「3倍印刷」メニューが表示されます。

### 4 「3/3」を選び、[選択] を押す

「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。



### 5 「印刷実行？」を選び、[選択] を押す



印刷が開始されます。3枚1組のラベルが1枚ずつ印刷されます。

### 6 テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

## MEMO

- 操作の途中で [削除] または [特殊印刷] を押すと、1つ前の状態に戻ります。[ホーム] を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは [削除] を押してください。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じことがあります。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとすると全長が 16m を超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章の内容を2組に分けるなど指定をし直してください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を2倍、3倍、4倍にする機能です。そのため、定長印刷を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの2倍、3倍、4倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの2倍、3倍、4倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2倍印刷	約2倍	約2倍	約4倍
3倍印刷	約3倍	約3倍	約9倍
4倍印刷	約4倍	約4倍	約16倍

例えば「3倍印刷」で印刷をおこなうと、[印刷] ボタンによる通常の印刷に比べて、幅が約3倍、長さが約3倍のラベルになるので、使用するテープ量は約9倍になります。

## !!注意!!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。[印刷] ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

## 参考

### カラフルな3倍印刷

「3倍印刷」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

# 鏡文字を印刷する

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

## ●鏡文字印刷

する (鏡像)



しない (正像)

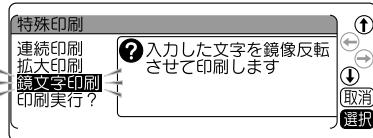


例：鏡文字を印刷する

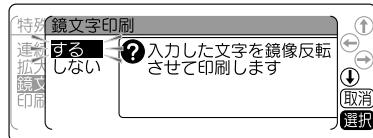
### 1 文章を入力し、を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

### 2 「鏡文字印刷」を選び、を押す

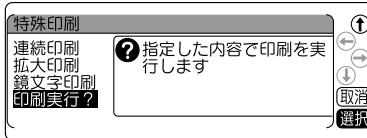


### 3 「する」を選び、を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

### 4 「印刷実行？」を選び、を押す



ラベルが鏡像で印刷されます。

## MEMO

- 操作の途中で~~削除~~または~~特殊印刷~~を押すと、1つ前の状態に戻ります。~~ホーム~~を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは~~特殊印刷~~を押してください。
- 転写テープがセットされているときは、印刷時に転写印刷を選択できるため、鏡文字印刷を指定する必要はありません。

参照 P.158 「転写テープを印刷する」

## !! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

# ●読みのわからない漢字を入力する（コード入力）

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。

入力できるコードの種類は区点コード・JISコード・シフトJISコードです。

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞ P.178 「漢字変換表」

**例**：「お休み處」と入力する

## 1 仮確定文字がないことを確認する

1 お休み

## 2 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。  
處…4961（区点コード）

参照☞ P.178 「漢字変換表」

## 3 シフトを押しながらあ・ア・A (=コード入力を押す)

コード入力画面になります。

コード 

### MEMO

仮確定文字があるときは、シフトを押しながらあ・ア・Aを押してもコード入力画面にならず、仮確定文字が変換されます。文字を確定したあとにおこなってください。

## 4 コードを入力する

④、⑨、⑥、①を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。

處  
處普  
コード【4961】

コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

### MEMO

コードの入力を間違えたときは、を押して入力しなおしてください。

## 5 「處」を選び、選択を押す

カーソル位置に「處」が入力されます。

1 お休み處

# ●印刷設定 / 編集設定 / 環境設定

シフトを押しながら(復活) (=設定) を押すと、印刷や表示などの保存値を変更できます。

## 設定メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
印刷設定 ►	<b>自動カット</b> 自動カット 印刷時の自動カットの有無を設定します。 参照☞ P.142	自動カット する しない	ハーフカット する しない
	印刷濃度 印刷濃度 印刷の濃さを設定します。 参照☞ P.144	-3 ~ <b>0</b> ~ +3	
	リセット リセット 自動カットと印刷濃度を初期設定値にします。 参照☞ P.144	実行?	
編集設定 ►	リセット 定長印刷 地紋印刷 余白 文字サイズ <sup>*</sup> 割付け 外枠・表組 縦・横 飾り字 斜体・強調 伸・縮 囲み・網 文字間 書体 終わり?	実行? 詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。	

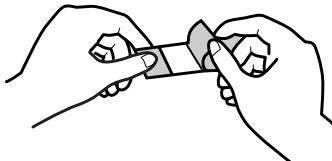
メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
環境設定 ►	<b>表示切換</b> ► <b>表示切換</b> 印刷イメージの表示サイズを設定します。 参照 P.147	<b>印刷イメージ無</b> <b>印刷イメージ小</b> <b>印刷イメージ大</b>	
	<b>表示濃度</b> ► <b>表示濃度</b> 画面表示の濃さを設定します。 参照 P.147	-5 ~ <b>0</b> ~ +5	
	<b>バックライト</b> ► <b>バックライト</b> 液晶ディスプレイのバックライトを ON/OFF します。 参照 P.148	<b>ON</b> OFF	
	<b>学習初期化</b> ► <b>学習初期化</b> 文字入力の学習内容を初期化します。 参照 P.148	<b>実行?</b>	
	<b>電池種類</b> ► <b>電池種類</b> 使用する電池の種類を設定します。 参照 P.149	<b>アルカリ乾電池</b> ニッケル水素電池	

# ●印刷設定を変更する

## 印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する

本機には、印刷時に、ラベルを自動的にカットする「自動カット」と、ラベル部分にスリットを入れ、はがしやすくなる「ハーフカット」機能があります。

ハーフカットを有効にして印刷すると、ラベル部分にスリットが入るので、はがしやすくなります。ハーフカットが有効になっているときは、ハーフカットランプが点灯します。

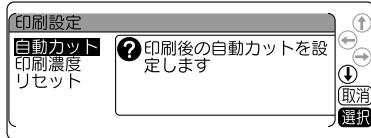


### !!注意!!

- 本機のカッターでカットできない耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼんを使う場合は、自動カットを無効にして印刷してください。  
参照☞ P.157 「テープカートリッジを使いわかる」
- ハーフカットのできない耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・りぼんを使う場合は、ハーフカットを無効にして印刷してください（転写テープは自動でハーフカットが無効になります）。  
参照☞ P.157 「テープカートリッジを使いわかる」

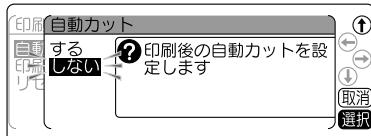
### 自動カットとハーフカットを無効にする

- ① **シフト**を押しながら**復活** (=設定) を押す  
「設定」メニューが表示されます。
- ② 「印刷設定」を選び、**選択** を押す  
「印刷設定」メニューが表示されます。
- ③ 「自動カット」を選び、**選択** を押す



「自動カット」が表示されます。

- ④ 「しない」を選び、**選択** を押す

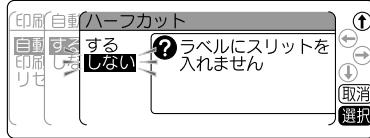


自動カットとハーフカットが無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

### 自動カットを有効、ハーフカットを無効にする

左の手順④で「する」を選択すると自動カットは有効となり、「ハーフカット」メニューが表示されます。手順⑤の操作をおこなってください。

- ⑤ 「しない」を選び、**選択** を押す



ハーフカットのみ無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

## MEMO

- 自動カットとハーフカットをともに有効にする場合は、手順④、⑤で「する」を選びます。
- 操作の途中で[削除]または[復活]を押すと、1つ前の状態に戻ります。[ホーム]を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 自動カットなしで印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 自動カットが無効でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。

参照☞ P.30 「5. テープ送りをする」

- ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約20mm以下のラベルは印刷できません。ハーフカットが有効の場合は、長さ8mm以上のラベルを印刷できます。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約20mmカットされます。
  - 余白が「極少」、「少なめ」の場合（全テープ幅）
  - 余白が「自動少なめ」の場合（36mm幅テープ以外）
  - 余白が「自動多め」の場合（4mm、6mm幅テープ）
- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。  
参照☞巻末「アフターサービスについて」
- ラグ（縦横）を印刷する場合、ハーフカットを「しない」に設定すると『定長の指定が短すぎます 定長を解除して実行しますか？』とメッセージが出て20mm幅のテープが出ます。ハーフカット「あり」をおすすめします。

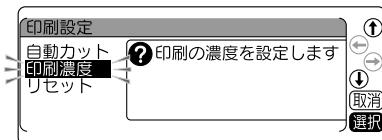
# 印刷濃度を調整する

印刷濃度は7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「0」でご使用ください。

- ① **シフト**を押しながら**復活** (=設定) を押す  
「設定」メニューが表示されます。

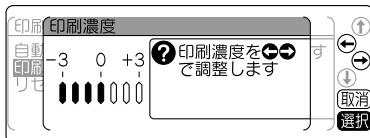
- ② 「印刷設定」を選び、**選択**を押す  
「印刷設定」メニューが表示されます。

- ③ 「印刷濃度」を選び、**選択**を押す



「印刷濃度」が表示されます。

- ④ 濃度を調整し、**選択**を押す



印刷濃度が設定されます。

## MEMO

- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度にあわせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「0」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がつぶれたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 操作の途中で**削除**または**復活**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 耐熱ラベルを使う場合や、上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・ギフトシールで印字がカスレた場合は「+3」に設定してください。

参照☞ P.157 「テープカートリッジを使いわける」

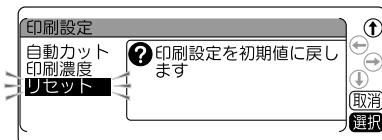
# 印刷設定をリセットする

自動カットと印刷濃度の設定をご購入時の状態（初期設定値）に戻します。

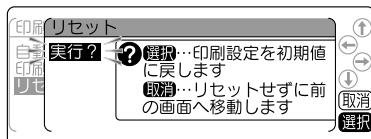
- ① **シフト**を押しながら**復活** (=設定) を押す  
「設定」メニューが表示されます。

- ② 「印刷設定」を選び、**選択**を押す  
「印刷設定」メニューが表示されます。

- ③ 「リセット」を選び、**選択**を押す



- ④ 「実行？」を選び、**選択**を押す



自動カットと印刷濃度の設定が初期設定値になります。

## MEMO

- 操作の途中で**削除**または**復活**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

# ●編集設定を変更する

## 編集機能の保存値を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では編集ボタンを使って、次のような機能を指定することができます。

### 編集ボタンの機能

機能の分類	指定できる機能
文章書式	地紋印刷、定長印刷、余白
段落スタイル	文字サイズ、割付け、外枠・表組、縦・横
文字モード	飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値（「初期設定値」と呼びます）とは異なる場合、「編集設定」で保存値を変更しておくと、文章を作るたびに編集ボタンで変更する必要がなくなります。

ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておくと、通常は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、編集設定のリセットによって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

### MEMO

- 各機能の初期設定値については P.67 「編集メニュー一覧」を参照してください。
- 編集ボタンでの指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻りますが、地紋印刷の文字地紋／創作地紋データのみは本機内部に保存され、ほかの文章でも使用することができます。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。

### !!注意!!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照☞ P.50 「すべての文章を消去する」

## 保存値を変更する

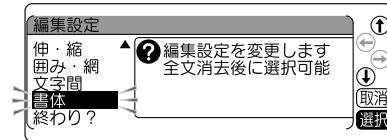
- 1 シフトを押しながら削除 (=消去) を押し、全文消去をおこなう

### !! 注意 !!

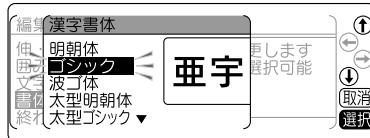
保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.50 「すべての文章を消去する」

- 2 シフトを押しながら復活 (=設定) を押す
- 3 「編集設定」を選び、選択を押す  
「編集設定」メニューが表示されます。
- 4 「編集設定」メニューの変更したい項目を選び、選択を押す



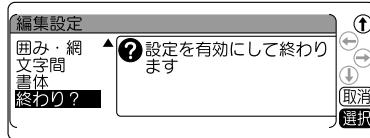
- 5 保存値に設定したい選択肢を選び、選択を押す



各項目の設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

参照 P.64 「ラベルの見栄えをよくする(編集)」

- 6 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「編集設定」メニューから「終わり?」を選び、選択を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

## 保存値を初期設定値に戻す

変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値(初期設定値)に戻します。

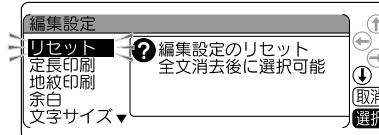
- 1 シフトを押しながら削除 (=消去) を押し、全文消去をおこなう

### !! 注意 !!

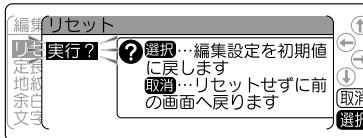
保存値の設定を初期設定値に戻すときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.50 「すべての文章を消去する」

- 2 シフトを押しながら復活 (=設定) を押す
- 3 「編集設定」を選び、選択を押す  
「編集設定」メニューが表示されます。
- 4 「編集設定」メニューの「リセット」を選び、選択を押す



- 5 「実行?」を選び、選択を押す



編集の保存値が初期設定値に戻ります。

### MEMO

操作の途中で削除または復活を押すと、1つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

# ●環境設定を変更する

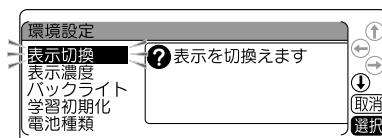
## 表示切り換え

テキスト画面の印刷イメージのサイズと表示できる行数を変更できます。

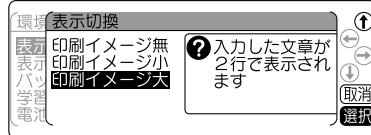
① **シフト**を押しながら**復活** (=設定) を押す  
「設定」メニューが表示されます。

② 「環境設定」を選び、**選択**を押す  
「環境設定」メニューが表示されます。

③ 「表示切換」を選び、**選択**を押す



④ 印刷イメージの設定を選び、**選択**を押す



印刷イメージ無：印刷イメージがなく、入力した文章のみ5行表示します。

印刷イメージ小：印刷イメージを小さく表示し、入力した文章を3行表示します。

印刷イメージ大：印刷イメージを大きく表示し、入力した文章を2行表示します。

印刷イメージが設定されます。

## MEMO

- 操作の途中で**削除**または**復活**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 表示切換は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。  
参照☞ P.150「本機を初期化する」

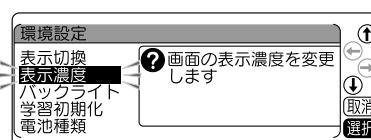
## ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

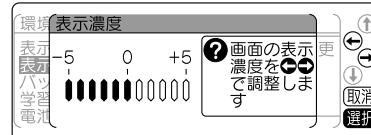
① **シフト**を押しながら**復活** (=設定) を押す  
「設定」メニューが表示されます。

② 「環境設定」を選び、**選択**を押す  
「環境設定」メニューが表示されます。

③ 「表示濃度」を選び、**選択**を押す



④ **←** **→**で濃度を調整し、**選択**を押す  
初期設定値は「0」に設定されています。



表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

## MEMO

- 操作の途中で**削除**または**復活**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 表示濃度は、電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定し直すか、本機の初期化をおこなってください。参照☞ P.150「本機を初期化する」

## バックライトの切り換え

ディスプレイのバックライトはON/OFFできます。バックライトをONにすると表示が見やすくなりますが、単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池で使用するときなどは、OFFにすると電池を節約できます。

① **シフト**を押しながら**(復活)** (=設定) を押す  
「設定」メニューが表示されます。

② 「環境設定」を選び、**選択**を押す  
「環境設定」メニューが表示されます。

③ 「バックライト」を選び、**選択**を押す



④ ON/OFF を選び、**選択**を押す



初期設定値は「ON」に設定されています。  
バックライトが設定され、テキスト画面に戻ります。

### MEMO

- 仮確定文字があるときは操作できません。
- 操作の途中で**削除**または**(復活)**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**(戻一)**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- バックライトは、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。  
参照☞ P.150「本機を初期化する」

## 学習内容を初期化する

文字入力のときの予測候補や変換候補の学習内容を初期化します。

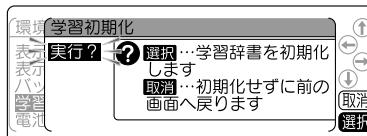
① **シフト**を押しながら**(復活)** (=設定) を押す  
「設定」メニューが表示されます。

② 「環境設定」を選び、**選択**を押す  
「環境設定」メニューが表示されます。

③ 「学習初期化」を選び、**選択**を押す



④ **選択 改行**を押す



学習内容が初期化されます。

### MEMO

- 仮確定文字があるときは操作できません。
- 操作の途中で**削除**または**(復活)**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**(戻一)**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ファイル・印刷履歴・あて名・名前・外字データは初期化されません。

参照☞ P.150「本機を初期化する」

# 電池種類を設定する

本機では単3形アルカリ乾電池の他に、充電式ニッケル水素電池（単3形）もご使用頂けます。

充電式ニッケル水素電池（単3形）をご使用になる際には電池設定を「ニッケル水素電池」に変更してください。

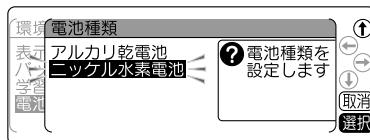
**1** **シフト**を押しながら**復活**（＝設定）を押す  
「設定」メニューが表示されます。

**2** 「環境設定」を選び、**選択**を押す  
「環境設定」メニューが表示されます。

**3** 「電池種類」を選び、**選択**を押す



**4** 「ニッケル水素電池」を選び、**選択**を押す



初期設定値は「アルカリ乾電池」に設定されています。

電池種類が設定されます。

## MEMO

- 仮確定文字があるときは操作できません。
- 操作の途中で削除または復活を押すと、1つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 再び「アルカリ乾電池」を使用する際には、同じ手順で「アルカリ乾電池」を設定してください。
- 電池種類は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。  
参照☞ P.150「本機を初期化する」

## !!注意!!

電池種類で設定した電池を使用していないときは、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。

参照☞ P.24「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」

# ●本機を初期化する

## !!注意!!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
  - 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFF ができないなど、正常に動作しなくなった場合は、下記の手順で「本機の初期化」をおこなってください。
  - 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。
- なお、初期化や、修理・検査をおこなうと、ファイルのデータや外字のデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

## 初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。

初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

内容	機能	初期化	編集設定のリセット (P.146)	印刷設定のリセット (P.144)	全文消去 (P.50)	ビジネスフォームでの全文消去 (P.88)	電源 OFF (P.46)
入力	テキスト画面の文章	●	— *1	—	●	—	—
	コピーした内容	●	—	—	—	—	●
	地紋データ	●	—	—	—	—	—
	ビジネスフォームの文章	●	—	—	—	●	—
	入力状態と小文字ロック	●	—	—	—	—	—
データ	ファイルデータ	●	—	—	—	—	—
	印刷履歴	●	—	—	—	—	—
	あて名データ	●	—	—	—	—	—
	名前データ	●	—	—	—	—	—
	辞書データ	●	—	—	—	—	—
	外字データ	●	—	—	—	—	—
設定	自動カットの設定値	●	—	●	—	—	—
	印刷濃度の設定値	●	—	●	—	—	—
	表示濃度の設定値	●	—	—	—	—	—
	編集設定の保存値	●	●	—	—	—	—

●：ご購入時の状態に戻ります。

—：保持されます。

\*1：編集設定のリセットをおこなうときには、全文消去をする必要があります。

# 初期化する

## ① (ON/OFF) ボタンを押して電源を切る

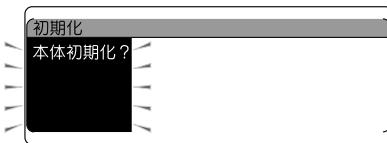
### !! 注意 !!

 (ON/OFF) ボタンを押しても電源が切れないときには、AC アダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度 AC アダプタを接続、または電池をセットし、再度  (ON/OFF) を押して電源を入れます。

以降は手順①からの操作で初期化してください。

## ② と を押しながら (ON/OFF) ボタンを押す

「本体初期化？」が点滅します。



### !! 注意 !!

- 初期化をやめるときは  以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？

今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

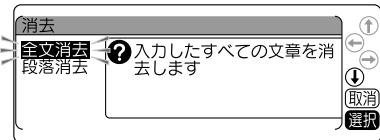
## ③ を押す

「初期化中」と表示され、本機の初期化がおこなわれた後、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

# ●デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。また、書体など本機の機能を参考することができます。

## 1 シフトを押しながら削除 (=消去) を押し、全文消去をおこなう



### !!注意!!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照☞ P.50 「すべての文章を消去する」

## 2 「demo」と入力する

参照☞ P.38 「2. 英数字を入力する」

1 d e m o

## 3 シフトを押しながら変換スペースを押す

デモ印刷がおこなわれます。

### !!注意!!

- 4mm 幅テープではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな?」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

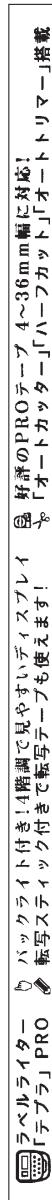
参照☞ 巻末「アフターサービスについて」

## MEMO

印刷を途中でやめるときは削除 を押してください。

## 見本

6mm 幅テープ



18mm 幅テープ



# 付録

# メニュー一覧

各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

ボタン	機能名	参照ページ
シフト + 印刷	テープ送り	P.156
特殊印画	特殊印刷	P.134
ファイル	ファイル	P.96
シフト + ファイル	ビジネスフォーム	P.90
記号	記号	P.155
編集	編集	P.67
シフト + 編集	連番・QR・バーコード	P.126
シフト + 復活	設定	P.140
シフト + 刪除	消去	P.156

# 記号メニュー一覧

を押すと、記号を入力できます（太字は購入時の初期設定値です）。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<p><b>記号</b></p> <p><b>外字呼出</b> 登録した外字を入力します。 参照☞ P.123</p> <p><b>2桁数字</b> 2桁の数字を1文字として入力します。 参照☞ P.63</p> <p><b>編集</b> 全角スペースや縦罫線を入力します。 参照☞ P.40、79</p> <p><b>合成</b> 合成文字を作成します。 参照☞ P.42</p>	<p>外字呼出 ►</p> <p>記述</p> <p>省略</p> <p>カッコ</p> <p>矢印</p> <p>図形</p> <p>単位</p> <p>算数</p> <p>数字</p> <p>2桁数字 ►</p> <p>ギリシャ</p> <p>ロシア</p> <p>欧州</p> <p>仕事</p> <p>公共用</p> <p>環境</p> <p>荷物</p> <p>スポーツ</p> <p>遊び</p> <p>映画</p> <p>音楽</p> <p>生き物</p> <p>乗り物</p> <p>食べ物</p> <p>予定</p> <p>暮らし</p> <p>家族</p> <p>星座</p> <p>案内用</p> <p>お店</p> <p>建設</p> <p>病院</p> <p>編集</p> <p>合成 ►</p>	<p>外字選択 ►</p> <p>記号選択</p> <p>参照☞ P.186 「記号一覧表」</p> <p>数値入力</p> <p>記号選択</p> <p>参照☞ P.186 「記号一覧表」</p>

付

録

## テープ送りメニュー一覧

シフトを押しながら印刷 (=テープ送り) を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます（太字は購入時の初期設定値です）。

### メニュー

#### テープ送り

テープ送り  
テープ送りを実行します。  
参照☞ P.30

#### テープ送り

#### 送りカット

## 消去メニュー一覧

シフトを押しながら削除 (=消去) を押すと、文章全体または段落全体を消去できます（太字は購入時の初期設定値です）。

### メニュー

#### 消去

消去  
文章または段落を消去します。  
参照☞ P.50、55

#### 全文消去

#### 段落消去

# ●テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター 使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼん	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 参照☞ P.142「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」
ハーフカット禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・転写テープ・りぼん	「ハーフカット」無効で印刷する。 参照☞ P.142「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」
オートトリマー 使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・りぼん	トリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整が 必要	耐熱ラベル	印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・ギフトシール	印刷がカスレた場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。 参照☞ P.144「印刷濃度を調整する」
鏡文字の設定が必要	アイロン転写テープ	鏡文字を「する」に設定して印刷する。

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

## !!注意!!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみをとってください。

参照☞ P.30「5. テープ送りをする」

## MEMO

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
- マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本機の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋の印刷などには向きです。
- マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本機から取り外してください。
- カットラベルは、本機では使用できません。

付

録

# 転写テープを印刷する

転写テープをセットしているときは、印刷時に転写印刷を指定できます。

## ① 転写テープのカートリッジを本機にセットする

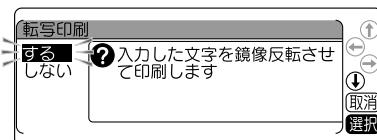
テープカートリッジをセットした直後は、**シフト**を押したまま**印刷**を押し、「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

## ② 文字を入力する

## ③ **印刷**を押す

「転写印刷」メニューが表示されます。

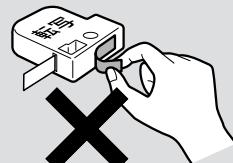
## ④ 「する」を選び、**選択**を押す



上下逆さまになった「鏡像」で印刷されます。印刷終了後、テープは自動的にカットされます。

## !! 注意 !!

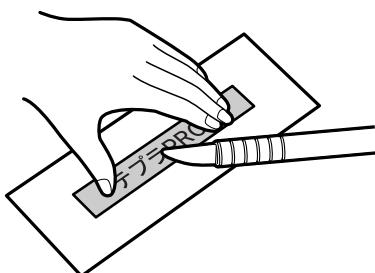
- 本機では、転写テープの「識別シール」を読み取り、転写テープを認識します。「識別シール」をはがしたり、「識別シール」の上に余分なラベルを貼ると、間違って識別されることがあります。



- テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」または「送りカット」をしてインクリボンのたるみをとってください。
- 転写テープで転写印刷を「しない」で印刷すると、印刷結果が正像になります。このラベルを転写すると、転写結果が「鏡像」になりますのでご注意ください。
- 転写テープは自動でハーフカットが無効になります。
- 転写しやすいように、余白は自動的に多めに印刷されます。

# 転写テープの文字を転写する

## ① 机などの平面に転写する紙面をおき、紙面の上に転写テープを文字が正しく読める面を上にしておく



## ② テープの余白をしっかり押さえ、付属の転写スティックでテープの上から1文字ずつていねいにこする

## ③ 上から見て、文字が白っぽく変わったら、転写完了

# ●パソコンに接続して使う

本機は、USB ケーブルでパソコンと接続して、パソコンからラベルのレイアウト編集をおこなうことができます。

※パソコンとの接続には市販の USB ケーブルが必要です（USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ）。

専用のラベルソフトは Windows 向け「TEPRA Label Editor SPC10」と macOS 向け「シンプルラベルソフト SMA3」に対応しています。

ラベルソフトおよびラベルソフト取扱説明書は本製品に同梱しておりません。当社ホームページ（<https://www. kingjim.co.jp/>）からダウンロードいただけます。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。

使用方法についての詳細は、当社ホームページ（<https://www. kingjim.co.jp/>）をご覧ください。

本書では、テキストや画像を自由にレイアウトしたり、「流し込み印刷」などの便利な機能をもった Windows 向け「TEPRA Label Editor SPC10」のセットアップ手順を説明しています。

macOS 向け「シンプルラベルソフト SMA3」は当社ホームページから取扱説明書をダウンロードしてください。

## アプリケーション、プリンタドライバをインストールする

以下のソフトをインストールします。

「TEPRA Label Editor SPC10」	パソコンを利用して画像やイラストを挿入したり「流し込み印刷」などができる、ラベル編集ソフトです。
プリンタドライバ	パソコンから「テプラ」本体で印刷するために必要なソフトです。

インストールできるパソコンの条件（動作環境）は、当社ホームページ（<https://www. kingjim.co.jp/>）でご確認ください。

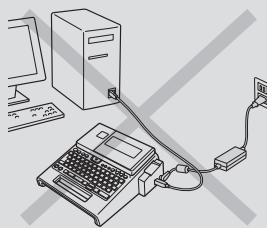
付

録

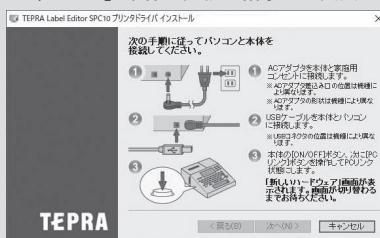
## !!注意!!

画面で指示されるまで「テプラ」本体をパソコンに接続しないでください。

USB ケーブルで接続する場合、画面による指示があるまで「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れないでください。



### 「テプラ」本体の接続を指示する画面



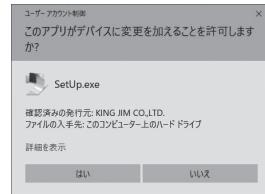
- ラベルソフトは本製品に同梱しておりません。当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) からダウンロードいただけます。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。
- 本機には USB ケーブルは同梱されていません。市販の USB ケーブルをご使用ください (USB 2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ)。
- プリンタドライバをインストールしていない状態で「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れると、「新しいハードウェアの追加」画面が表示される場合があります。すぐに [キャンセル] をクリックし、パソコンから「テプラ」本体をはずしてください。
- 本項目は、「TEPRA Label Editor SPC10」とプリンタドライバのインストールについて説明する内容になっており、Windows やパソコンの操作については詳しく説明しておりません。また、Windows やパソコンについて、最低限の操作（マウス操作やファイルの扱いなど）を習得されていることを前提しておりますので、必要な場合は Windows やパソコンの説明書をお読みください。
- 本プログラムをご使用になったうえでの故障や不具合、データ損失などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- 1 台のパソコンに同じ機種の「テプラ」本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2 台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- 複数ユーザーで使用する場合はインストール後、一度ログオフしてから「別ユーザー」としてご使用ください。
- インストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。ラベルソフトが正常にインストールされない場合があります。

- ① パソコンの電源を入れ、Windows を起動する  
起動しているソフトウェアがあれば終了してください。ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。
- ② 当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) から「TEPRA Label Editor SPC10」ソフトウェアをダウンロードする
- ③ ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示されたフォルダ中の SetUp.exe ファイルを実行する  
インストールプログラムが起動します。

[ユーザーアカウント制御] の画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックし継続してください。

## MEMO

右の画面が表示されるときは、既にアプリケーションまたはプリンタドライバがインストールされています。インストール項目を追加する場合は、[機能の追加 / 変更] で変更できます。  
古いバージョンのアプリケーションがインストールされているときは、表示に従いアンインストールしてから本ソフトをインストールしてください。



- ④ [アプリケーションとドライバのインストール] をクリックする  
プリンタドライバのみをインストールすることもできますが、ここでは、アプリケーション、プリンタドライバの両方をインストールします。

## MEMO

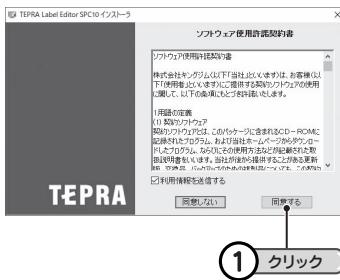
[ドライバのみのインストール] をクリックした場合は、手順⑤のあと、手順⑨に進みます。



次へ進みます

## 5 ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して同意する場合は【同意する】をクリックする

同意しない場合は【同意しない】をクリックしてください。インストールは中止されます。

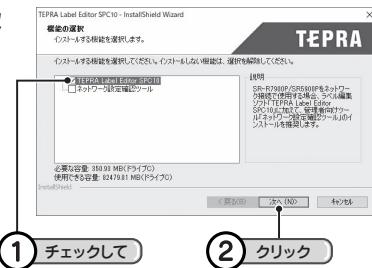


## 6 「TEPPRA Label Editor SPC10」をチェックし【次へ】をクリックする

インストールが開始されます。

### MEMO

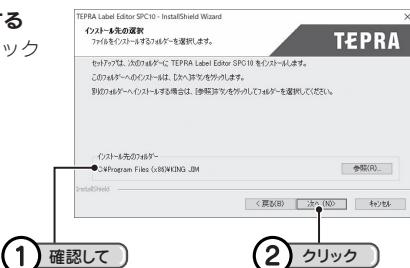
「ネットワーク設定確認ツール」のインストールは、本機では不要です。



## 7 インストール先を確認し、【次へ】をクリックする

インストール先を変更する場合は【参照】をクリック

すると変更できます。



## 8 必要な項目をチェックし【完了】をクリックする

アプリケーションのインストールが終了すると、インストールされたフォント一覧とショートカットの作成を確認する画面が表示されます。

続いてプリンタドライバのインストールに進みます。

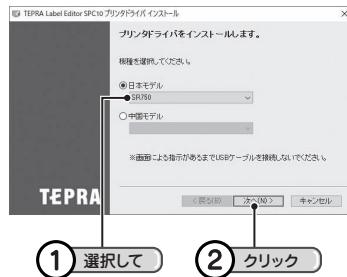


### !!注意!!

お使いのパソコンの環境によって、プリンタドライバのインストール画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。表示されるまで、しばらくお待ちください。

## ⑨ 機種を選択し、[次へ] をクリックする

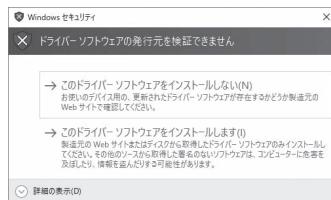
右側の [▼] をクリックして表示されるリストから SR750 を選択します。



① 選択して

② クリック

「Windows セキュリティ」の画面が表示された場合は、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックし継続してください。



## ⑩ 画面に表示される指示に従って本機をパソコンに接続する

「新しいハードウェア」のインストールが実行されます。しばらくするとインストールが完了し、完了画面が表示されます。

参照☞ P.165 「パソコンと「テプラ」本体を接続する」



## MEMO

「新しいハードウェア」のインストールが実行されない場合

手順⑩の画面が表示されるより前に、USB ケーブルを「テプラ」本体とパソコンに接続していると、インストールが正しくおこなわれません。

画面右下の「キャンセル」をクリックしてインストールプログラムを一旦終了したあと、USB ケーブルをはずし、再びインストールプログラムを起動させてください。

付

録

- 11 【完了】をクリックする  
インストールが終了します



## !!注意!!

プリンタの削除は「プログラムのアンインストール」（または「プログラムの追加と削除」）かインストールプログラムで削除してください。

参照☞ P.166 「アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする」

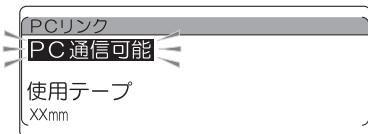
# パソコンと「テプラ」本体を接続する

本機をパソコンと接続して使用する場合は、以下の手順で、パソコンリンク状態に切り換えて使用してください。

※パソコンとの接続には市販のUSBケーブルが必要です（USB2.0/1.1ケーブルA-Bタイプ）。

- 1 本機にACアダプタを接続する**
- 2 本機にUSBケーブルを接続する**
- 3 本機にテープカートリッジをセットする**
- 4 本機の<sup>ON</sup><sub>OFF</sub>を押し、電源を入れる**
- 5 本機をパソコンリンク状態にする**

パソコンとUSBケーブルで接続した状態で、**シフト**を押しながら**ホーム**を押して、パソコンリンク状態にします。



以降、「TEPRA Label Editor SPC10」の使用方法についての詳細は、当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）をご覧ください。

## !!注意!!

- パソコンにプリンタドライバをインストールしていない状態で本機をパソコンに接続して電源を入れ、**シフト**を押しながら**ホーム**を押してパソコンリンク状態にすると、[新しいハードウェアの追加]画面が表示される場合があります。すぐに[キャンセル]をクリックしパソコンから本機をはずして、必ずプリンタドライバをインストールしてからご使用ください。  
参照☞ P.159「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」
- 1台のパソコンに同じ機種の「テプラ」本体をUSBケーブルで複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- USBハブを使用した場合の動作については、保証できません。

付

録

# アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする

## !!注意!!

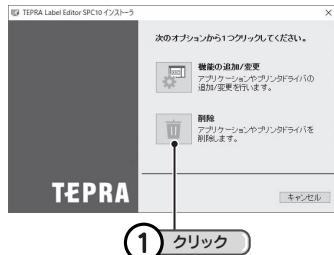
- ・アプリケーション、プリンタドライバのアンインストールは、必ず下記に記載の手順でおこなってください。
- ・プリンタドライバをアンインストールするときは、パソコンと「テプラ」本体を接続しているUSBケーブルをはずしてからおこなってください。

**①** 当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) から「TEPRA Label Editor SPC10」ソフトウェアをダウンロードする

**②** ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示されたフォルダ中の SetUp.exe ファイルを実行する

**③** 【削除】をクリックする

アンインストールの準備が整うと、確認の画面が表示されます。



**④** 【はい】をクリックする

アンインストールが開始されます。



## MEMO

ここで【いいえ】をクリックすると、アプリケーションのアンインストールを中止します。

**⑤** 【完了】をクリックする

SPC10 に関するアンインストールされたフォント一覧が表示されます。

続いて、プリンタドライバのアンインストールに進みます。



## ⑥ [はい] をクリックする

プリンタの選択画面に進みます。

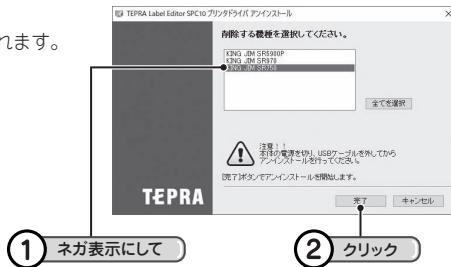


## MEMO

ここで [いいえ] をクリックすると、プリンタドライバのアンインストールを中止します。

## ⑦ SR750 を選択し、[完了] をクリックする

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。



## ⑧ [はい] をクリックする

パソコンが再起動されます。



## !!注意!!

- プリンタドライバをアンインストールした場合は、必ずパソコンを再起動してください。
- プリンタドライバの削除は「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」(または「プログラムの追加と削除」)もしくはインストールプログラムで削除してください。

付

録

次へ進みます →

## MEMO

TEPRA Label Editor SPC10とプリンタドライバのアンインストールは、[コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] からでも操作できます。ただし、当社ホームページ (<https://www. kingjim.co.jp/>) からダウンロードできるファイルからのアンインストールとは異なり、アプリケーション用 (TEPRA Label Editor SPC10) とプリンタドライバ用 (TEPRA Label Editor SPC10 プリンタドライバ) と分かれていますので、ご注意ください。



アプリケーションを  
アンインストールする  
場合

プリンタドライバを  
アンインストールする  
場合

# ●こんな表示が出たときは

## エラーメッセージが表示されたときは

### MEMO

同じエラーでも、画面の表示状態によってメッセージの表示が変わります。

参照☞ P.147 「表示切り換え」

エラーメッセージ	原因・対処
電圧が低下しています 電池を交換してください	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池に交換してください。または、電池の④⑤の向きが間違っている場合や、電池種類の設定が正しくない場合があります。また、できるだけ付属のACアダプタを使用してください。 参照☞ P.24 「1. ACアダプタを接続する」 参照☞ P.24 「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」 参照☞ P.149 「電池種類を設定する」
上カバーを閉じてください！	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示されます。 上カバーを閉じてください。
テープがありません！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照☞ P.27 「3. テープカートリッジをセットする」
印刷ヘッドが過熱！電源を切り、テープを抜いてしばらく放置してください	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバーです！	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷イメージの表示ができません。幅の広いテープカートリッジをセットするか、行数を減らしてください。 参照☞ P.51 「テープ幅と印刷できる行数」
テープ幅が不足しています！	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷イメージの表示ができません。または、あて名印刷を24mm・36mm幅以外のテープで印刷しようとしました。幅の広いテープカートリッジをセットするか、行数を減らしてください。
入力した文章が長すぎます！	入力した文章が長すぎて、一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。また、ビジネスフォームの定ピッチを使用している場合は、指定したピッチに対して入力した文章が長すぎます。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らすか、文字の大きさを小さくしてください。
連番・バーコードは6個までしか入力できません	連番とバーコードは、合わせて6個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞ P.127 「連番を印刷する」 参照☞ P.130 「バーコードを印刷する」
QRコードは2個までしか入力できません	QRコードは2個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞ P.132 「QRコードを印刷する」

付

録

エラーメッセージ	原因・対処
<b>QRコードが大きすぎます！</b>	<p>QRコードが大きすぎます。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、QRコード入力中の文字サイズインジケーターを参考にして以下の操作をおこなってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幅の広いテープに交換する。</li> <li>通常テキストの行数を減らす。</li> <li>QRコードの誤り訂正レベルを低くする。</li> <li>QRコードの文字数を減らす。</li> </ul> <p>参照☞ P.132 「QRコードを印刷する」</p>
<b>指定した特殊印刷はできません 拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください</b>	<p>指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。</p> <p>参照☞ P.135 「同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）」 参照☞ P.136 「テープ幅より大きなラベルを作る（拡大印刷）」</p>
<b>入力した文章が長すぎます 定長を解除して 実行しますか？</b>	<p>定長で指定した長さに文章がおさまりません。 いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らす、文字の大きさを小さくする、余白を少なくするなどの対処をおこなってください。このまま [選択改行] を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。</p> <p>参照☞ P.82 「定長印刷」</p>
<b>定長の指定が短すぎます 定長を解除して 実行しますか？</b>	<p>ハーフカット OFF で約 20mm 未満のラベルをプレビューまたは印刷をしようとした。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、テープの長さを変更してください。</p> <p>このまま [選択改行] を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。</p> <p>参照☞ P.142 「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」</p>
<b>メモリーがいっぱいです これ以上登録できません</b>	<p>ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいです、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。</p> <p>参照☞ P.100 「ファイルを消去する」 参照☞ P.109 「あて名を消去する」 参照☞ P.115 「名前を消去する」</p>
<b>ファイルが登録されていません</b>	<p>ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去、複写、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。</p> <p>参照☞ P.98 「ファイルを登録する」</p>
<b>ファイル印刷の長さが長すぎます 印刷候補を減らしてください</b>	<p>ファイル印刷候補（最大 5 件）すべてを印刷すると、一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してファイル印刷候補の選択メニューに戻り、ファイル印刷の候補数を減らしてください。</p>
<b>印刷履歴がありません</b>	<p>印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。</p>

エラーメッセージ	原因・対処
あて名が登録されていません	あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞ P.107「あて名を登録する」
辞書の登録数がいっぱいです これ以上登録できません	辞書がいっぱいです、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要な辞書を消去してください。 参照☞ P.119「登録した辞書を消去する」
辞書に登録済みの語句です	辞書登録すでに登録してある「語句・読み」をふたたび登録しようとしました。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
辞書が登録されていません	辞書が登録されていない状態で、辞書の修正、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞ P.117「変換できない語句を登録する（辞書の登録）」
未入力の項目があるため 辞書に登録できませんでした	未入力の項目がある状態で、辞書を登録しようとしました。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
名前が登録されていません	名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞ P.114「名前を登録する」
外字が登録されていません	外字が登録されていない状態で、外字の修正、呼び出し、消去、複写の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞ P.122「外字を作成し、登録する」 参照☞ P.125「外字を参照作成し、登録する」
外字の登録数がいっぱいです これ以上登録できません	外字の登録数がいっぱいです、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要な外字を消去してください。 参照☞ P.124「外字を消去する」

## MEMO

表記以外のエラーメッセージが表示されたときは、当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞ 卷末「アフターサービスについて」

付

録

# ●故障かな？と思ったら

## MEMO

パソコンと接続しているときの問題は、ラベルソフトの取扱説明書も参照してください。

### 正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFF ができないなど、正常に動作しなくなつたときは、本機の初期化をおこなってください。参照☞P.150「本機を初期化する」

### (ON/OFF) を押してもディスプレイに何も表示されない

#### ● ACアダプタはしっかりと接続されていますか？

本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

#### ● 電池は正しくセットされていますか？

電池の向きが $(+)$  $(-)$ 逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、正しくセットされているか確認してください。

#### ● 専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？

同梱のACアダプタ(AS1527J)以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

#### ● 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

#### ● ディスプレイの表示濃度は適切ですか？

ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないことがあります。ディスプレイが見にくいたときは、表示濃度を調整することができます。参照☞P.147「ディスプレイの濃度を調整する」

### キーボードが動作しない

● パソコンリンクランプが点灯し、ディスプレイに「PC通信可能」と表示されていませんか？パソコンリンクランプが点灯しているときは、パソコンからの操作が優先されます。「テープラ」本体でラベルを作るときは、 +  を押してパソコンリンクを解除してください。

### ディスプレイが消える

● オート・パワーオフ機能ではありませんか？本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。(オート・パワーオフ)

#### ● 操作を間違えませんでしたか？

本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

### を押しても何も印刷されない

#### ● 文章が入力されていますか？

テキスト画面やビジネスフォームに何も入力されていないと印刷はされません。

#### ● ディスプレイにメッセージが表示されていますか？

エラーメッセージが表示されると印刷されません。参照☞P.169「こんな表示が出たときは」準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

#### ● オートトリマーが動作中ではありませんか？

オートトリマー使用中は、印刷できません。

#### ● 消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？

テープカートリッジのテープがなくなつたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかりと閉じてください。

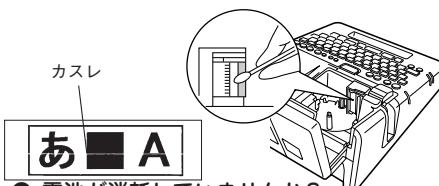
## 文字がきちんと印刷されない

- テープカートリッジは正しくセットされていますか？  
テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。  
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順にしたがってセットしてください。  
参照☞P.27「3. テープカートリッジをセットする」

### ● 印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることができます。別売のヘッド・クリーニングテープ (SR36C) をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

参照☞P.175「お手入れについて」



### ● 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）と交換するか、同梱のACアダプタ（AS1527J）を使用してください。電池を交換せずに使いつづけると、操作中や印刷中に電源が切れることができます。また電池種類を正しく設定してください。

参照☞P.149「電池種類を設定する」

## ラベル印刷後、自動カットされない

- 自動カットを「しない」に設定していませんか？  
印刷設定の自動カットを「しない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。  
参照☞P.142「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

### ● カッターの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞卷末「アフターサービスについて」

## 文章の途中までしか印刷されない

### ● テープカートリッジにテープの残りがありますか？

テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。

参照☞P.27「3. テープカートリッジをセットする」

### ● 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）と交換するか、同梱のACアダプタ（AS1527J）を使用してください。電池を交換せずに使いつづけると、操作中や印刷中に電源が切れることができます。また電池種類を正しく設定してください。

参照☞P.149「電池種類を設定する」

## ハーフカットがうまくできない

### ● ハーフカットは「する」になっていますか？

印刷設定の自動カットでハーフカットを「しない」に設定すると、ハーフカットはおこなわれません。

参照☞P.142「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

### ● 自動カット「しない」になっていますか？

印刷設定の自動カットが「しない」になっている場合はハーフカットも動作しません。

参照☞P.142「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

### ● ハーフカットのできないラベルを使用していませんか？

本機のカッターでハーフカットできないラベルを使用している場合は、ハーフカットを「しない」に設定してください。

参照☞P.142「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

### ● ハーフカットの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると、磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞卷末「アフターサービスについて」

付

録

# オートトリマーでうまくカットできない

## ● 印刷中ではありませんか？

テープ印刷中はオートトリマーが作動しません。

## ● ラベルをトリマー差込み口にきちんと差し込んでいますか？

ラベルをガイドに合わせず差し込むときれいにカットできません。ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。

参照☞P.56「カドを丸く仕上げる」

## ● 切りクズがつまっていますか？

トリマーカバーをはずし、トリマーの切りクズを取り除いてください。

参照☞P.57「オートトリマーのお手入れ」

## ● 4mm、6mm 幅テープをカットできませんか？

4mm、6mm 幅テープはオートトリマーでカットすることはできません。トリマー(RT36W)を使ってカットしてください。

参照☞P.11「別売品のご案内」

## ● オートトリマーでカットのできないラベルを使用していませんか？

本機のオートトリマーでカットできないラベルはオートトリマーに差し込まないでください。

参照☞P.56「カドを丸く仕上げる」

## ● オートトリマーの刃が磨耗していませんか？

オートトリマーの刃は、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」

# ファイルの内容が消えてしまった

## ● 本機の初期化をしましたか？

本機の初期化をおこなうと、ファイル・あて名・外字・辞書登録などのデータがすべて失われます。

参照☞P.150「本機を初期化する」

## ● 電源が入った状態で電池を交換していませんか？

電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。また電池種類を正しく設定してください。

参照☞P.149「電池種類を設定する」

## ● 動作中に AC アダプタや電池を抜きましたか？

ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備をしています」が表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

# 印刷履歴に記録されない

QRコードを使った場合など、印刷したラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないこともあります。

参照☞P.132「QR コードを印刷する」

# ラベルを貼り付けることができない

## ● 裏紙をはがしていますか？

粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。

参照☞P.45「7. ラベルを貼る」

## ● 貼る場所が汚れていたり、凹凸がありますか？

表面がザラザラしている場所や、ホコリ・油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工をしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

## MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」

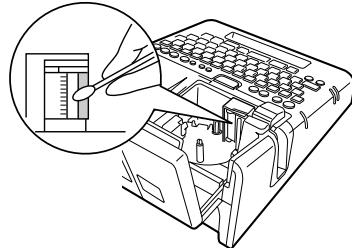
# ●お手入れについて

## ■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

## ■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR36C）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



付

録

# ヘッド・クリーニングテープを使う

## ヘッドクリーニングをおこなう

① ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする

② **シフト**を押しながら**印刷** (= テープ送り) を押す

③ 「テープ送り」を選び、**選択 改行**を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1~2回おこなってください。

参照☞ P.30 「5. テープ送りをする」

### !!注意!!

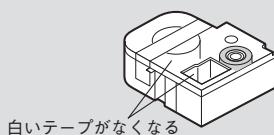
・ 使用後は元の箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ・砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドを傷める原因になります。



・ ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドを傷める原因となります。

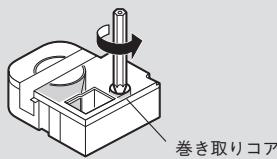


・ 図のようにテープがすべて「巻き取りコア」に巻き取られたら、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドを傷めるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



### MEMO

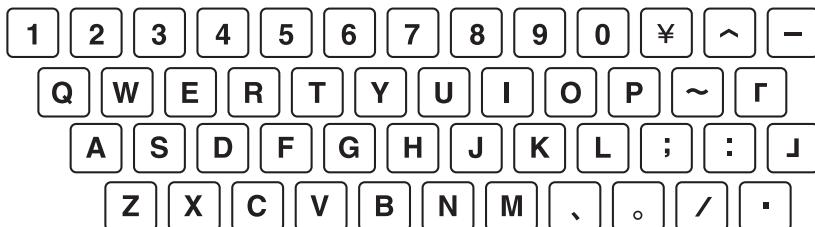
- ・ 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープは SR36C をお使いください。
- ・ テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- ・ テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみをとってください。



- ・ ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ・ ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめにみえますが、約 120 回のクリーニングが可能です。

# ●入力文字一覧表

## 文字ボタン配列



## 入力文字表

「大」は **シフト** を押していない状態、「小」は **シフト** を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かな		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
1	1	!	ぬ	！	1	!	1	!
2	2	@	ふ	@	2	@	2	@
3	3	#	あ	あ	3	#	3	#
4	4	\$	う	う	4	\$	4	\$
5	5	%	え	え	5	%	5	%
6	6	&	お	お	6	&	6	&
7	7	,	や	や	7	,	7	,
8	8	*	ゆ	ゆ	8	*	8	*
9	9	(	よ	よ	9	(	9	(
0	0	)	わ	を	0	)	0	)
¥	¥	=	ほ	ほ	¥	=	¥	=
^	^	^	へ	へ	^	^	^	^
-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q	Q	q	た	た	Q	q	Q	q
W	W	w	て	て	W	w	W	w
E	E	e	い	い	E	e	E	e
R	R	r	す	す	R	r	R	r
T	T	t	か	か	T	t	T	t
Y	Y	y	ん	ん	Y	y	Y	y
U	U	u	な	な	U	u	U	u
I	I	i	に	に	I	i	I	i
O	O	o	ら	ら	O	o	O	o
P	P	p	せ	せ	P	p	P	p
~	~	~	。	。	~	~	~	~
「	「	」	。	」	「	」	」	」

ボタン	ローマ字		かな		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
A	A	a	ち	ち	A	a	A	a
S	S	s	と	と	S	s	S	s
D	D	d	し	し	D	d	D	d
F	F	f	は	は	F	f	F	f
G	G	g	き	き	G	g	G	g
H	H	h	く	く	H	h	H	h
J	J	j	ま	ま	J	j	J	j
K	K	k	の	の	K	k	K	k
L	L	l	り	り	L	l	L	l
:	:	+	れ	れ	:	+	:	+
:	:	×	け	け	:	×	:	＼
】	】	】	む	】	】	】	】	】
Z	Z	z	つ	つ	Z	z	Z	z
X	X	x	さ	さ	X	x	X	x
C	C	c	そ	そ	C	c	C	c
V	V	v	ひ	ひ	V	v	V	v
B	B	b	こ	こ	B	b	B	b
N	N	n	み	み	N	n	N	n
M	M	m	も	も	M	m	M	m
、	、	、	ね	ね	、	、	、	、
。	。	。	る	る	。	。	。	。
／	／	?	め	?	／	?	／	?
・	・	・	ろ	・	・	・	・	・

注1：ボタン **〔〕** の「。」とボタン **〔〕** の「。」は単独では入力、印刷できません。

注2：ボタン **〔〕** で入力できる文字は次のとおりです。

ローマ字（大）、かな（大）：「-」（長音）

ローマ字（小）、かな（小）、ABC（小）、ABC（半角）：「-」（マイナス）

ABC（大）：「-」（ハイフン）

注3：ボタン **〔〕** の「.」はピリオドです。

# 漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JIS コード・シフト JIS コードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞ P.139 「読みのわからない漢字を入力する（コード入力）」

## !! 注意 !!

- 漢字変換表は JIS に基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。
- 参照☞ P.139 「読みのわからない漢字を入力する（コード入力）」
- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

## JIS 第 1 水準

\* の欄の数字は区点コードの下 1 衔を表します。

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ア 1601～1609	亜 哑 姓 阿 哀 愛 挨 始 逢
1610～1619	葵 茜 槐 悪 握 涼 旭 葦 芦 鯉
1620～1629	梓 壓 幹 扱 宛 姐 虬 鉛 純 綾
1630～1639	鮎 或 粟 補 安 廬 按 暗 案 間
1640～1641	鞍 杏
イ 1642～1649	以 伊 位 依 偉 圃 夷 委
1650～1659	威 尉 惟 意 慰 易 椅 為 畏 異
1660～1669	移 繩 緯 胃 委 衣 謂 違 遺 医
1670～1679	井 亥 域 育 郁 磯 一 壱 溢 逸
1680～1689	稻 荻 苺 鰯 允 印 咽 員 因 姻
1690～1694	引 飲 淫 峰 蔭
1701～1705	院 陰 隱 韻 时
ウ 1706～1709	右 宇 烏 羽
1710～1719	迂 雨 卯 鶴 窓 丑 確 白 滬 嘘
1720～1729	唄 舞 蕎 蔓 姥 嫫 浦 瓜 閨
1730～1732	云 運 雲
エ 1733～1739	菴 餌 叻 嘗 要 影 映
1740～1749	曳 栄 永 泳 液 瑛 盈 頴 英
1750～1759	衛 詠 銳 液 疫 益 駛 悅 越
1760～1769	閨 檻 厥 円 園 垣 奔 宴 延 忽
1770～1779	掩 援 沿 演 炎 燐 燕 猿 緑
1780～1786	艷 苑 菌 遠 鉛 鶯 塩
オ 1787～1789	於 汚 鳴
1790～1794	凹 央 奥 往 応
1801～1809	押 旺 橫 欧 殿 王 翁 褐 鶯
1810～1819	鷗 黃 岡 沖 荻 億 屋 憶 桶
1820～1827	牡 乙 僮 卸 恩 温 穏 音
カ 1828～1829	下 化
1830～1839	仮 何 伽 価 佳 加 可 嘉 夏 嫁
1840～1849	家 寡 科 暇 果 架 歌 河 火 珂
1850～1859	禍 禾 稼 箕 花 荷 茄 荷 華 菓
1860～1869	蝦 課 嘩 貨 過 震 蚊 俄 峨
1870～1879	我 牙 画 畏 芽 蛾 賀 雅 餓 駕

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
カ 1880～1889	介 会 解 回 塊 壞 遷 快 怪 悔
1890～1894	恢 懐 戒 拐 改
1901～1909	魁 晦 械 海 灰 界 皆 絵 芥
1910～1919	蟹 開 階 貝 凱 効 外 咳 害 崖
1920～1929	慨 慨 淹 碍 蓋 街 該 鐘 鏡 涼
1930～1939	馨 蛙 垣 柿 蝴 鈎 計 嘸 各 廓
1940～1949	括 撐 格 核 賦 獲 確 穩 覺 角
1950～1959	赫 較 郭 閣 隔 革 学 岳 楽 額
1960～1969	顎 挑 笠 榆 檻 梶 鰐 渴 割 喝
1970～1979	恰 括 活 渴 滑 葛 褐 輻 且 鰐
1980～1989	叶 桃 樺 鞠 株 兜 竇 蒲 釜 鑑
1990～1994	嘔 鴨 柏 茅 萱
2001～2009	粥 刈 茄 瓦 乾 侃 冠 寒 刊
2010～2019	勘 勸 卷 呼 堪 瓮 完 官 寬 干
2020～2029	幹 患 感 慣 憾 換 敢 柑 桓 棺
2030～2039	款 歎 汗 漢 潤 淹 環 甘 鑑 看
2040～2049	竿 管 簡 緩 缶 翰 肝 艤 莞 觀
2050～2059	諫 貢 還 鑑 間 閑 関 陷 韓 館
2060～2069	館 丸 含 岸 巍 玩 痞 眼 岩 瓢
2070～2074	贊 雁 頑 頽 頤
キ 2075～2079	企 伎 危 喜 器
2080～2089	基 奇 嘻 寄 岐 希 幾 忌 挥 机
2090～2094	旗 既 期 棋 棄
2101～2109	機 帽 穀 気 汽 畿 祈 季 稀
2110～2119	紀 繆 規 記 貴 起 軌 輜 飢 騎
2120～2129	鬼 亀 偽 儀 妓 宜 戲 技 摭 欺
2130～2139	犧 疑 祗 義 蟻 誠 議 摂 菊 鞠
2140～2149	吉 吃 喫 桔 橘 詰 砧 杵 粿 却
2150～2159	客 脚 虐 逆 丘 久 仇 休 及 吸
2160～2169	宮 弓 急 救 朽 求 汲 泣 炙 球
2170～2179	究 窮 爰 級 紛 給 旧 牛 去 居
2180～2189	巨 拒 抛 挙 渠 虚 許 距 鋸 漁
2190～2194	禦 魚 亨 亨 京

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ヰ 2201 ~ 2209	供 俠 僕 兇 競 共 凶 協 匠
ヰ 2210 ~ 2219	卿 叫 喬 境 峠 強 疊 怯 恐 恭
ヰ 2220 ~ 2229	挾 教 橋 況 狂 狹 矫 胸 脅 興
ヰ 2230 ~ 2239	齋 鄉 鏡 韶 驚 仰 濟 堯 曉
ヰ 2240 ~ 2249	業 局 曲 極 玉 桐 耂 僅 勤 均
ヰ 2250 ~ 2259	巾 錦 斧 欣 鈸 禁 禽 筋 緊
ヰ 2260 ~ 2268	芹 菌 衿 襪 謹 近 金 吟 銀
ヰ 2269	九
ヰ 2270 ~ 2279	俱 句 区 狗 玖 矩 苦 躯 駆 駢
ヰ 2280 ~ 2289	駒 具 愚 虞 嘘 空 偶 寓 遇 隅
ヰ 2290 ~ 2294	串 柳 鉗 肩 屈
ヰ 2301 ~ 2309	掘 窟 菅 靴 彎 廻 熊 限 余
ヰ 2310 ~ 2319	栗 緑 桑 鍬 熏 君 薫 訓 群 軍
ヰ 2320	郡
ヰ 2321 ~ 2329	卦 裳 邦 係 傾 刑 兄 啓 圭
ヰ 2330 ~ 2339	珪 型 契 形 径 恵 慶 慧 懇 揭
ヰ 2340 ~ 2349	携 敬 景 桂 溪 畦 稽 系 経 繼
ヰ 2350 ~ 2359	繫 舐 茎 莉 蛹 計 詣 警 輕 頸
ヰ 2360 ~ 2369	鶏 芸 迎 鯨 劇 戟 擊 激 隙 桢
ヰ 2370 ~ 2379	傑 欠 決 潔 穴 結 血 訣 月 件
ヰ 2380 ~ 2389	儻 倦 健 兼 券 劍 喧 圈 堅 嫌
ヰ 2390 ~ 2394	建 憲 懸 拳 捲
ヰ 2401 ~ 2409	檢 権 率 犬 献 研 睦 紹 県
ヰ 2410 ~ 2419	肩 見 謙 賢 軒 遣 鍵 陰 驗
ヰ 2420 ~ 2429	瞼 元 原 嚴 幻 弦 減 源 玄 現
ヰ 2430 ~ 2434	絃 紣 言 謬 限
ヰ 2435 ~ 2439	乎 個 古 呼 固
ヰ 2440 ~ 2449	姑 孤 己 庫 弧 戸 故 枯 湖 狐
ヰ 2450 ~ 2459	糊 桕 股 胡 蕃 虎 誇 跨 鉛 屢
ヰ 2460 ~ 2469	顧 鼓 五 互 伍 午 吳 吾 娱 後
ヰ 2470 ~ 2479	御 悟 梧 榆 瑞 碧 語 誤 謾 酬
ヰ 2480 ~ 2489	乞 鯉 交 伎 俟 候 倖 光 公 功
ヰ 2490 ~ 2494	効 勾 厚 口 向
ヰ 2501 ~ 2509	后 喉 坑 塃 好 孔 孝 宏 工
ヰ 2510 ~ 2519	巧 巷 幸 広 庚 康 弘 恒 慌 抗
ヰ 2520 ~ 2529	拘 控 攻 昂 晃 更 杭 校 梗 枪
ヰ 2530 ~ 2539	江 洪 浩 港 溝 甲 皇 硬 稲 枪
ヰ 2540 ~ 2549	紅 紗 紋 網 耕 考 肯 肱 腔 膏
ヰ 2550 ~ 2559	航 行 衡 講 貢 購 邪 醇 鈺
ヰ 2560 ~ 2569	礮 鋼 閣 降 項 香 高 鴻 剛 劫
ヰ 2570 ~ 2579	号 合 璜 拷 濟 豪 蜜 韶 刻
ヰ 2580 ~ 2589	告 国 穀 酷 鵠 黑 獄 漢 腰 頽
ヰ 2590 ~ 2594	忽 惚 骨 狹 达
ヰ 2601 ~ 2609	此 頃 今 困 坤 塑 婚 恨 懇
ヰ 2610 ~ 2618	昏 昆 根 横 混 痕 紺 良 魂
ヰ 2619	些
ヰ 2620 ~ 2629	佐 叉 咬 嵯 左 差 查 沙 瑞 砂
ヰ 2630 ~ 2639	詐 鎮 娑 坐 座 挫 債 催 再 最
ヰ 2640 ~ 2649	哉 塞 妻 宰 彩 才 採 栽 蔡 濟
ヰ 2650 ~ 2659	災 采 犀 碎 碧 祭 廉 細 菜 裁

区点コード \*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ヰ 2660 ~ 2669	載 際 劑 在 材 罪 財 泽 坂 阪
ヰ 2670 ~ 2679	堺 榊 省 咲 岐 埼 鷺 作 削
ヰ 2680 ~ 2689	昨 摧 昨 朔 檻 窄 策 索 錯 櫻
ヰ 2690 ~ 2694	鮎 笹 匙 冊 刷
ヰ 2701 ~ 2709	寮 拶 摄 摭 札 殺 薩 雜
ヰ 2710 ~ 2719	鯖 涮 鑄 鮫 皿 晒 三 産 參
ヰ 2720 ~ 2729	慘 撒 散 桟 燐 珊 算 簿
ヰ 2730 ~ 2736	讚 賛 酸 餐 斬 暫 残
シ 2737 ~ 2739	仕 仔 姉 斯 系 誌 呂
シ 2740 ~ 2749	使 刺 司 史 翡 志 士 始 支 犇 私
シ 2750 ~ 2759	子 尸 市 師 止 死 氏 指 獅 祉
シ 2760 ~ 2769	施 旨 枝 止 死 氏 繼 舌 詩 似
シ 2770 ~ 2779	紙 紫 肢 脂 至 視 詞 事
シ 2780 ~ 2789	誇 資 賦 雌 飼 牙 齒 侍
シ 2790 ~ 2794	字 寺 慈 持 時
シ 2801 ~ 2809	次 滋 治 爾 痘 磁 鳴 竹
シ 2810 ~ 2819	耳 自 薛 辞 汐 鹿 式 識 柴
シ 2820 ~ 2829	軸 宍 零 七 叱 執 失 嫉 室
シ 2830 ~ 2839	湿 漆 疾 質 実 蔽 緩 愚 柴
シ 2840 ~ 2849	屢 蕊 紹 舍 写 射 舒 邪 借
シ 2850 ~ 2859	社 紗 者 謝 車 駅 錫 若 勿
シ 2860 ~ 2869	尺 构 灼 爵 酒 錫 犇 疎 強
シ 2870 ~ 2879	惹 主 取 守 手 朱 殊 犇 珠
シ 2880 ~ 2889	腫 趣 酒 首 儒 受 呪 寿 授
シ 2890 ~ 2894	緩 需 因 収 周 潤 喆 疏
シ 2901 ~ 2909	宗 究 就 州 修 潤 拾 衆 伸
シ 2910 ~ 2919	愁 荏 舟 修 舟 伸 伸
シ 2920 ~ 2929	終 繡 遊 舟 集 伸 伸
シ 2930 ~ 2939	輯 週 酒 醉 伸 伸
シ 2940 ~ 2949	従 戎 柔 汁 滲 伸 伸
シ 2950 ~ 2959	夙 宿 淑 祝 縮 伸 伸
シ 2960 ~ 2969	述 俊 峻 淳 瞬 伸 伸
シ 2970 ~ 2979	旬 梢 殉 潤 伸 伸
シ 2980 ~ 2989	醇 書 薔 諸 伸 伸
シ 2990 ~ 2994	恕 勤 除 傷 儒 伸 伸
シ 3001 ~ 3009	勝 匠 升 召 哨 商 唱
シ 3010 ~ 3019	姿 娟 宵 將 小 尚 床
シ 3020 ~ 3029	彰 承 抄 掌 捷 昇 昌 昭
シ 3030 ~ 3039	松 梢 樟 桐 沼 涉 湘 燒
シ 3040 ~ 3049	照 痘 省 硝 磯 祥 称 章 稹
シ 3050 ~ 3059	照 肖 菖 蒴 蕉 衡 裳 証 詔
シ 3060 ~ 3069	詳 象 賞 醒 鈺 鐘 鐘 詔
シ 3070 ~ 3079	丈 丞 兮 剩 城 場 詔
シ 3080 ~ 3089	情 握 条 杖 墓 疊 詔
シ 3090 ~ 3094	醸 錠 瞠 植 殖 職 色 触
シ 3101 ~ 3109	拭 植 殖 烷 燭 職 色 触
シ 3110 ~ 3119	蝕 辱 尻 伸 伸 伸
シ 3120 ~ 3129	心 慎 振 新 森 森 親
シ 3130 ~ 3139	疹 真 神 奏 紳 臣 芯
シ 3140 ~ 3149	身 辛 進 针 震 仁 刃

区点コード \*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
シ 3150 ~ 3157	尋 甚 尽 腎 訊 迅 陣 鞠
ス 3158 ~ 3159	箇 諏
3160 ~ 3169	須 酔 図 廚 逗 吹 垂 帥 推 水
3170 ~ 3179	炊 睡 粋 翠 衰 遂 酔 錐 錐 隨
3180 ~ 3189	瑞 體 崇 嵩 数 枢 趣 難 据 杉
3190 ~ 3194	楣 菴 頗 雀 裳
3201 ~ 3203	澄 摺 寸
セ 3204 ~ 3209	世 瀬 畠 是 淬 制
3210 ~ 3219	勢 姓 征 性 成 政 整 星 晴 櫻
3220 ~ 3229	栖 正 清 牲 生 盛 精 聖 声 製
3230 ~ 3239	西 誠 誓 請 逝 醒 青 靜 斉 稅
3240 ~ 3249	脆 隻 席 惜 戚 斥 昔 析 石 積
3250 ~ 3259	籍 繢 脊 責 赤 跡 碩 切 拙
3260 ~ 3269	接 摄 折 設 窃 節 說 雪 絶 舌
3270 ~ 3279	蟬 仙 先 千 占 宣 專 尖 川 戰
3280 ~ 3289	扇 摆 桜 梅 泉 浅 洗 染 潛 煎
3290 ~ 3294	煽 旋 穿 箭 線
3301 ~ 3309	織 羨 膜 外 船 薦 詮 賤 践
3310 ~ 3319	選 錢 銖 閃 鮮 前 善 漸 然
3320 ~ 3324	全 禪 繕 膳 糜 糜
ソ 3325 ~ 3329	憎 塑 姻 姻
3330 ~ 3339	曾 楚 狙 疏 疎 疏 疏 疏 疏 疏
3340 ~ 3349	組 蘇 訴 阻 邇 鼻 僧 創 双 簍
3350 ~ 3359	倉 壞 壯 奏 爽 宋 層 匝 物 想
3360 ~ 3369	搜 掃 捕 猛 操 早 曹 巢 檜 槽
3370 ~ 3379	漕 燥 爭 瘦 相 窓 槽 組 緩 聰
3380 ~ 3389	草 莊 葬 蒼 藻 裳 走 送 遭 鑑
3390 ~ 3394	霜 驚 像 增 増 増 増 増 増 増
3401 ~ 3409	臓 藏 贈 造 促 側 則 則 即 息
3410 ~ 3419	捉 束 測 足 速 俗 屬 賊 族 縱
3420 ~ 3429	卒 袖 其 摘 存 孫 尊 損 村 遜
タ 3430 ~ 3439	他 多 太 詫 託 睡 塼 委 情 打
3440 ~ 3449	柁 舵 桅 驁 驛 車 体 堆 對 耐
3450 ~ 3459	岱 带 待 怨 態 戴 替 泰 滯 胎
3460 ~ 3469	腿 苔 袋 貸 退 逮 隊 黛 銅 代
3470 ~ 3479	台 大 第 醒 題 鷹 滯 署 卓 啄
3480 ~ 3489	宅 托 抨 拓 沢 灑 琢 託 爛
3490 ~ 3494	諾 菲 蜂 蜂 蜂 只
3501 ~ 3509	叩 但 達 辰 奪 脱 翼 竪 迪
3510 ~ 3519	棚 谷 狸 鰐 尊 誰 丹 单 嘆 坦
3520 ~ 3529	担 探 旦 欲 淡 湛 炭 短 端 章
3530 ~ 3539	綻 耽 胆 蛋 誕 鏗 团 壇 弹 断
3540 ~ 3544	暖 檻 段 男 談
チ 3545 ~ 3549	值 知 地 弛 耻
3550 ~ 3559	智 池 痴 稚 置 致 蜘 邏 驚 驚
3560 ~ 3569	畜 竹 筑 蕃 逐 秩 窓 茶 嫌 着
3570 ~ 3579	中 仲 宙 忠 抽 昼 柱 注 虫 衷
3580 ~ 3589	註 酷 鑄 駐 横 猪 荸 著 貯
3590 ~ 3594	丁 兆 調 嘴 寵
3601 ~ 3609	帖 帳 序 弔 張 彫 徵 懲 挑

区点コード \*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
チ 3610 ~ 3619	暢 朝 潮 牟 町 眺 聽 脹 腸 蝶
3620 ~ 3629	調 謂 超 跳 銚 長 頂 鳥 勅 挗
3630 ~ 3636	直 肱 沈 珍 貨 鎮 陳
ツ 3637 ~ 3639	津 墜 椎
3640 ~ 3649	槌 追 鋸 痛 通 塚 梅 捱 楣 佃
3650 ~ 3659	漬 柏 迂 莞 級 鍔 椿 漬 坪 壺
3660 ~ 3665	媾 紗 爪 吊 鈞 鶴
テ 3666 ~ 3669	亨 低 停 偵
3670 ~ 3679	刺 貞 呈 堤 定 帝 底 庭 廷 弟
3680 ~ 3689	悌 抵 挺 提 梯 汀 碇 禎 程 締
3690 ~ 3694	艇 訂 諦 踏 遙
3701 ~ 3709	邸 鄭 鈞 鼎 泥 摘 擂 敵 滴
3710 ~ 3719	的 笛 適 鑄 潟 哲 徹 撤 敝 迭
3720 ~ 3729	鉄 典 填 天 展 店 添 繼 甜 貼
3730 ~ 3737	転 頽 点 伝 殿 澱 田 電
ト 3738 ~ 3739	兎 吐
3740 ~ 3749	堵 塗 妒 屢 徒 斗 杜 渡 登 菴
3750 ~ 3759	賭 途 都 鍔 砥 研 努 度 土 奴
3760 ~ 3769	怒 倒 党 冬 凍 刀 唐 塔 塵 套
3770 ~ 3779	宕 島 嶋 悼 投 搭 東 桃 棒 棟
ト 3780 ~ 3789	盜 淘 湯 涛 灯 燈 当 痘 棒 等
3790 ~ 3794	答 簡 糖 統 到
3801 ~ 3809	董 蕩 藤 討 謄 豆 踏 逃 透
3810 ~ 3819	鐙 陶 頭 謄 勵 動 同 堂 導
3820 ~ 3829	憧 撞 洞 瞳 童 脳 葡 道 銅 峠
3830 ~ 3839	鵠 置 得 德 流 特 督 禿 篤 毒
3840 ~ 3849	獨 読 柄 機 凸 突 榻 屢 蔦 苦
3850 ~ 3859	寅 西 濑 嶠 屯 悅 敦 池 豚 遁
3860 ~ 3863	頓 吞 犁 鈍
ナ 3864 ~ 3869	奈 那 內 乍 風 雜
3870 ~ 3879	謎 灘 捺 鍋 楠 験 繩 略 南 楠
3880 ~ 3882	軟 難 汝
ニ 3883 ~ 3889	二 尼 武 迳 句 賑 肉
3890 ~ 3894	虹 甘 日 乳 入
3901 ~ 3907	如 尿 莞 任 妊 忍 認
ヌ 3908	濡
ヌ 3909	襦
3910 ~ 3919	祢 寧 葱 猫 热 年 念 捻 燥 燃
3920	粘
ノ 3921 ~ 3929	乃 遷 之 垅 囊 懊 濃 納 能
3930 ~ 3934	腦 膜 農 視 蛋
ハ 3935 ~ 3939	巴 把 播 翳 翳 翳 翳 翳 翳
3940 ~ 3949	波 派 翢 破 婆 駕 芭 馬 俳 廃
3950 ~ 3959	拌 排 敗 杯 益 牌 背 肺 輩 配
3960 ~ 3969	倍 培 媒 梅 楠 煤 狼 買 壳 賠
3970 ~ 3979	陪 這 蝠 酈 紗 荻 伯 剥 博 拍
3980 ~ 3989	柏 泊 白 箔 紗 舶 薄 迫 曝 漠
3990 ~ 3994	爆 繩 莫 駁 麥
4001 ~ 4009	函 箱 硕 箴 肇 呷 檻 幕 肌
4010 ~ 4019	畑 畦 八 鉢 澆 發 酪 髮 伐 罰

区点コード \*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
八 4020 ~ 4029	抜 笈 閻 鳩 嘶 墙 蛇 隼 伴 判
4030 ~ 4039	半 反 叛 帆 搬 斑 板 沔 汎 版
4040 ~ 4049	犯 班 畔 繁 般 蕃 贩 範 采 煩
4050 ~ 4058	頒 飯 挽 晚 番 盤 磐 蕃 蛮
匕 4059	匪
4060 ~ 4069	卑 否 妃 底 彼 悲 犀 批 披 婦
4070 ~ 4079	比 泌 疲 皮 碑 秘 緋 罷 肥 被
4080 ~ 4089	誹 費 避 非 飛 梶 簾 備 尾 微
4090 ~ 4094	枇 昆 琵 眉 美
4101 ~ 4109	鼻 梓 稗 匹 正 鮫 彦 膝 菱
4110 ~ 4119	肘 弩 必 畢 筆 逼 桧 姬 媛 紐
4120 ~ 4129	百 謬 俵 肱 標 水 漂 瓢 票 表
4130 ~ 4139	評 豹 廟 描 痘 纪 纪 钏 钮 蒜
4140 ~ 4149	蛭 鰐 品 彬 斌 濱 瀛 貧 賓 頻
4150 ~ 4151	敏 瓶
フ 4152 ~ 4159	不 付 埠 夫 婦 富 富 布
4160 ~ 4169	府 恐 扶 敷 斧 普 浮 父 符 腐
4170 ~ 4179	膚 谱 負 賦 赴 阜 附 侮 撫
4180 ~ 4189	武 舞 葡 蕪 部 封 楓 風 莼 路
4190 ~ 4194	伏 副 復 幅 服
4201 ~ 4209	福 腹 複 覆 淵 弗 扃 沸 仏
4210 ~ 4219	物 鮒 分 吻 噴 墳 憎 扱 焚 奮
4220 ~ 4225	粉 粧 紛 雾 文 聞
ヘ 4226 ~ 4229	丙 併 兵 埠
4230 ~ 4239	幣 平 弊 柄 並 蔽 閉 陞 米 貢
4240 ~ 4249	僻 壁 縢 碧 別 賢 瓔 偏 變
4250 ~ 4259	片 篇 編 辺 返 遍 便 勉 婉 弁
4260	鞭
木 4261 ~ 4269	保 舖 舖 圃 捕 步 蒂 補 輔
4270 ~ 4279	穗 穡 穡 戢 戢 戢 戢 戢 戢 戢
4280 ~ 4289	俸 包 呆 報 奉 宝 峰 峯 崩 穕
4290 ~ 4294	抱 捧 放 方 朋
4301 ~ 4309	4301 ~ 4309 泡 烹 破 縢 胞 芳 萌 蓬
4310 ~ 4319	蜂 褒 訪 豊 邦 錐 飽 凤 鵬 乏
4320 ~ 4329	亡 傍 剥 坊 姍 帽 忘 忙 房 暴
4330 ~ 4339	望 某 棒 冒 紡 肪 膨 謂 貿 貿
4340 ~ 4349	鉢 防 吠 煙 北 僕 卜 墓 摟 朴
4350 ~ 4359	牧 瞳 穆 鈸 勃 没 殆 嶧 奔
4360 ~ 4363	本 翻 凡 盆
マ 4364 ~ 4369	摩 磨 魔 麻 埋 妹
4370 ~ 4379	昧 枚 每 哩 横 幕 膜 枕 鮪 桀
4380 ~ 4389	鱈 楠 亦 俟 又 抹 末 沢 迄 佢
4390 ~ 4394	蘭 磨 万 慢 滿
4401 ~ 4402	漫 蔓
ミ 4403 ~ 4409	味 未 魅 已 箕 岬 密
4410 ~ 4418	蜜 淀 蒂 稔 脈 紗 耗 民 眠
△ 4419	務
4420 ~ 4428	夢 無 牟 矛 霧 鵠 惊 婿 娘
メ 4429	冥
4430 ~ 4439	名 命 明 盟 迷 銘 鳴 姪 牝 滅
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
メ 4440 ~ 4445	免 棉 綿 红 面 麵
モ 4446 ~ 4449	摸 模 茂 妥
4450 ~ 4459	孟 猛 盲 網 耗 蒙 储 木 默
4460 ~ 4469	目 空 勿 餅 尤 房 粉 貴 間 間
4470 ~ 4472	紋 門 夂
ヤ 4473 ~ 4479	也 治 夜 爪 耶 野 弥
4480 ~ 4489	矢 武 役 約 薬 許 躍 靖 柳 蔡
4490	鑑
ユ 4491 ~ 4494	愉 愈 油 瘡
4501 ~ 4509	諭 輸 唯 佑 優 勇 友 宥
4510 ~ 4519	悠 憂 指 有 榆 湧 涌 猶 獣
4520 ~ 4528	祐 裕 誘 遊 邑 邦 融 夕
ヨ 4529	予
4530 ~ 4539	余 与 誉 興 預 備 幼 妖 容
4540 ~ 4549	揚 握 擁 曜 楊 樣 洋 溶 熔
4550 ~ 4559	熹 羊 耀 葉 蓉 要 謠 踊 遙
4560 ~ 4568	養 慾 抑 欲 沃 浴 翌 翼 淀
ラ 4569	羅
4570 ~ 4579	螺 裸 来 莱 賴 雷 洛 絡 落
4580 ~ 4587	乱 卵 嵐 檻 濫 藍 蘭 覧
リ 4588 ~ 4589	利 吏
4590 ~ 4594	履 李 梨 理 璃
4601 ~ 4609	痢 裏 裹 里 離 陸 律 率
4610 ~ 4619	葎 掠 略 劉 流 溜 琉 留 硫
4620 ~ 4629	隆 龍 邕 虞 旅 虜 了 亮 烈
4630 ~ 4639	両 凌 疣 料 梁 涼 猶 療 瞭 積
4640 ~ 4649	糧 良 諒 遼 量 陵 領 力 緑 倫
4650 ~ 4659	厘 林 淋 燐 琳 臨 輸 隣 鱗
ル 4660 ~ 4664	瑠 星 涙 累 類
レ 4665 ~ 4669	令 伶 例 冷 励
4670 ~ 4679	嶺 惜 玲 礼 荸 鈴 零 靈 麗
4680 ~ 4689	齡 曆 歷 列 劣 烈 廉 恋 憐
4690 ~ 4694	漣 煉 簾 練 聯
4701 ~ 4703	蓮 連 鍊
ロ 4704 ~ 4709	呂 魯 檻 爐 路
4710 ~ 4719	露 劳 妻 廏 弄 朗 楼 柳 浪 漏
4720 ~ 4729	牢 狼 筏 老 聲 蟬 郎 六 篓 緑
4730 ~ 4732	肋 錄 論
マ 4733 ~ 4739	倭 和 話 歪 賄 脇 惑
4740 ~ 4749	桦 鶩 互 豆 鰐 詫 菓 楠 湾
4750 ~ 4751	碗 腕
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

## JIS 第2水準

\*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。  
従つて「井」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
4801～4809	式 丐 丕 个 卯 丶 丂 ノ 父
4810～4819	乖 乘 亂 丂 豫 事 舒 式 于 亞
4820～4829	亟 一 穴 京 毫 宣 从 仍 仄 𠂇
4830～4839	彷 伎 初 𠂇 𠂇 价 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4840～4849	佝 佗 併 信 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4850～4859	侑 佯 來 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4860～4869	俑 俚 例 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4870～4879	侏 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4880～4889	侏 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4890～4899	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4901～4909	僉 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4910～4919	僮 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4920～4929	儡 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4930～4939	競 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4940～4949	罔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4950～4959	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4960～4969	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4970～4979	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4980～4989	剞 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4990～4999	劍 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5001～5009	辯 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5010～5019	勸 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5020～5029	勵 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5030～5039	甸 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5040～5049	區 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5050～5059	卮 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5060～5069	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5070～5079	盼 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5080～5089	咒 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5090～5099	啞 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5101～5109	啞 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5110～5119	唔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5120～5129	售 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5130～5139	咯 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5140～5149	喻 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5150～5159	嘔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5160～5169	嘴 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5170～5179	嚙 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5180～5189	嚙 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5190～5199	囮 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5201～5209	囮 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5210～5219	坏 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5220～5229	坮 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5235～5239	塙 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
5240～5249	堡 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5250～5259	墟 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5260～5269	墟 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5270～5279	壻 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5280～5289	壻 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5290～5299	奢 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5301～5309	奸 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5310～5319	嫗 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5320～5329	嫗 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5330～5339	嫗 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5340～5349	嫗 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5350～5359	嫗 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5360～5369	學 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5370～5379	寢 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5380～5389	寢 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5390～5399	尹 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5401～5409	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5410～5419	岑 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5420～5429	容 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5430～5439	崗 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5440～5449	嵌 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5450～5459	曉 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5460～5469	巔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5470～5479	巔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5480～5489	幃 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5490～5499	幃 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5501～5509	廬 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5510～5519	廬 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5520～5529	巔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5530～5539	巔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5540～5549	巔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5550～5559	巔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5560～5569	惠 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5570～5579	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5580～5589	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5590～5599	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5601～5609	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5610～5619	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5620～5629	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5630～5639	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5640～5649	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5650～5659	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5660～5669	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5670～5679	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5680～5689	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5690～5699	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5701～5709	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5710～5719	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5720～5729	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5730～5739	恆 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5740 ~ 5749	捨	括	拱	拐	挂	挈	拯	捨	捐	挟	
5750 ~ 5759	捍	搜	捏	掖	掎	掀	蹶	捶	掣	掏	
5760 ~ 5769	掉	掂	掻	捲	捩	拶	揻	捩	掻	搊	
5770 ~ 5779	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搊	搊	
5780 ~ 5789	攝	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搊	搊	搊	
5790 ~ 5799	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓	
5801 ~ 5809	據	據	據	據	據	據	據	擋	擋	擋	擋
5810 ~ 5819	舉	擠	擠	擠	擡	擡	擡	擋	擋	擋	擋
5820 ~ 5829	擺	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攢	攢	攢	攢
5830 ~ 5839	爻	攷	收	收	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷
5840 ~ 5849	敞	敞	敞	敞	敞	敞	敞	敞	敞	敞	敞
5850 ~ 5859	斷	旅	旅	旅	旅	旅	旅	旅	旅	旅	旅
5860 ~ 5869	无	旱	果	果	吴	吴	吴	曷	曷	曷	曷
5870 ~ 5879	易	晏	晏	晓	晉	晉	暁	暁	暁	暁	暁
5880 ~ 5889	晟	晳	晳	暭	昇	暭	暭	暭	暭	暭	暭
5890 ~ 5899	暨	暨	暨	暨	暨	暨	暨	暨	暨	暨	暨
5901 ~ 5909	瞗	瞗	瞗	瞗	瞗	瞗	瞗	瞗	瞗	瞗	瞗
5910 ~ 5919	曳	曷	朏	朏	朏	朏	朏	朏	朏	朏	朏
5920 ~ 5929	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5930 ~ 5939	枉	枉	枉	枉	枉	枉	枉	枉	枉	枉	枉
5940 ~ 5949	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷
5950 ~ 5959	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷
5960 ~ 5969	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀
5970 ~ 5979	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬
5980 ~ 5989	梵	柏	梵	柏	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵
5990 ~ 5999	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞
6001 ~ 6009	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨
6010 ~ 6019	棹	棠	棹	棠	棹	棠	棹	棠	棹	棠	棹
6020 ~ 6029	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6030 ~ 6039	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6040 ~ 6049	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6050 ~ 6059	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6060 ~ 6069	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6070 ~ 6079	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6080 ~ 6089	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6090 ~ 6099	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6101 ~ 6109	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6110 ~ 6119	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6120 ~ 6129	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6130 ~ 6139	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6140 ~ 6149	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
6150 ~ 6159	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
6160 ~ 6169	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
6170 ~ 6179	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
6180 ~ 6189	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵
6190 ~ 6199	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵
6201 ~ 6209	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵
6210 ~ 6219	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵
6220 ~ 6229	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵
6230 ~ 6239	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵	沵

区点コード	*	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6240 ~ 6249	漸	淺	淙	淤	澆	滌	淮	渭	涇	渟	澗
6250 ~ 6259	渙	湲	湟	渢	澁	湫	澆	涙	澁	澁	澁
6260 ~ 6269	湃	渺	湟	渤	澁	湫	澆	涙	澁	澁	澁
6270 ~ 6279	湜	澁	澁	澁	澁	澁	澁	澁	澁	澁	澁
6280 ~ 6289	溥	滂	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟
6290 ~ 6299	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲
6301 ~ 6309	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾
6310 ~ 6319	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛
6320 ~ 6329	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳
6330 ~ 6339	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾
6340 ~ 6349	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏
6350 ~ 6359	激	激	激	激	激	激	激	激	激	激	激
6360 ~ 6369	炮	烟	烟	烟	烟	烟	烟	烟	烟	烟	烟
6370 ~ 6379	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙
6380 ~ 6389	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩
6390 ~ 9399	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠
6401 ~ 6409	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖
6410 ~ 6419	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲
6420 ~ 6429	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂
6430 ~ 6439	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹
6440 ~ 6449	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗
6450 ~ 6459	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎
6460 ~ 6469	獮	獮	獮	獮	獮	獮	獮	獮	獮	獮	獮
6470 ~ 6479	獮	獮	獮	獮	獮	獮	獮	獮	獮	獮	獮
6480 ~ 6489	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣
6490 ~ 6499	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣	瑣
6501 ~ 6509	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠
6510 ~ 6519	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕
6520 ~ 6529	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕
6530 ~ 6539	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕
6540 ~ 6549	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊
6550 ~ 6559	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊
6560 ~ 6569	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
6570 ~ 6579	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
6580 ~ 6589	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
6590 ~ 6599	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
6601 ~ 6609	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰
6610 ~ 6619	皚	皚	皚	皚	皚	皚	皚	皚	皚	皚	皚
6620 ~ 6629	蓋	蓋	蓋	蓋	蓋	蓋	蓋	蓋	蓋	蓋	蓋
6630 ~ 6639	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞
6640 ~ 6649	眎	眎	眎	眎	眎	眎	眎	眎	眎	眎	眎
6650 ~ 6659	睞	睞	睞	睞	睞	睞	睞	睞	睞	睞	睞
6660 ~ 6669	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚
6670 ~ 6679	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚
6680 ~ 6689	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚
6690 ~ 6699	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚
6701 ~ 6709	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚
6710 ~ 6719	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚
6720 ~ 6729	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚
6730 ~ 6739	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚	瞚

区点コード \* 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード \* 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7240 ~ 7249	蒂	萍	范	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7250 ~ 7259	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7260 ~ 7269	蒂	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7270 ~ 7279	蒿	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7280 ~ 7289	勞	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7290 ~ 7299	蓼	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7301 ~ 7309	薹	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7310 ~ 7319	薹	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7320 ~ 7329	薹	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7330 ~ 7339	薹	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7340 ~ 7349	薹	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7350 ~ 7359	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7360 ~ 7369	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7370 ~ 7379	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7380 ~ 7389	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7390 ~ 7399	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7401 ~ 7409	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7410 ~ 7419	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7420 ~ 7429	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7430 ~ 7439	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7440 ~ 7449	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7450 ~ 7459	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7460 ~ 7469	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7470 ~ 7479	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7480 ~ 7489	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7490 ~ 7499	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7501 ~ 7509	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7510 ~ 7519	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7520 ~ 7529	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7530 ~ 7539	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7540 ~ 7549	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7550 ~ 7559	虉	蘚	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪	荪
7560 ~ 7569	誑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑
7570 ~ 7579	誑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑
7580 ~ 7589	誑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑
7590 ~ 7599	誑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑	詑
7601 ~ 7609	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
7610 ~ 7619	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
7620 ~ 7629	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
7630 ~ 7639	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
7640 ~ 7649	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
7650 ~ 7659	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
7660 ~ 7669	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
7670 ~ 7679	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
7680 ~ 7689	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
7690 ~ 7699	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
7701 ~ 7709	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠
7710 ~ 7719	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠
7720 ~ 7729	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠
7730 ~ 7739	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠
区点コード	*	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7740 ~ 7749	転	軽	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶
7750 ~ 7759	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶
7760 ~ 7769	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶
7770 ~ 7779	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶
7780 ~ 7789	辯	辯	辯	辯	辯	辯	辯	辯	辯	辯	辯
7790 ~ 7799	辯	辯	辯	辯	辯	辯	辯	辯	辯	辯	辯
7801 ~ 7809	遙	遙	遙	遙	遙	遙	遙	遙	遙	遙	遙
7810 ~ 7819	遙	遙	遙	遙	遙	遙	遙	遙	遙	遙	遙
7820 ~ 7829	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊
7830 ~ 7839	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂
7840 ~ 7849	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥
7850 ~ 7859	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪
7860 ~ 7869	釀	釀	釀	釀	釀	釀	釀	釀	釀	釀	釀
7870 ~ 7879	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗
7880 ~ 7889	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗	鉗
7890 ~ 7899	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
7901 ~ 7909	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
7910 ~ 7919	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
7920 ~ 7929	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
7930 ~ 7939	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
7940 ~ 7949	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
7950 ~ 7959	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
7960 ~ 7969	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
7970 ~ 7979	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
7980 ~ 7989	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關
7990 ~ 7999	陥	陥	陥	陥	陥	陥	陥	陥	陥	陥	陥
8001 ~ 8009	陥	陥	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖
8010 ~ 8019	陥	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖
8020 ~ 8029	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖
8030 ~ 8039	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖
8040 ~ 8049	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖
8050 ~ 8059	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖
8060 ~ 8069	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖
8070 ~ 8079	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖
8080 ~ 8089	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖
8090 ~ 8099	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖	陖
8101 ~ 8109	顔	顔	顔	顔	顔	顔	顔	顔	顔	顔	顔
8110 ~ 8119	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄
8120 ~ 8129	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄
8130 ~ 8139	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄	飄
8140 ~ 8149	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳
8150 ~ 8159	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳
8160 ~ 8169	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳
8170 ~ 8179	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳	馳
8180 ~ 8189	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪
8190 ~ 8199	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪
8201 ~ 8209	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪
8210 ~ 8219	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪
8220 ~ 8229	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
8230 ~ 8239	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
区点コード	*	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

## その他

文字上の数字はコードの下2桁を表します。

付

錄

# 記号一覧表

## !!注意!!

記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

### 記述

、。、。・：；  
？！—／＼～  
@～\_§†‡、  
ゞゝゞ〃全々〆  
……※\*

### 省略

# No. & 〒〒<sup>®</sup>  
秘印済注控検問  
答祝休祭(代)(内)(直)  
(呼)(株)KK(有)(財)(社)(特)  
(学)TEL FAX ♂ ♀

### カッコ

‘’“”( ) [ ] { } < >   
《》「」『』【】

### 矢印

→←↑↓↖↖↗↗  
↖↖→←↑↓↔↔

### 図形

○●◎△▲▼▼  
◇◆□■★☆◆◇  
◆♣♠♥♥♣♣

### 単位

%‰µmmcm m km  
ft mile cm<sup>2</sup> m<sup>2</sup> a ha km<sup>2</sup>  
cm<sup>3</sup> m<sup>3</sup> mg g kg t cc  
ml dl ℥ kl mol ¥ (円)  
\$ € £ Fr ¢ A V  
Ω W kW Hz dB HP A  
@ ° ' " °C °F Pt  
ct

### 数字

①②③④⑤⑥⑦  
⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭  
⑯⑯⑯⑯⑯⑯⑯  
一一三四五六七  
八九ⅠⅡⅢⅣⅤ  
VI VII VIII IX X i ii  
iii iv v vi vii viii ix  
X 1 2 3 4 5 6  
7 8 9 0 1 2 3  
4 5 6 7 8 9 0  
+ - 1/2 1/3 2/3 1/4 3/4

### 2桁数字

00 ~ 99

### 算数

+ - ± × ÷ = ≠  
< > ≤ ≥ ∞ ∴ ∴  
÷ √ ∞ ∞ ∞ ∞

## ギリシャ

ΑΒΓΔΕΖΗ  
ΘΙΚΛΜΝΞ  
ΟΠΡΣΤΥΦ  
ΧΨΩαβγδ  
εξηθικλ  
μνξοπρσ  
τυφχψω

欧洲

ä ë ï ö ü Ä Ë  
Ï Ö Ü á é í ó  
ú Á É Í Ó Ú à  
è ì ò ù À È Ì  
Ò Ù â ê ï ð û  
Â Ë Ì Õ Ù Ñ Ñ  
ß Ç ç œ æ ï ï

## 公共用



ロシア

А Б В Г Д Е Ё  
Ж З И Й К Л М  
Н О П Р С Т У  
Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ  
Ы Ъ Э Ю Я а б  
в г д е ё ж з  
и й к л м н о  
п р с т у ф х  
ц ч ш щ ъ ў  
э ю я

仕事



環境



## 荷物



## スポーツ



## 遊び



## 生き物



## 食べ物



## 映画



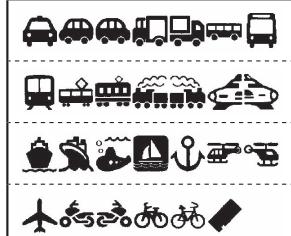
## 音楽



## 予定



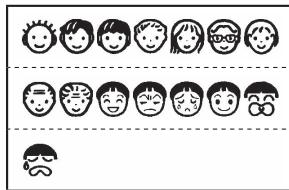
## 乗り物



## 暮らし



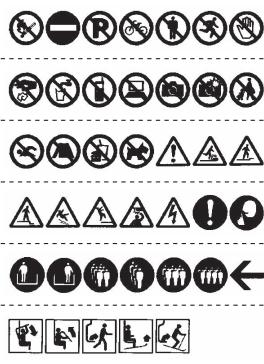
## 家族



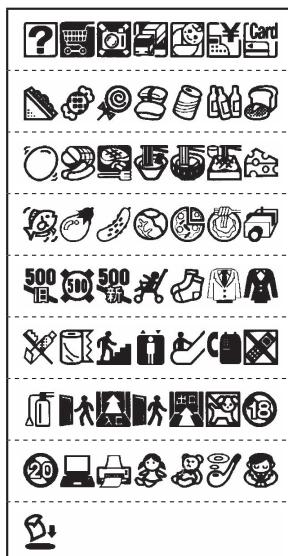
## 星座



## 案内用



## お店



## 建設



## 病院



## 編集



## 合成



# ●ローマ字変換表

あ	あ A	い I	う U	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI	つ TU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA		ゅ YU		よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA			を WO	
ん	ん N+(Y以外の子音または、アポストロフィー「」) (例) N+N→ん N+P→んP N+「」→ん				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぶ PU	ペ PE	ぼ PO
きや	きや KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きょ KYO
しゃ	しゃ SYA	しい SYI	しゅ SYU	しえ SYE	しょ SYO
ちや	ちや TYA	ちい TYI	ちゅ TYU	ちえ TYE	ちょ TYO
ちや	ちや CHA	ちい CYA	ちゅ CYI	ちえ CHU	ちょ CHE
てや	てや THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てょ THO
にや	にや NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	にょ NYO
ひや	ひや HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひょ HYO
みや	みや MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みょ MYO

りや	りや RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りょ RYO
ぎや	ぎや GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎょ GYO
じや	じや ZYA	じい ZIY	じゅ ZYU	じえ ZYE	じょ ZYO
ぢや	ぢや JA	ぢい JIA	ぢゅ JU	ぢえ JE	ぢょ JO
ぢや	ぢや JYA	ぢい JYI	ぢゅ JYU	ぢえ JYE	ぢょ JYO
ぢや	ぢや DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢょ DYO
びや	びや BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びょ BYO
びや	びや PYA	びい PYI	びゅ PYU	びえ PYE	びょ PYO
つあ	つあ TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO
でや	でや DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ふあ	ふあ FA	ふい FI	ふえ FYI	ふえ FE	ふお FO
ふや	ふや FYA	ふい FYI	ふゅ FYU	ふえ FYE	ふよ FYO
うあ	うあ VA	うい VI	う VU	うえ VE	うお VO
あ	あ LA	い LI	う LU	え LE	お LO
	xa	xi	xu	xe	xo
		lyi		lye	
		xyi		xye	
か	か LKA			け LKE	
	xka			xke	
つ			つ LTU		
			xtu		
			同一の子音+子音=つ+子音 (N以外有効)		
や	や LYA		ゆ LYU		よ LYO
	xya		xyu		xyo
わ	わ LWA				
	xwa				

# ●おもな仕様

## ■入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式(70鍵) 文字ボタン48、機能ボタン22
入力状態	JIS配列準拠ローマ字入力 JIS配列準拠かな入力 JIS配列準拠ABC入力 小文字入力、小文字ロック(ABC入力時のみ)、記号入力、外字入力、コピーフィルタ(30文字まで)、コード変換入力(区点コード・JISコード・シフトJISコード)
漢字変換方式	ATOK for テプラ(予測入力、学習機能付き連文節変換) 搭載語句数 約129,000語(追加可能)

## ■表示

表示装置	ドットマトリクスFSTN液晶パネル(バックライト付き)
文字表示	256dot×80dot(15chr×5line)
表示濃度	-5～0～+5(11段階)
インジケーター	44個
LED	3個

## ■記憶

文章メモリー	約500文字
内蔵ファイル	可変長データ式(あて名・名前と共に用)
	約10,000文字/最大100ファイル
辞書登録	最大50件
外字登録	ピットマップフルライン自動拡大登録
	フルライン(16・24・32・40・48ドット)×10文字
地紋データ登録	文字地紋1件 創作地紋4件
あて名登録	最大100件
名前登録	最大40件
印刷履歴	最大5件

## ■フォント (QR コード入力時の半角文字を除く)

### 内蔵文字数

全 7,897 文字  
漢字 JIS 第 1 水準 2,965 文字  
漢字 JIS 第 2 水準 3,390 文字  
漢字 その他 132 文字  
ひらがな・カタカナ・英数字・記号・その他 1,410 文字

### 内蔵フォント

明朝体 : 漢字書体・かな書体・英数書体  
太型明朝体 : 漢字書体・かな書体・英数書体  
ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数書体  
太型ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数書体  
波ゴ体 : 漢字書体・かな書体・英数書体  
えれん体 : かな書体  
太型えれん体 : かな書体  
ハッピ体 : かな書体  
太型ハッピ体 : かな書体  
サンセリフ HV 体 : 英数書体  
太型サンセリフ HV 体 : 英数書体  
スクリプト BR 体 : 英数書体  
太型スクリプト BR 体 : 英数書体  
サンセリフ ST 体 : 英数書体  
太型サンセリフ ST 体 : 英数書体  
スクリプト PL 体 : 英数書体  
太型スクリプト PL 体 : 英数書体

## ■印刷

### 印刷方式

熱転写 PRO 印刷方式

### 印刷濃度

-3 ~ 0 ~ +3 (7 段階)

### ヘッド構成

サーマルヘッド (384dot, 360dpi)

### テープカートリッジ

「テプラ」PRO テープカートリッジ 4・6・9・12・18・24・36mm 幅

### カッター

ハーフカット機能付きオートカッター 除電機構付

### トリマー

センサーつき自動カット丸仕上げ (半径 3mm)

### 転写テープ検出

対応

## ■印刷機能

### 文字構成

#### 13 段階 (拡大印刷を含むと 30 段階)

F 字	24 × 24dot	( 5 ポイント相当)
P 字	32 × 32dot	( 6 ポイント相当)
S' 字	40 × 40dot	( 8 ポイント相当)
S 字	48 × 48dot	( 10 ポイント相当)
M 字	64 × 64dot	( 13 ポイント相当)
L' 字	80 × 80dot	( 16 ポイント相当)
L 字	96 × 96dot	( 19 ポイント相当)
G 字	128 × 128dot	( 26 ポイント相当)
U' 字	160 × 160dot	( 32 ポイント相当)
U 字	192 × 192dot	( 38 ポイント相当)
H 字	256 × 256dot	( 51 ポイント相当)
K' 字	320 × 320dot	( 64 ポイント相当)

K字 360 × 360dot (72ポイント相当)  
※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。

ビジネスフォーム	8種
あて名印刷	約10,000文字(最大100件) カスタマバーコード印刷機能付
名前印刷	約1,120文字(最大40件)
特殊印刷	連続、拡大、鏡文字
連番機能	加算一方向(繰り返し回数指定可)、1桁連番、2桁連番、1桁丸付連番、2桁丸付連番
バーコード	QRコード、JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF、CODE39(8種)

## ■電源、その他

主電源	AC100V(同梱ACアダプタAS1527J使用のこと)
補助バッテリー	アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形×6本)
電源スイッチ	ボタン式
パワーオフ	操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする (外字作成・修正中、創作地紋作成・修正中、ACアダプタ使用時のパソコンシリコン中を除く)
PC接続	USBケーブルにて接続
寸法・重量	約204W×220D×85H(mm) 約1,160g(電池、テープカートリッジを除く)
同梱品	試用PROテープカートリッジ ACアダプタ(AS1527J) 転写スティック 取扱説明書 保証書
別売品	PROテープカートリッジ ヘッド・クリーニングテープ(SR36C) トリマー(RT36W) お名前タグメーカー(SRT10) スナップボタン(SRTB1) システムトランク(SR9BTA) キャリングバッグ(SR9B) システムバッグ(SR8B) システムケース(SR9H) テープカートリッジケース(SR4TH)

## ■使用条件

動作環境	温度: 5 ~ 35°C
保存環境	湿度: 30 ~ 80% (非結露)
	温度: -10 ~ 55°C
	湿度: 5 ~ 80% (非結露)

付

録

# 索引

## 記号

■ (バーコードマーク) .....	131
■ (QR コードマーク) .....	132
└ (全角スペース) .....	40
└ (半角スペース) .....	40
☒ (印刷不可行頭マーク) .....	22, 51
NPNPN (連番マーク) .....	127, 129
■ (窓入力記号) .....	79
合 (合成マーク) .....	42
◀ (フルメモリーマーク) .....	22
▶ (文字モード指定マーク) .....	22, 66
←↑↓→ (カーソルボタン) .....	21
？？ (記号外枠) .....	80
①② (実質行頭マーク) .....	22, 51
①② (空白行頭マーク) .....	22, 51

## 英数字

1 衔 (連続番号) .....	126, 127
1 衔丸付 (連続番号) .....	126, 127
2 行表示 .....	147
2 衔 (連続番号) .....	126, 127
2 衔数字 (記号) .....	63, 155
2 衔丸付 (連続番号) .....	126, 127
2 倍印刷 .....	134, 136
3 行表示 .....	147
3 倍印刷 .....	134, 136
4 倍印刷 .....	134, 136
5 行表示 .....	147
8mm ビデオ (定長印刷) .....	71, 82
A4 ファイル (定長印刷) .....	71, 82
ABC (半角) 入力 .....	132
ABC 入力 .....	39
AC アダプタ .....	10, 24
AC アダプタ差込み口 .....	18
ATOKE 変換画面 .....	23, 33
ATOKE 予測入力画面 .....	23, 32
B5 ファイル (定長印刷) .....	71, 82
CD・DVD ケース (定長印刷) .....	71, 82
CODE39 (バーコード) .....	126, 130
FD・MO (定長印刷) .....	71, 82
ITF (バーコード) .....	126, 130
JAN-8 (バーコード) .....	126, 130
JAN-13 (バーコード) .....	126, 130
MD (定長印刷) .....	71, 82
NW-7 (バーコード) .....	126, 130

○ .....	21
ON/OFF ランプ .....	18
QR コード (バーコード) .....	126, 132
QR コードマーク (■) .....	132
RT36W (トリマー) .....	11
SMA3 (シンプルラベルソフト) .....	159
SPC10 (TEPRA Label Editor) .....	159, 165
SRT10 (お名前タグメーカー) .....	11
SRTB1 (スナップボタン) .....	11
SR4TH (テープカートリッジケース) .....	11
SR8B (システムバッグ) .....	11
SR9B (キャリングバッグ) .....	11
SR9BTA (システムトランク) .....	11
SR9H (システムケース) .....	11
SR36C (ヘッド・クリーニングテープ) .....	11
TEPRA Label Editor SPC10 .....	159, 165
UPC-A (バーコード) .....	126, 130
UPC-E (バーコード) .....	126, 130
USB インターフェイスコネクタ (パソコン接続用) .....	18
USB デバイスサーバ (RDS10) .....	11
VHS (定長印刷) .....	71, 82

## あ

あ・ア A .....	21
アイロン転写テープ .....	157
アイロンラベル .....	157
あて名 .....	96, 106
印刷 .....	110
グループ名修正 .....	111
修正 .....	108
消去 .....	109
登録 .....	107
複写 .....	108
後揃え (割付け) .....	69, 78
網かけ (囲み・網) .....	67
網濃度 (囲み・網) .....	67
網濃度 (地紋印刷) .....	71, 84
誤り訂正レベル (QR コード) .....	126, 132
アルカリ乾電池 .....	24, 141, 149
淡文字 (飾り字) .....	67, 72
アンインストール .....	166
アプリケーション .....	166
プリンタドライバ .....	166
イメージ表示 .....	23
印刷 .....	20
印刷 .....	44

印刷イメージ	22、141、147	角囲み網 (囲み・網)	67
印刷情報	22	学習初期化	141、148
印刷設定	140、142、144	拡大印刷	134、136
印刷濃度	140、144	確定文字	22
印刷履歴	96、104	影文字 (飾り字)	67、72
消去	104	囲み・網 (文字モード)	65、67、73、140
呼出	104	飾り字 (文字モード)	65、67、72、140
インジケーター	22	カスタマバーコード (あて名)	112
インストール	159	下線 (囲み・網)	67
アプリケーション	159	カタカナ	34
プリンタドライバ	159	カッター	142
インデックス (縦) (ビジネスフォーム)	90、92	カド丸	56
インデックス (横) (ビジネスフォーム)	90、92	かな書体 (書体)	68
インデックスラベル	93	かな入力	34
上カバー	18	画面設定	147
上カバーボタン	18	仮確定文字	22、33
上書き呼出 (ファイル)	99	環境設定	140、141、147
英数字	38	漢字	34、37
英数書体 (書体)	68	漢字書体 (書体)	68
エラーメッセージ	159	漢字変換表	178
大柄 (創作地紋)	71、86	記号	20
オートカッター	142	～一覧表	35、41
オート・パワーオフ	29	～メニュー一覧	186
オートトリマー	18、56	記号外枠 (外枠・表組み)	155
～のお手入れ	57	ギフトシール	80
多め (余白)	71、87	キャリングバッグ (SR9B)	144,157
送りカット (テープ送り)	30、156	行	11
お名前タグメーカー (SRT10)	11	鏡像	51
おまかせフォーマット (文字サイズ)	69、76	強調 (斜体・強調)	138
終わり? (編集)	65、68、70、71	行頭マーク (1 2・X, 1 2・・X)	67、72
音楽テープ (定長印刷)	71、82	区点コード	22、51
<b>か</b>			
カーソル	22、48	クリーニングテープ	139
～の位置 (編集)	65	縁り返し回数 (連続番号)	178
カーソルボタン ← ↑ ↓ →	21	グループ	126、127
改行	51	グループ名修正	97
外字	96、120	グレー文字ラベル	102
参照作成	125	黒塗り (外字)	157
修正	123	野入力記号 (囲)	121
消去	124	ケーブル (ビジネスフォーム)	79
新規作成	122	ケーブル表示ラベル	90、93
複写	124	合成 (記号)	93
呼出	123	合成記号	42
外字呼出 (記号)	123、155	合成マーク (合)	42
改段落	21、53	コード入力	139
ガイド表示	23		
鏡文字印刷	134、138		
角囲み (囲み・網)	67		

小柄 (創作地紋) .....	71、86	シンプルラベルソフト 「SMA3」 .....	159		
固定フック .....	18	少なめ (余白) .....	71、87		
○ (コピー) .....	21	スナップボタン (SRTB1) .....	11		
コピー .....	50	スペース .....	40		
細かく (伸・縮) .....	67、73	設定 .....	21		
小文字ロック .....	21、39	～メニュー一覧 .....	140		
<b>さ</b>					
サイズ (文字サイズ) .....	61、69、75、140	狭い (文字間) .....	67、74		
○ (規則変換) .....	21	背見出し A4 (ビジネスフォーム) .....	90、92		
削除 .....	49	背見出し B5 (ビジネスフォーム) .....	90、92		
辞書 .....	96、117	全角スペース (_) .....	40		
修正 .....	118	全体の幅 (バーコード) .....	126、130		
消去 .....	119	選択 [改行] .....	21		
登録 .....	117	全文消去 (消去) .....	50、156		
システムケース (SR9H) .....	11	創作地紋 (地紋印刷) .....	71、84、86		
システムトランク (SR9BTA) .....	11	操作パネル .....	20		
システムバッグ (SR8B) .....	11	促音 .....	35		
下並び (伸・縮) .....	67、73	外枠 (外枠・表組み) .....	70、79		
実質行頭マーク (1 2) .....	22、51	外枠・表組 (段落スタイル) .....	65、70、79、140		
指定範囲 (編集) .....	65	<b>た</b>			
自動 (英数書体) .....	68	耐熱ラベル .....	157		
自動 (かな書体) .....	68	濁音 .....	35		
自動 (文字サイズ) .....	69	○ .....	20		
自動多め (余白) .....	71、87	縦・横 .....	62		
自動カット .....	140、142	縦・横 (段落スタイル) .....	65、70、81、140		
自動少なめ (余白) .....	71、87	たて書き (縦・横) .....	62、70、81		
ソフト .....	21	縦型よこ書き (縦・横) .....	70、81		
地紋印刷 (文章書式) .....	65、71、84、140	縦型よこ書き (ビジネスフォーム) .....	91、95		
斜強調 (斜体・強調) .....	67、72	段落 .....	53		
斜体 (斜体・強調) .....	67、72	段落消去 (消去) .....	55、156		
斜体・強調 (文字モード) .....	65、67、72、140	段落スタイル .....	65		
充電式ニッケル水素電池 .....	24、149	～メニュー一覧 .....	69		
自由のび <sup>2</sup> (文字サイズ) .....	69、77	小さく (伸・縮) .....	67、73		
仕様 .....	191	チェックデジット (バーコード) .....	126、130		
消去 .....	21、50、55	縮める (伸・縮) .....	67、73		
～メニュー一覧 .....	156	つめ <sup>2</sup> .....	83		
上質紙ラベル .....	157	ディスプレイ .....	18、22		
正体 (斜体・強調) .....	67、72	ディスプレイ濃度 .....	147		
初期化 .....	150	訂正線 (囲み・網) .....	67		
初期設定値 .....	145	定長印刷 (文章書式) .....	65、71、83、140		
初期値 (連続番号) .....	126、127	走ピッチ (ビジネスフォーム) .....	91、95		
○ (書体) .....	20	テープ送り .....	20、30、156		
書体 .....	60	～メニュー一覧 .....	156		
書体 (文字モード) .....	65、68、74、140	テープカートリッジ .....			
白抜影 (飾り字) .....	67、72	～をセットする .....	27		
白塗り (外字) .....	121	～を使いわかる .....	157		
白文字 (飾り字) .....	67、72	テープカートリッジケース (SR4TH) .....	11		
伸・縮 (文字モード) .....	65、67、73、140	テープカートリッジセット部 .....	18		

テープ通路	18	バックライト	141、148
テープ出口	18	貼付け	21、50
テープ幅	51、76	範囲は？（編集）	66、68、70
テキスト画面	22	半角	132
デモ印刷	152	半角スペース（「」）	40
電源		半濁音	35
～を入れる	29	ビジネスフォーム	20、88
～を切る	46	～見本	92
転写スティック	10	～メニュー覧	90
転写テープ	157、158	備品管理票（ビジネスフォーム）	90、93
電池	24	描画エリア（外字）	121
電池カバー	19	表組み（外枠・表組み）	70、79
電池ケース	19	表示切換	141、147
電池種類	141、149	表示濃度	141、147
点描画（外字）	121	ひらがな	34
同梱品	10	広い（文字間）	67、74
特殊印刷	20、134	～	20
～メニュー覧	134	ファイル	96、97
トリマー（RT36W）	11、56	印刷	103
トリマーガイド	18	グループ名修正	102
トリマーカバー	19、57	消去	100
トリマー差込み口	18	登録	98
トリマーテーブル	18	複写	101
<b>な</b>		～メニュー覧	96
中揃え（割付け）	69、78	呼出	99
中並び（伸・縮）	67、73	複数ラベル（ビジネスフォーム）	91、95
なし（囲み・網）	67	ふつう（飾り字）	67、72
名前	96、114	ふつう（伸・縮）	67、73
印刷	115	ふつう（文字間）	67、74
グループ名修正	115	ふつう（余白）	71、87
修正	115	～	21
消去	115	復活	49
登録	114	フラッグ（縦）（ビジネスフォーム）	91、94
ニッケル水素電池	141、149	フラッグ（縦横）（ビジネスフォーム）	91、94
～	21	フラッグ（横）（ビジネスフォーム）	91、94
入力文字一覧表	177	ふりがな（名前）	116
熱収縮チューブ	157	プリントドライバ	
伸ばす（伸・縮）	67、73	アンインストール	166
<b>は</b>		インストール	159
バーコード	20、126、130	フルメモリーマーク（◀）	22
バーコードマーク（  ）	131	レビュー	20、43
ハーフカッター	142	プロポーショナル（文字間）	67、74
ハーフカット	140、142	文章	
ハーフカットランプ	18、142	～を消去する	50
パソコンリンク	21	～をファイルする	98
パソコンリンク状態	165	文章書式	65
パソコンリンクランプ	18	～メニュー覧	71

平滑化（外字）	123, 155	～を削除する	49
ヘッド・クリーニングテープ（SR36C）	11, 175, 176	～を挿入する	49
別売品	11	～を入力する	34
変換スペース	21	～を貼り付ける	50
変換	37	～をもとに戻す（復活）	49
変換候補一覧（ATOK 変換画面）	33	文字間（文字モード）	65, 67, 74, 140
変換候補数（ATOK 変換画面）	33	○	20
変換候補番号（ATOK 変換画面）	33	文字サイズ	61
変換対象（ATOK 変換画面）	33	文字サイズ（段落スタイル）	65, 69, 75, 140
編集	20	文字地紋（地紋印刷）	71, 84, 85
編集	65	文字変換 / コード変換	21
編集（記号）	40, 79, 155	文字ボタン	21
編集設定	140, 145	文字モード	65
編集統行？（編集）	66, 68, 70, 71	～メニュー一覧	67
細・太の比率（バーコード）	126, 130	文字モード指定マーク（▶）	22, 66
保存値	145		
ボタンナビ	23		
<b>ま</b>			
枚数指定（連続印刷）	134	拗音	35
前揃え（割付け）	69, 78	用途（QR コード）	126, 132
マグネットテープ	157	よこ書き（縦・横）	62, 70, 81
マスキングテープ「mt」ラベル	157	予測候補数	32
丸囲み（囲み・網）	67	予測候補番号	32
丸囲み網（囲み・網）	67	予測入力	34
密着（文字間）	67, 74	予測入力候補一覧	32
ミニ DV（定長印刷）	71, 82	余白（文章書式）	65, 71, 87, 140
見本			
ビジネスフォーム	92	<b>ら</b>	
無変換	21, 34	らく <sup>2</sup> （文字サイズ）	69, 75
メニュー	23	リセット（印刷設定）	140, 144
メニュー一覧	154	リセット（編集設定）	140, 146
記号	155	りぼん	157
消去	156	連結呼出（ファイル）	99
設定	140	連結印刷	134, 135
段落スタイル	69	連続番号	126, 127
テープ送り	156	連番	20, 126, 127
特殊印刷	134	連番・QR・バーコード	126
ビジネスフォーム	90	～メニュー一覧	126
ファイル	96	連番マーク（'■' ■ ■ ■ ■）	127, 129
文章書式	71	ローマ字入力	34
編集	67	ローマ字変換表	190
文字モード	67	ロングテープ	157
連番・QR・バーコード	126		
メニュー階層	23		
メニュー画面	23		
文字			
～をコピーする	50	<b>わ</b>	
		割付け（段落スタイル）	65, 69, 78, 140
		割付け（割付け）	69, 78

付

録



# ●アフターサービスについて

## ■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

## ■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・外字・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

## ■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

**お客様相談室 ☎ 0120-79-8107**

携帯電話からの場合 0570-06-4759 (通話料お客様負担)

## 株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 ☎ 101-0031

<https://www. kingjim.co.jp/>

## ■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <https://www. kingjim.co.jp/>

## ■お客様登録のお願い

このたびはキングジム製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。お客様登録をしていただきますと、製品・サービスに関する情報提供やお問い合わせの受付など、キングジムがご提供するサポート・サービスを受けることができます。

### お客様の個人情報の取り扱いについて

お客様からいただいた個人情報は、以下の目的で使用し、厳正な管理をいたします。

サービスやサポートのご提供・商品のご案内・統計情報としての利用・製品の改善等

なお、当社の個人情報の取り扱いの詳細につきましては、下記の当社ホームページをご覧ください。

お客様登録はこちらから▶ <https://kingjim.jp/user/>

---

「テプラ」PRO SR750 取扱説明書

2021年7月 第8版

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号

# SR750

## 取扱説明書



・お問い合わせ

お客様相談室 **0120-79-8107**

携帯電話からの場合 **0570-06-4759** (通話料お客様負担)

**株式会社キングジム**

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031  
<https://www.kingjim.co.jp/>



414190100